



Quality Indicator/Improvement Project

医療の質の指標

2015 年版

プロセス指標：

ガイドラインに沿った処方率、処置・リハビリ実施率など

アウトカム指標：

疾患別リスク調整死亡率、イベント発生率など

領域：

脳神経、呼吸器、循環器、消化器、整形、乳腺、糖尿病、産婦人科、小児、精神、感染症、診療マネジメント

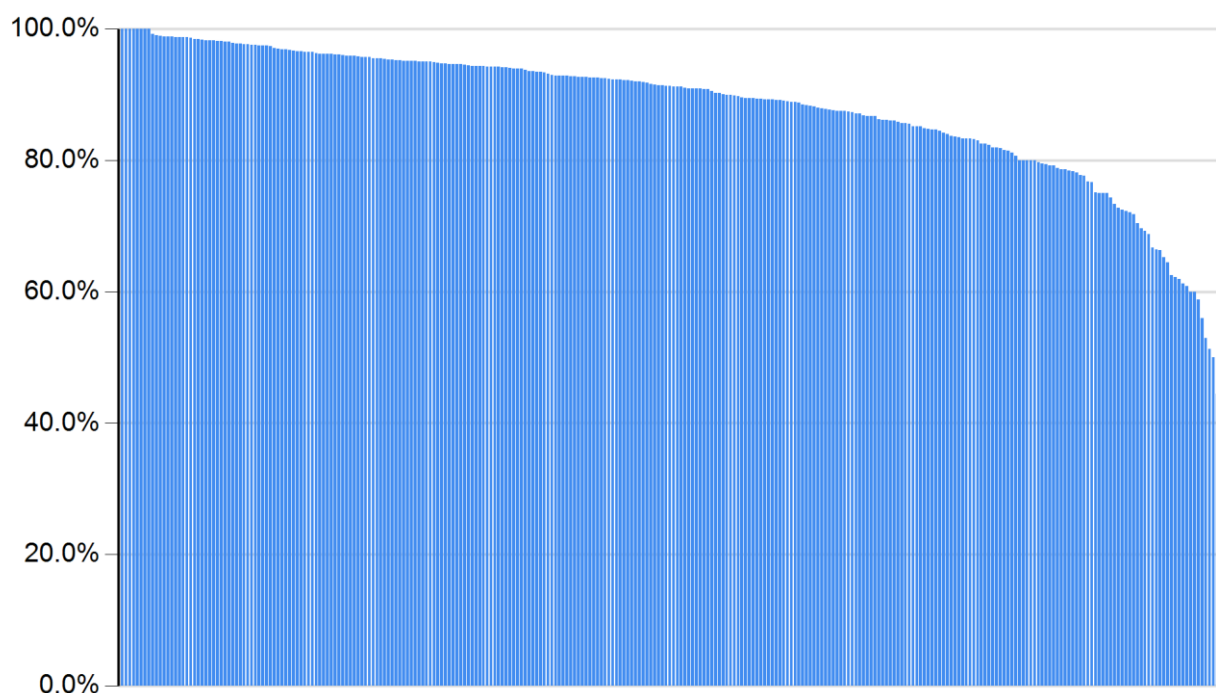
ご意見・ご質問等はQIP事務局までお知らせください

TEL : 075-753-4454 E-mail: qip-office@umin.ac.jp

指標番号	2004
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

分子：分母のうち、脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、291/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
43082	38811	90.1%

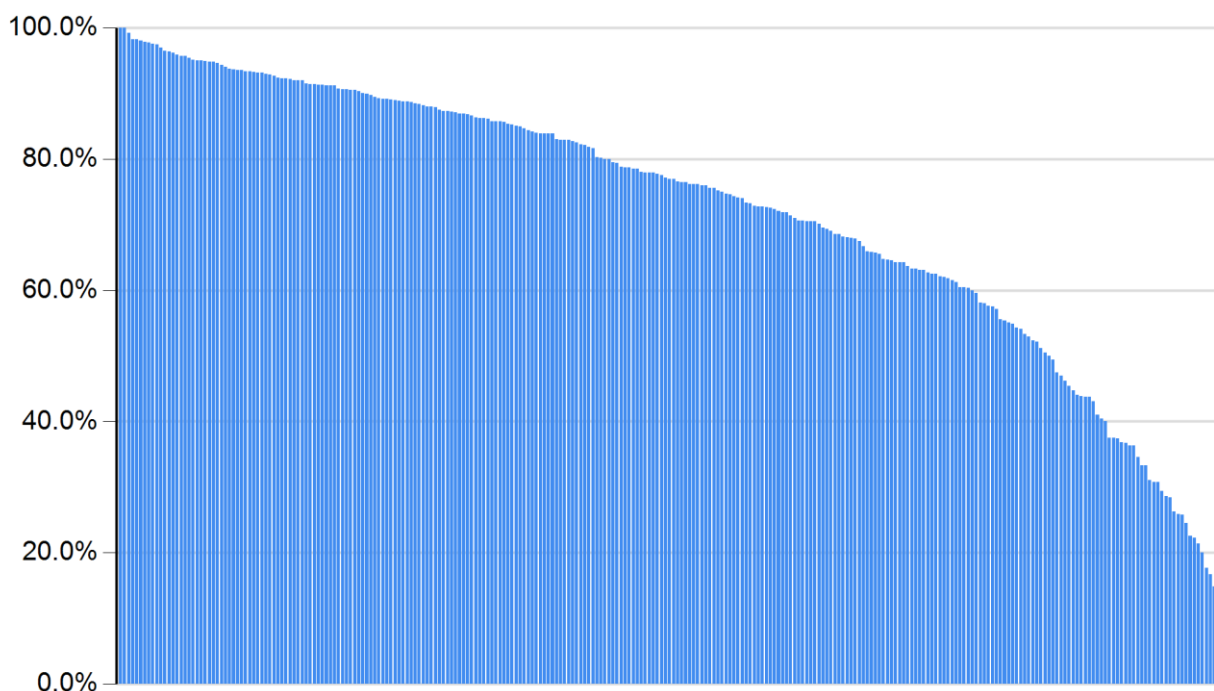
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2005
指標名	脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

分子：分母のうち、入院後早期(3日以内)に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、274/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
37324	28908	77.5%

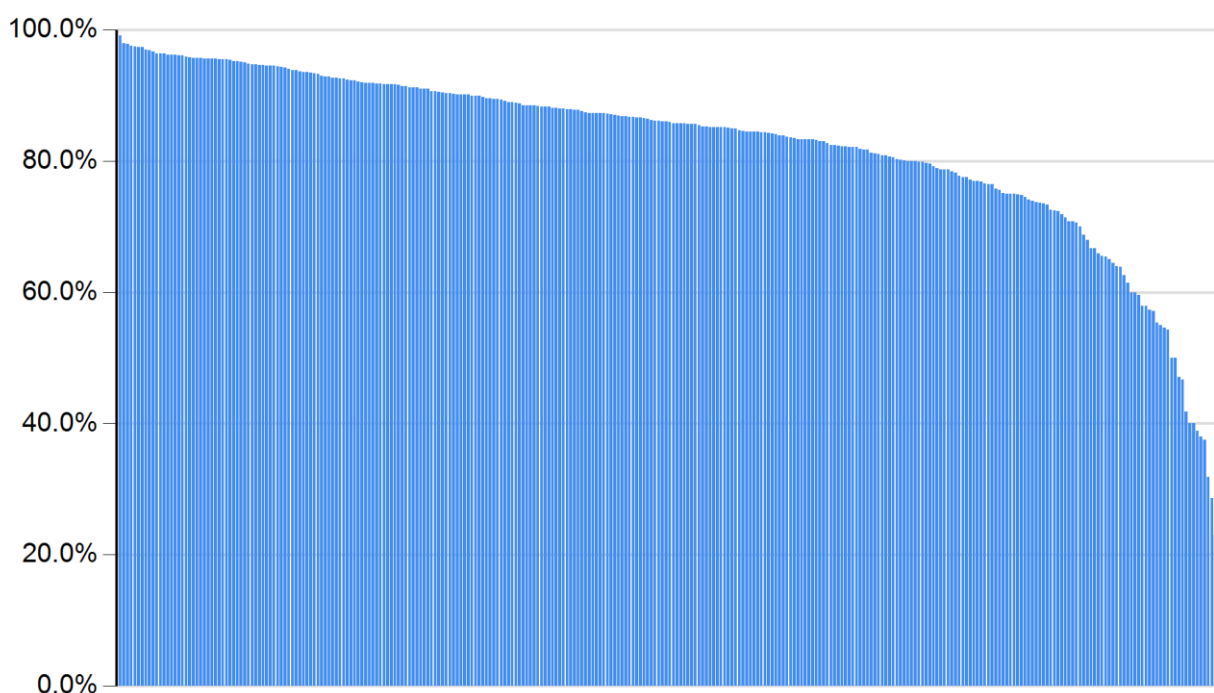
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0548
指標名	脳卒中の診断で入院し、リハビリ治療のための評価を受けた症例の割合

分子： 分母のうち、リハビリ治療を受けたか、その是非の評価を受けた症例

分母： 18歳以上の脳卒中(虚血性／出血性) の診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、302/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
64022	55375	86.5%

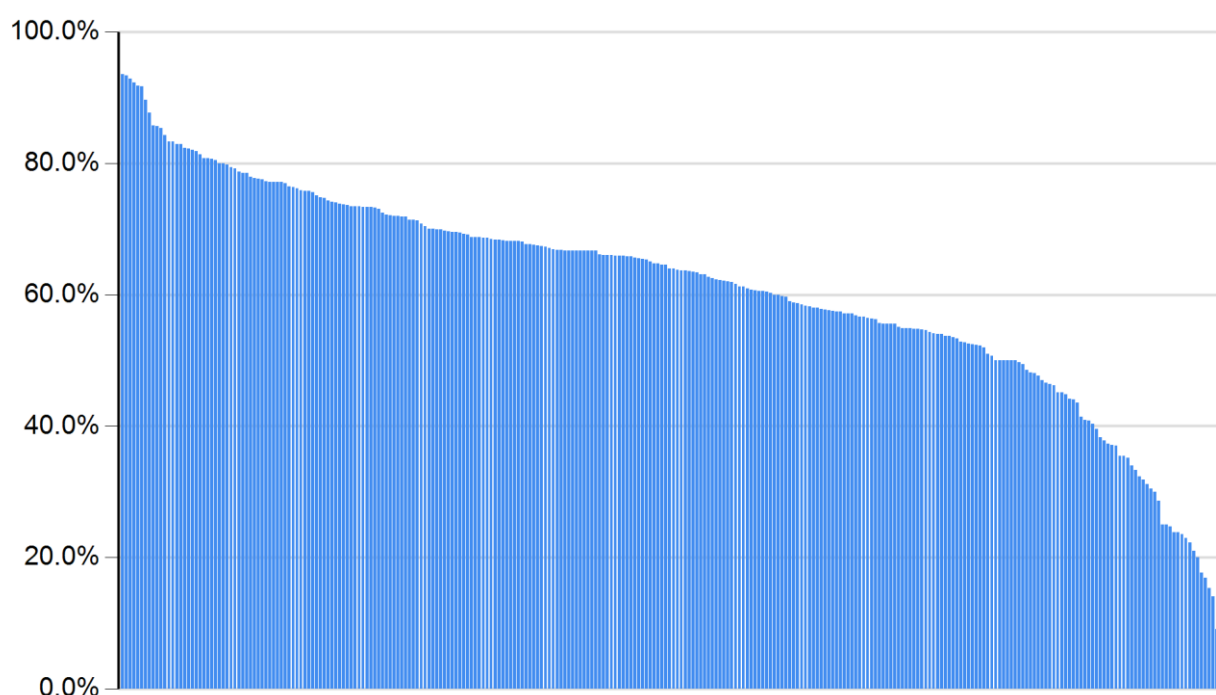
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0549
指標名	脳梗塞(TIA含む) の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法(ワルファリン、ヘパリンを除く) を受けた症例の割合

分子： 分母のうち、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法(ワルファリン、ヘパリンを除く) を受けた症例

分母： 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

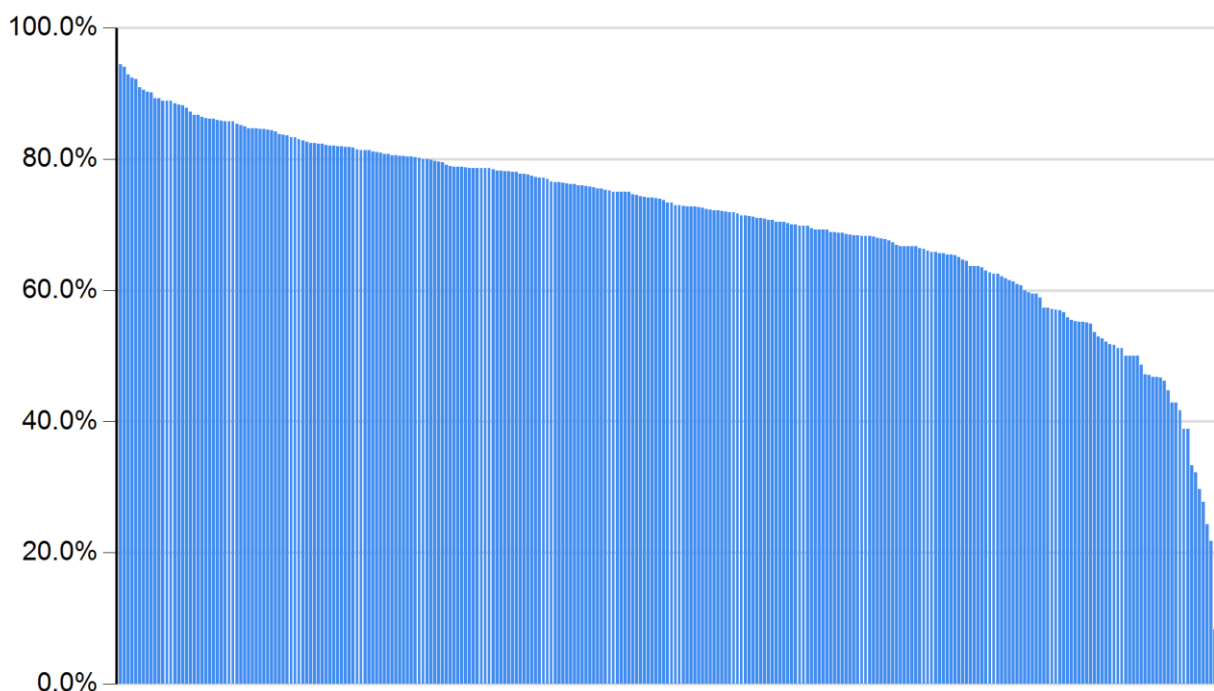
期間症例10例未満の病院を除外し、285/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
40580	25655	63.2%

指標番号	0837
指標名	脳梗塞(TIA含む) の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

分子： 分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された症例

分母： 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、285/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
26357	18904	71.7%

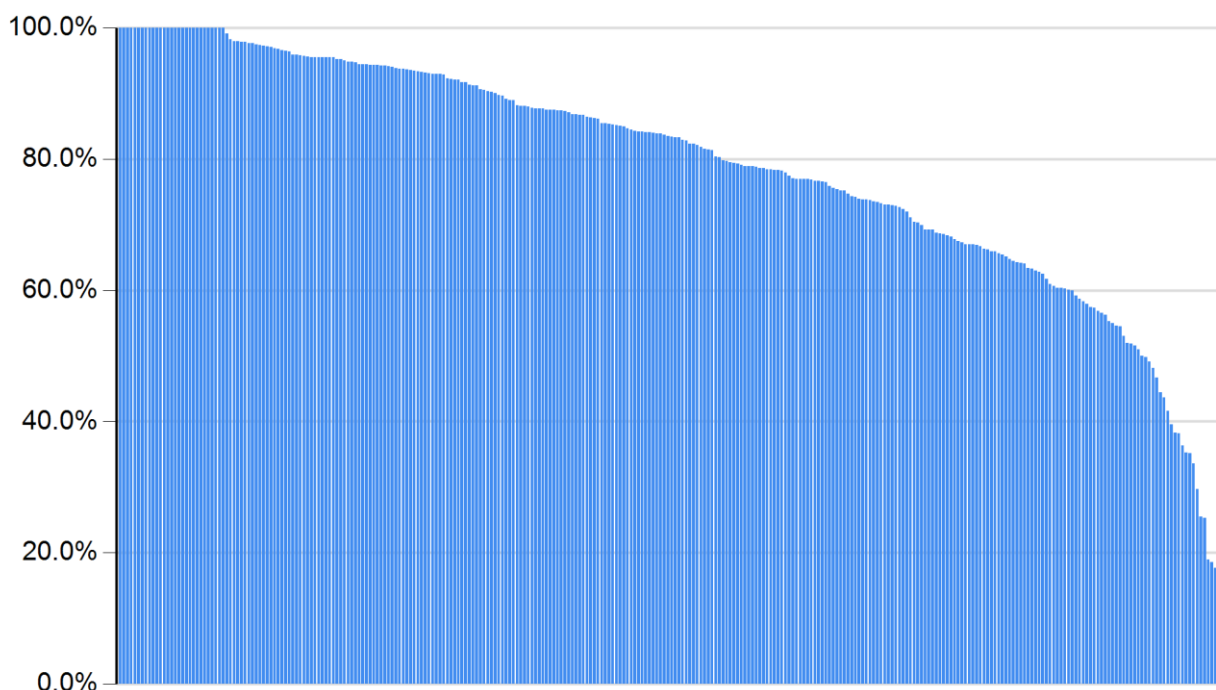
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0842
指標名	脳梗塞(TIA含む) の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

分子： 分母のうち、未分画ヘパリンを投与されなかった症例

分母： 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、301/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
48826	35428	72.6%

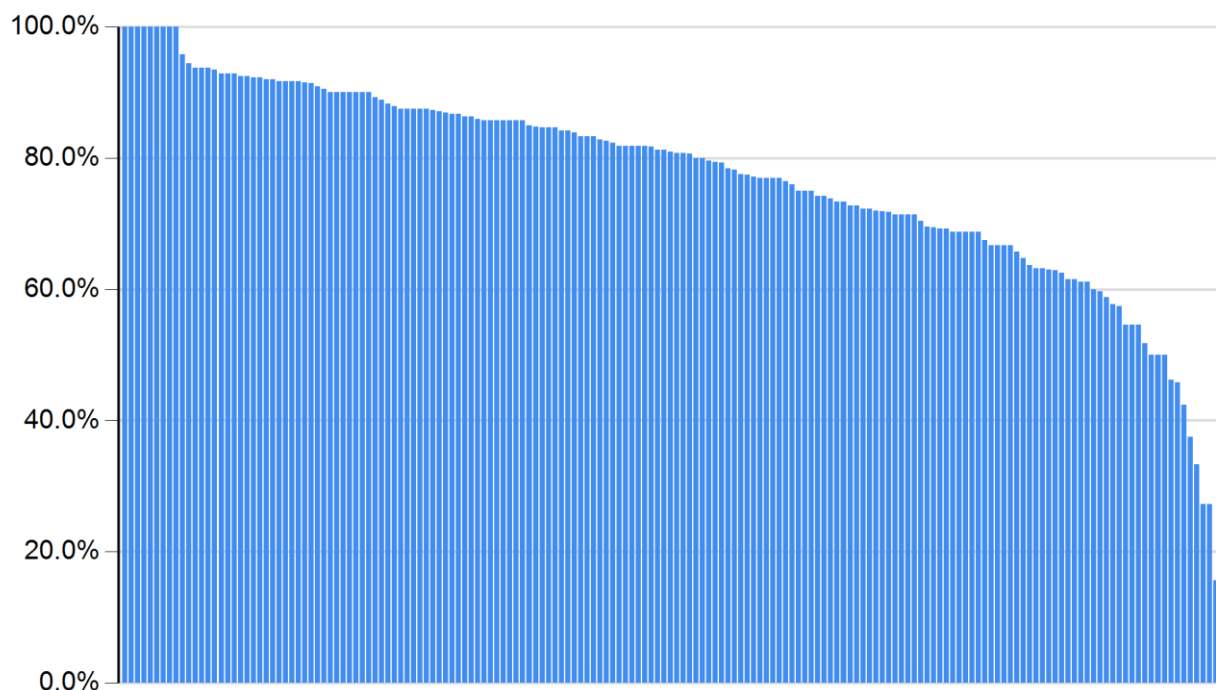
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0841
指標名	心房細動を合併する脳梗塞(TIA含む) の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

分子： 分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

分母： 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、172/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5030	3793	75.4%

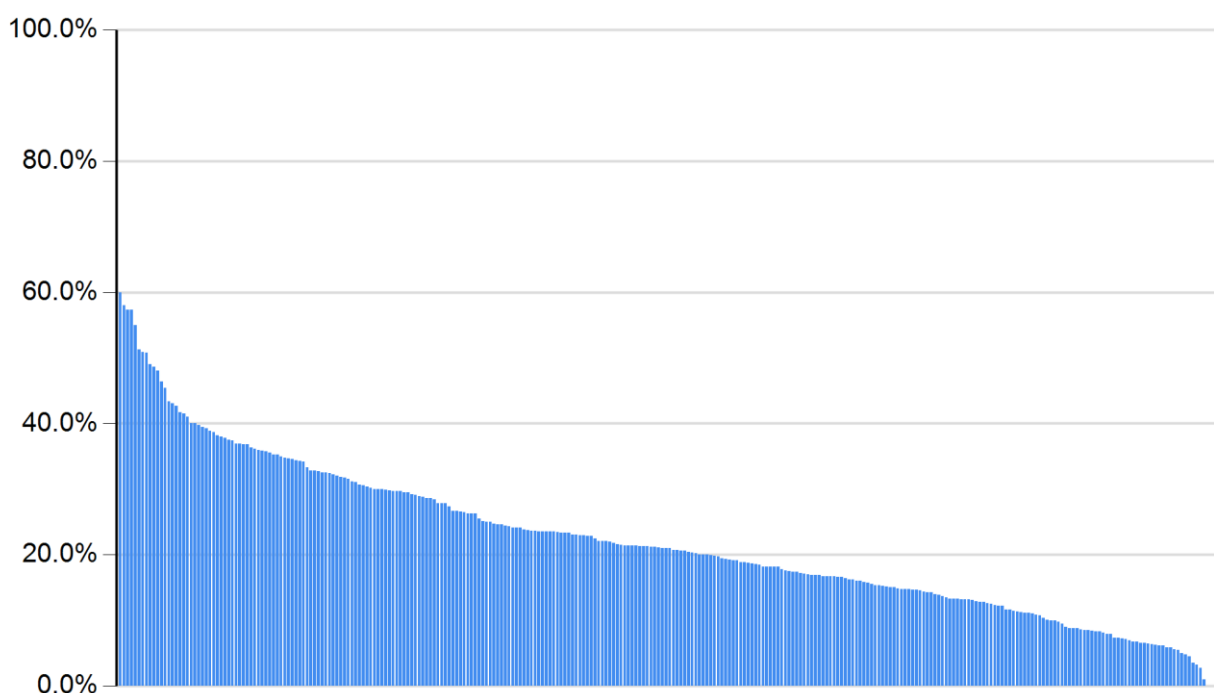
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2081
指標名	脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

分子： 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

分母： 脳梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、296/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
44382	9486	21.4%

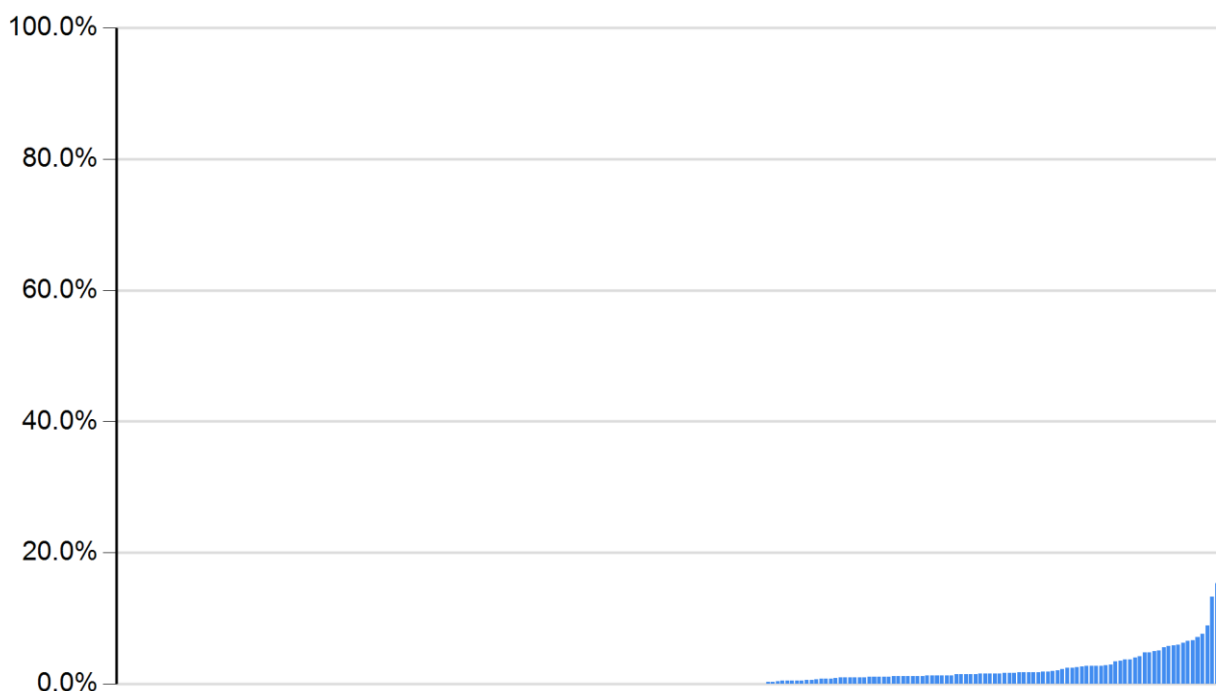
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2085
指標名	脳外科および脳卒中症例の深部静脈血栓症の発症率

分子：深部静脈血栓症の発症症例(0271のコード)

分母：脳外科・脳卒中症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、229/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
21066	249	1.2%

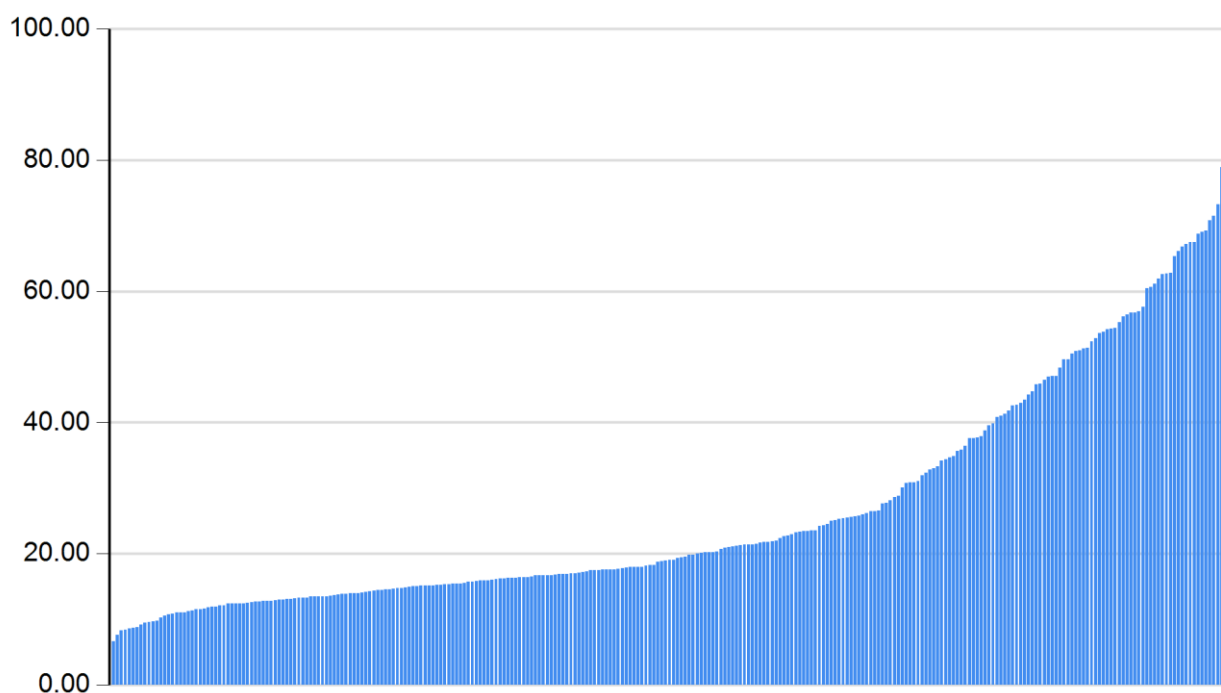
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2098
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ実施平均日数

分子：分母に該当する症例に対して、脳血管リハビリテーション治療を施行された日数

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院し、脳血管リハビリテーション治療を施行された症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、284/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
38811	915727	23.59

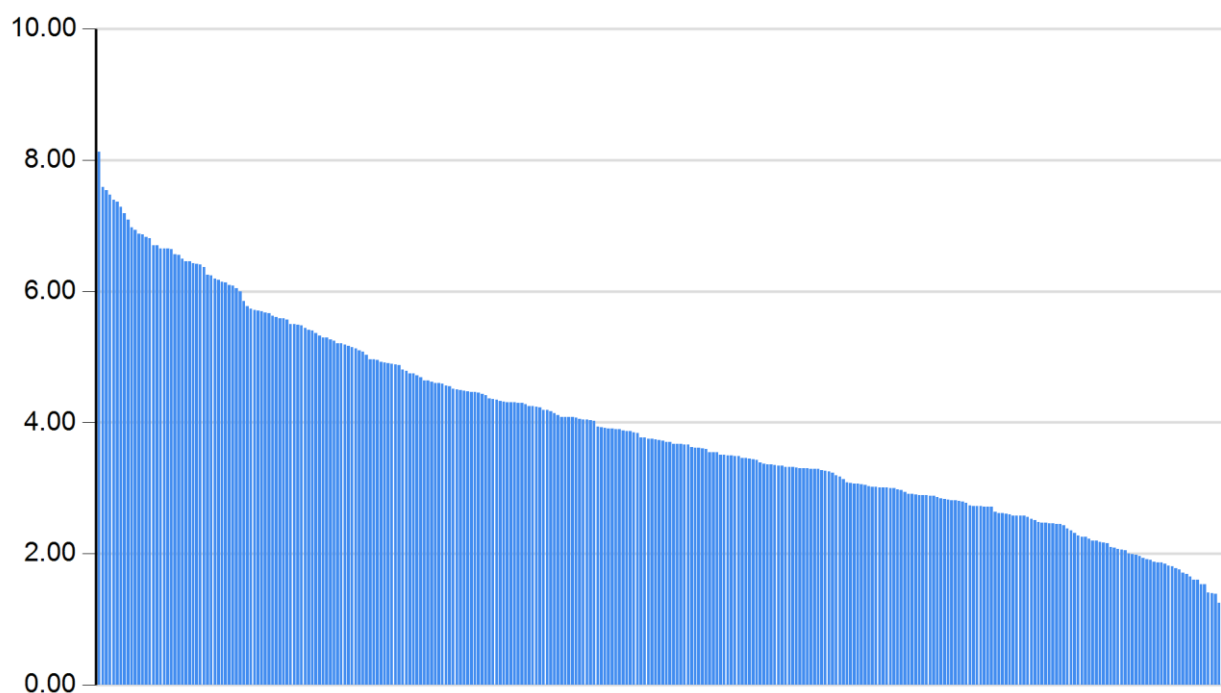
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2099
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ平均1日実施単位数

分子：分母の症例に対する脳血管リハビリテーション実施延べ単位数

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例に対する脳血管リハビリテーション実施日数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、314/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
947044	4337685	4.58

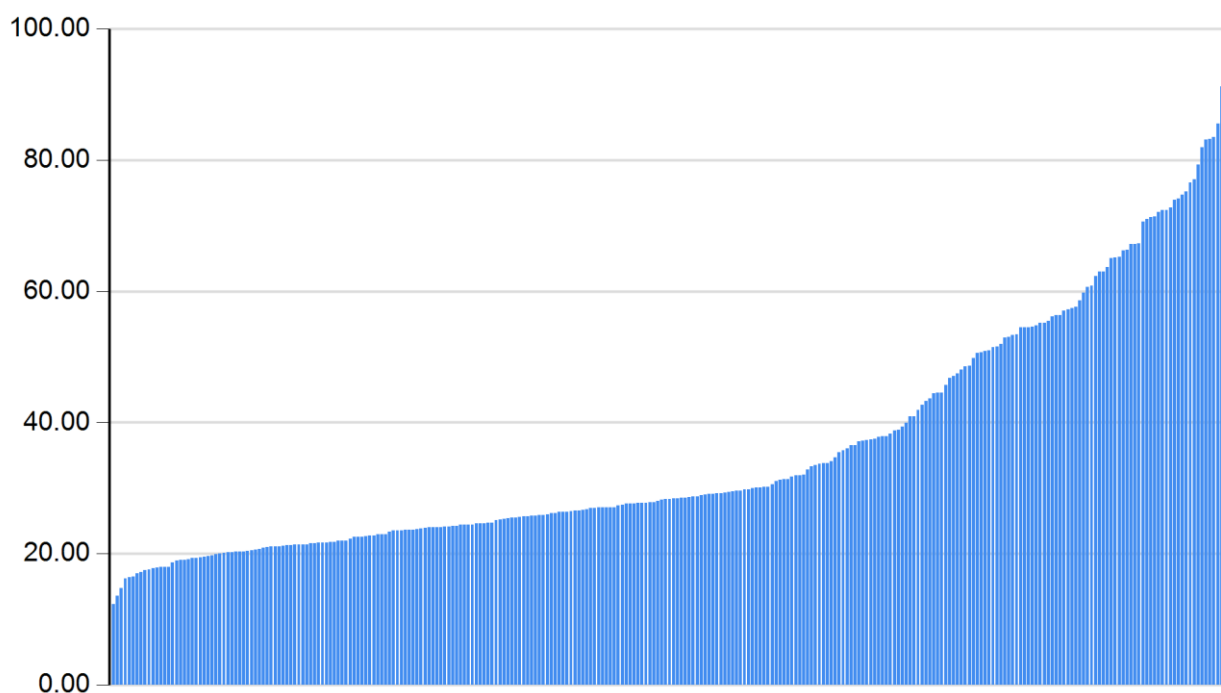
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2100
指標名	脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の平均在院日数

分子： 分母の症例の在院日数

分母： 18歳以上の脳梗塞の診断で入院し脳血管リハビリテーション実施された症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、284/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
38811	1221610	31.48

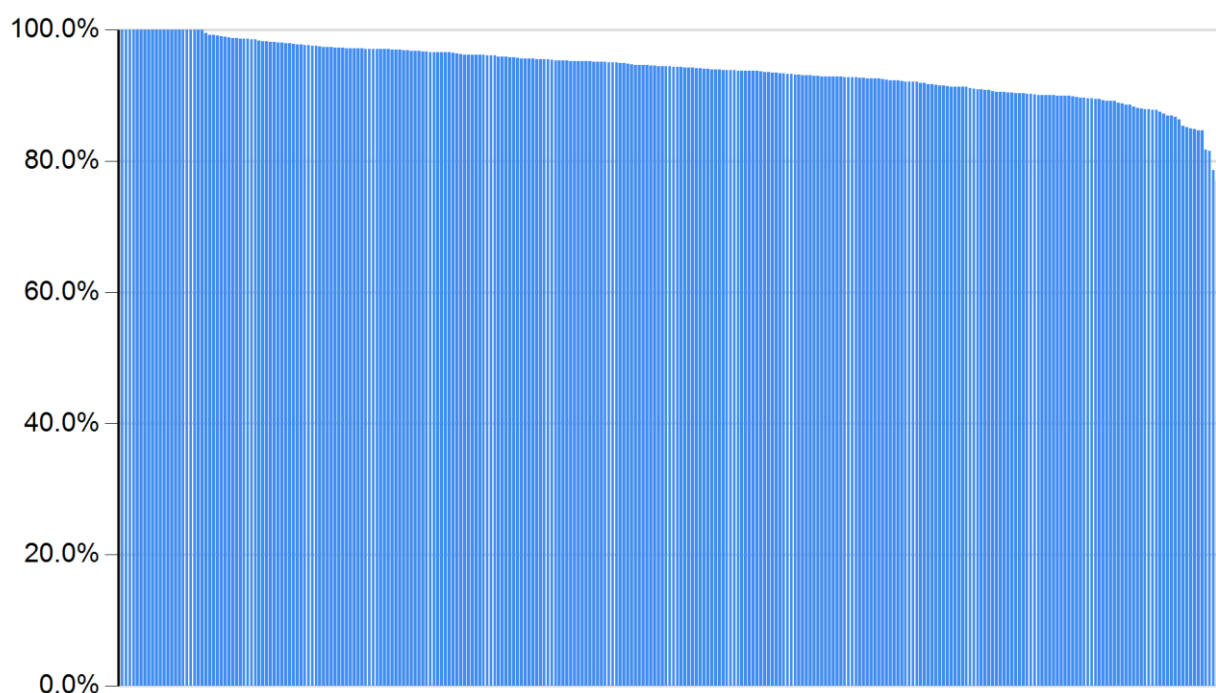
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	5001
指標名	脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合

分子：分母のうち、抗痙攣薬内服を投与されていない症例

分母：18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、291/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
43082	40397	93.8%

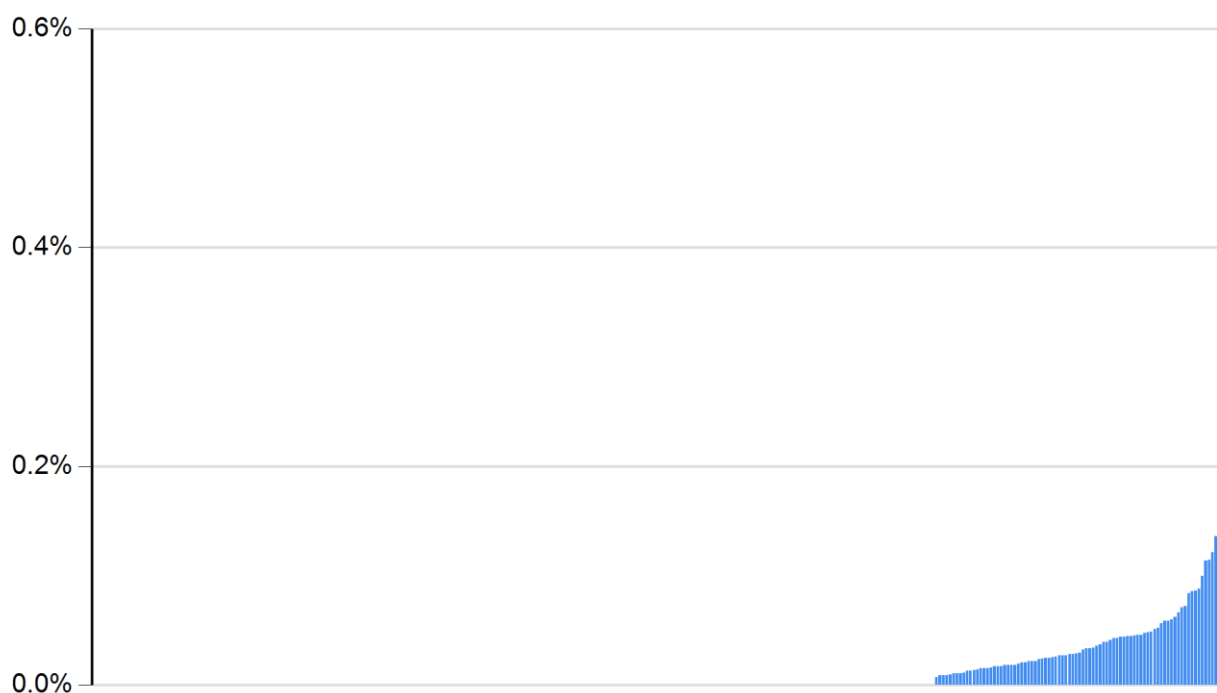
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0238
指標名	医原性気胸の発生割合(18歳以上)

分子： 分母のうち、医原性気胸発生患者

分母： 18歳以上の退院患者(除外項目あり)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1483347	202	0.0%

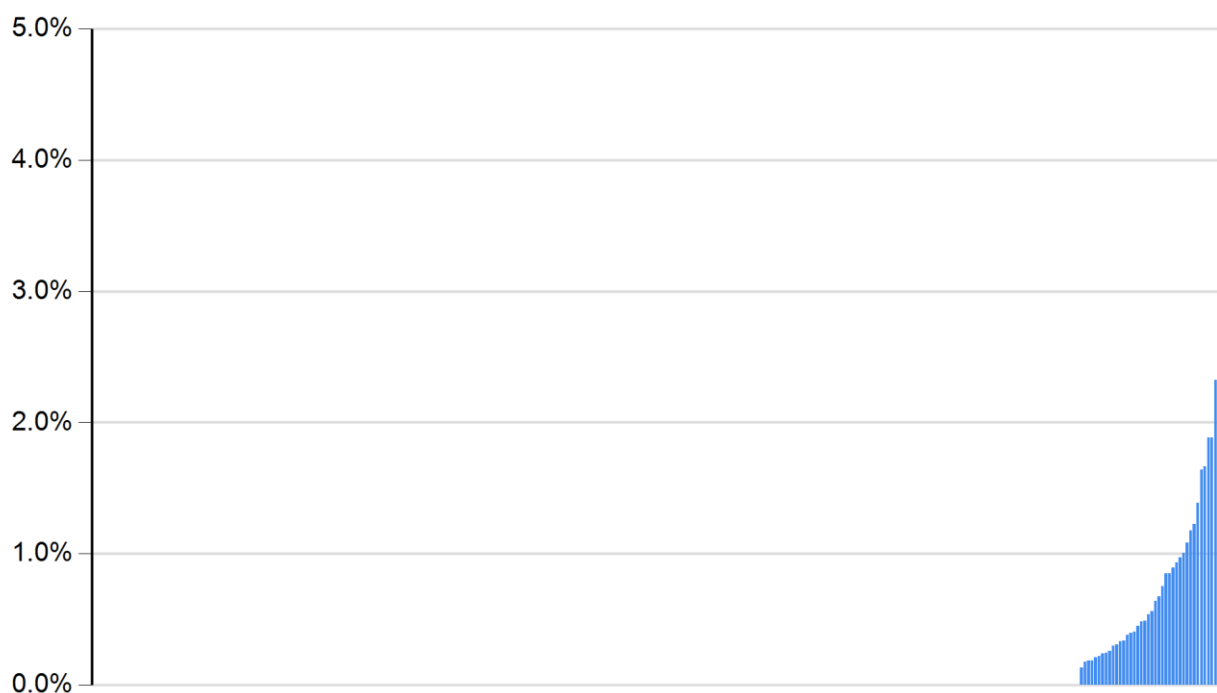
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2057
指標名	中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

分子： 分母のうち、医原性気胸発生症例

分母： 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、322/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
62604	66	0.1%

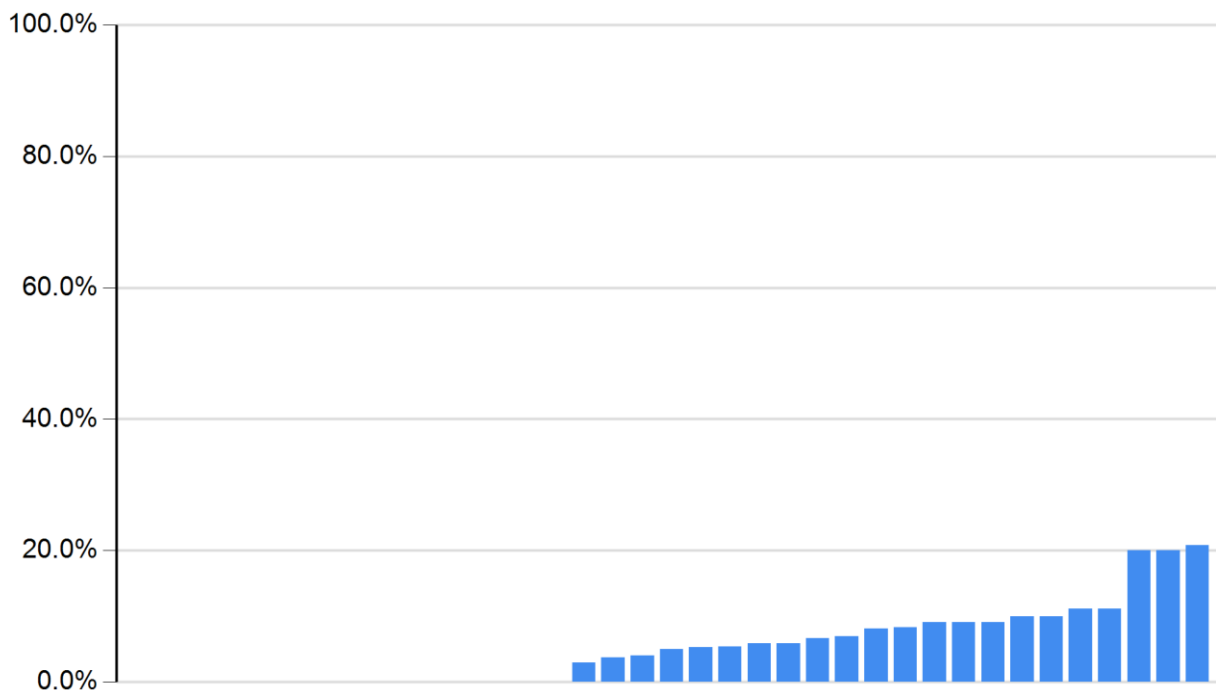
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0064
指標名	経胸壁的肺／縦隔生検を実施した症例において、手技後に治療を要する気胸や血胸が生じた症例の割合

分子： 分母のうち、胸腔ドレナージを受けた症例

分母： 18歳以上で、肺、気管、気管支、あるいは縦隔腫瘍が疑われ、かつ経胸壁的肺／縦隔生検を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、37/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1170	59	5.0%

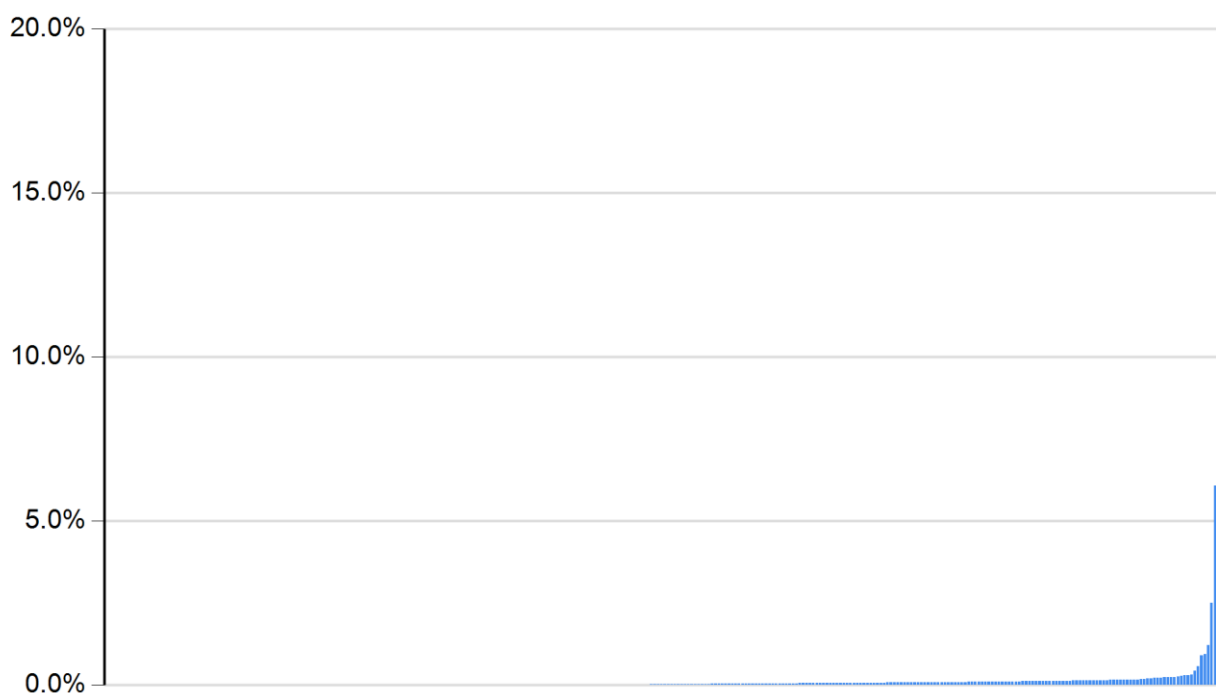
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0271
指標名	術後肺塞栓症発症数および発症率(緊急手術を除く)

分子：分母のうち、入院後に肺塞栓症を発症した症例

分母：18歳以上の手術(緊急手術を除く)を行い退院した症例(周産期、産褥期、出産は除外)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、332/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
674851	1631	0.2%

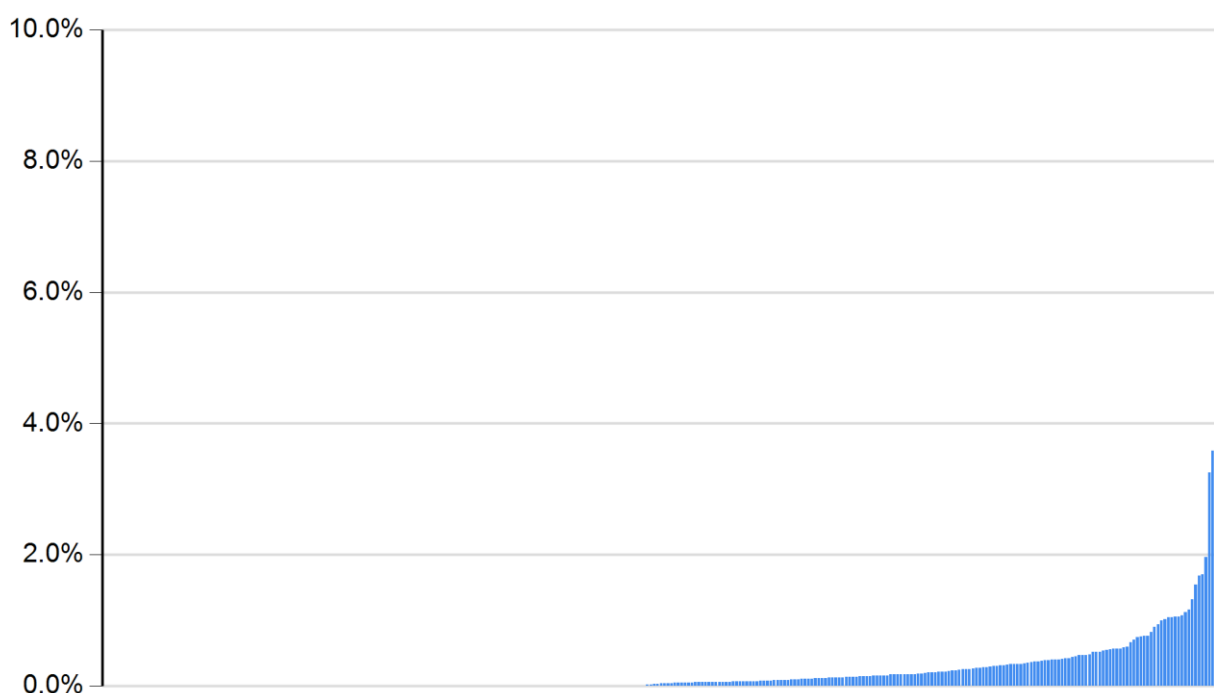
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0272
指標名	術後呼吸不全発症率(緊急手術を除く)

分子：分母のうち、術後呼吸不全症のある症例(入院後発症した傷病名に呼吸不全の見られる症例) 分

母：18歳以上の手術(緊急手術を除く)を行い退院した症例(周産期、産褥期、出産は除外)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、327/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
366256	954	0.3%

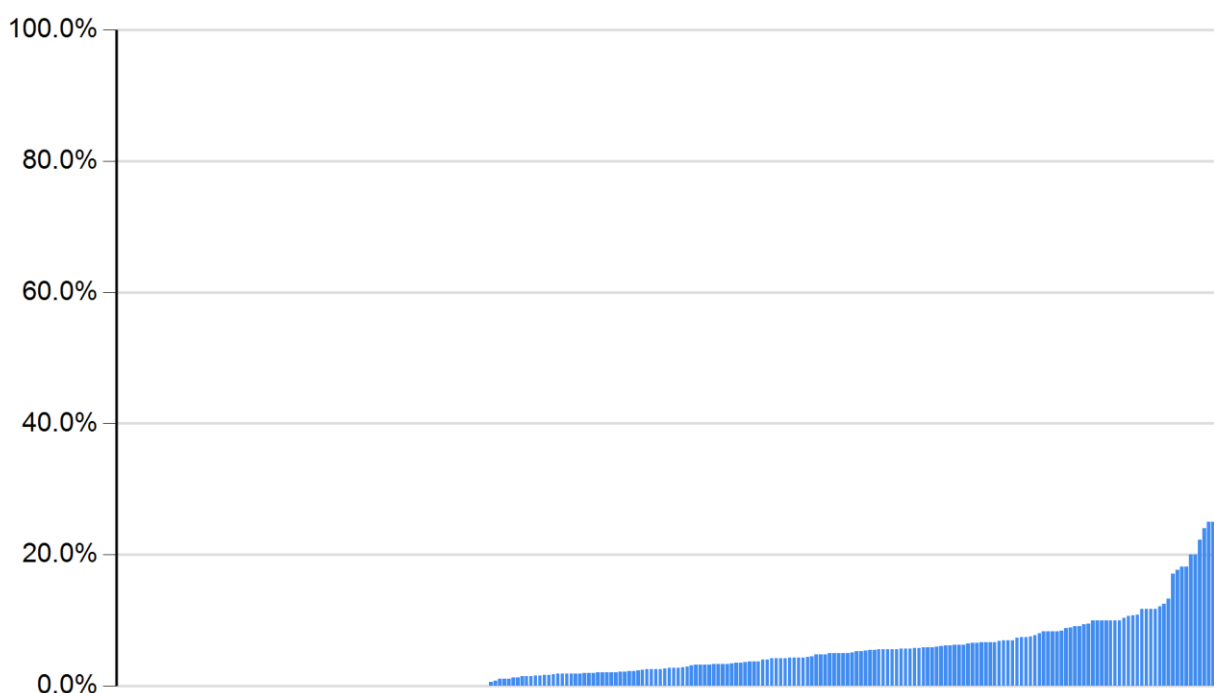
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0417
指標名	喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合

分子： 分母のうち、退院後30日間以内に喘息に関連した原因で再入院した症例数

分母： 喘息に関連した原因による5歳以上の入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、248/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
11536	475	4.1%

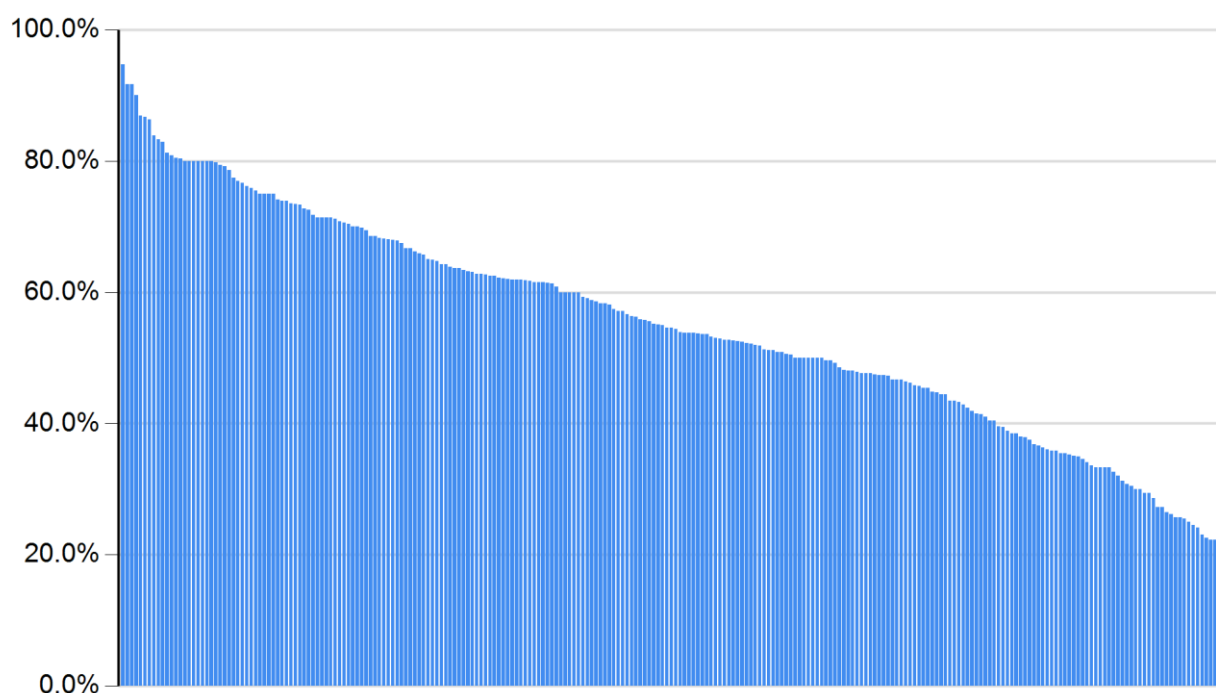
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0418
指標名	喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合

分子： 分母のうち、入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた症例数

分母： 喘息を原因とする5歳以上の入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、250/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
11871	6397	53.9%

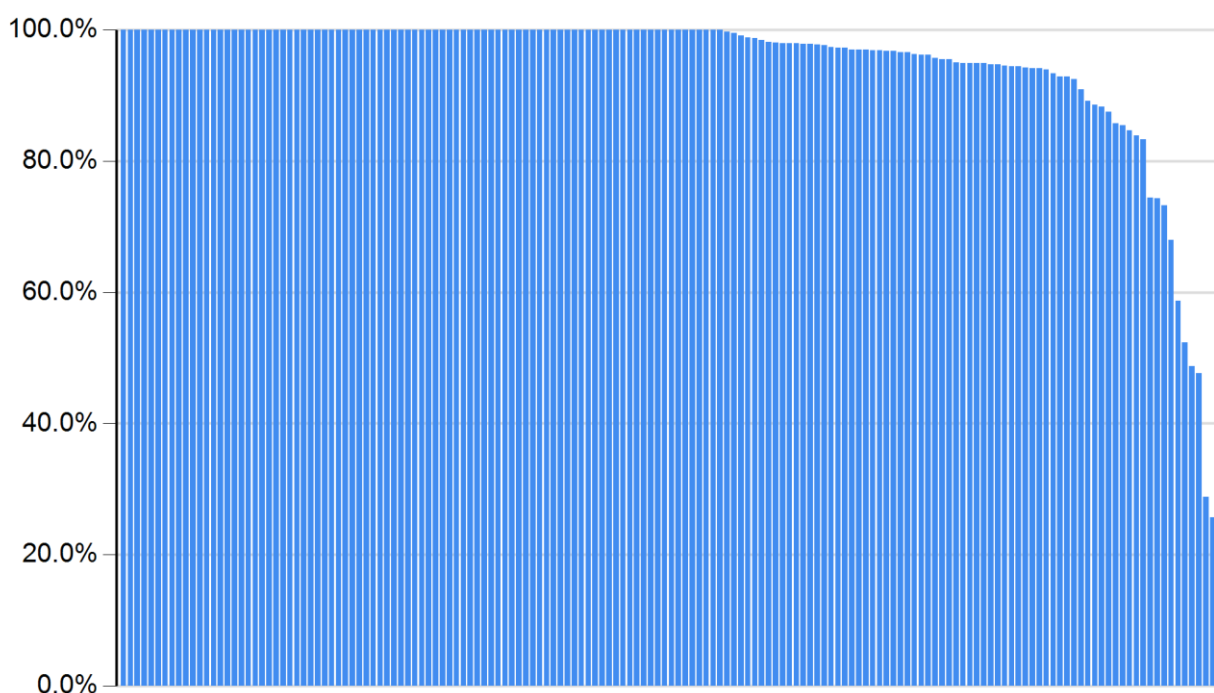
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0522
指標名	小児喘息に対して入院中に発作治療薬を処方された症例の割合

分子： 分母のうち、入院中に発作治療薬を処方された症例

分母： 2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、159/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9761	9112	93.4%

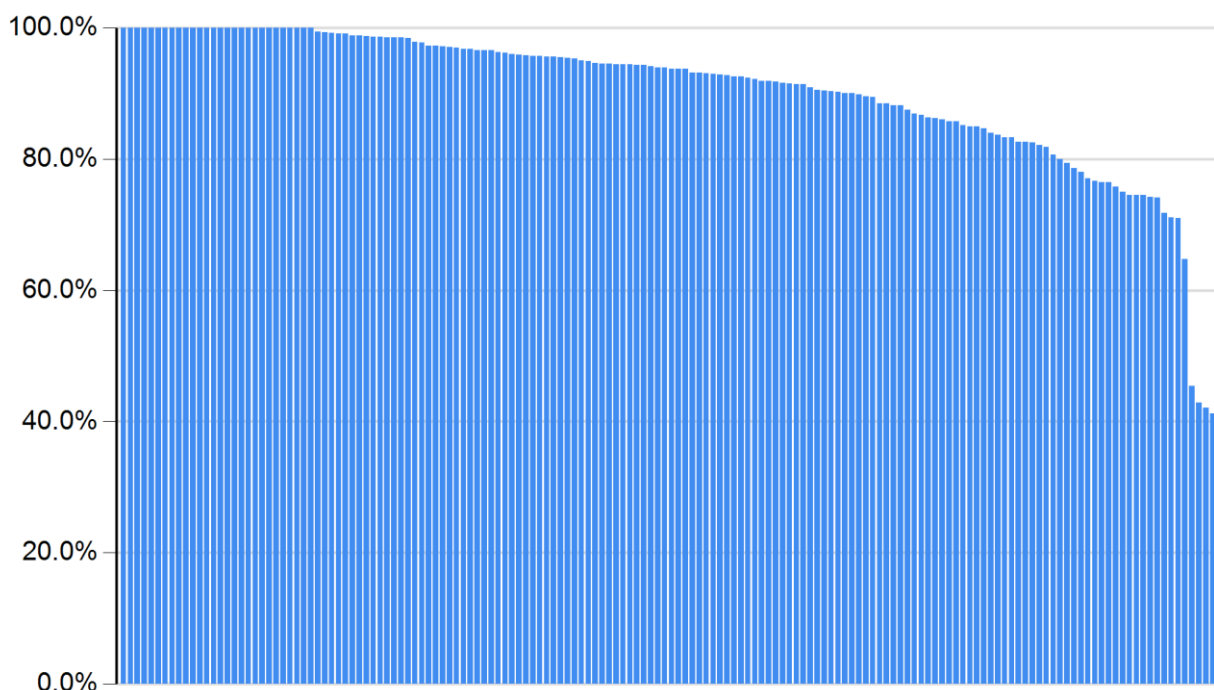
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0523
指標名	小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与(静注・経口)を受けた症例の割合

分子：分母のうち、入院中にステロイドの全身投与(静注・経口処方)を受けた症例数分

母：2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、159/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9761	8961	91.8%

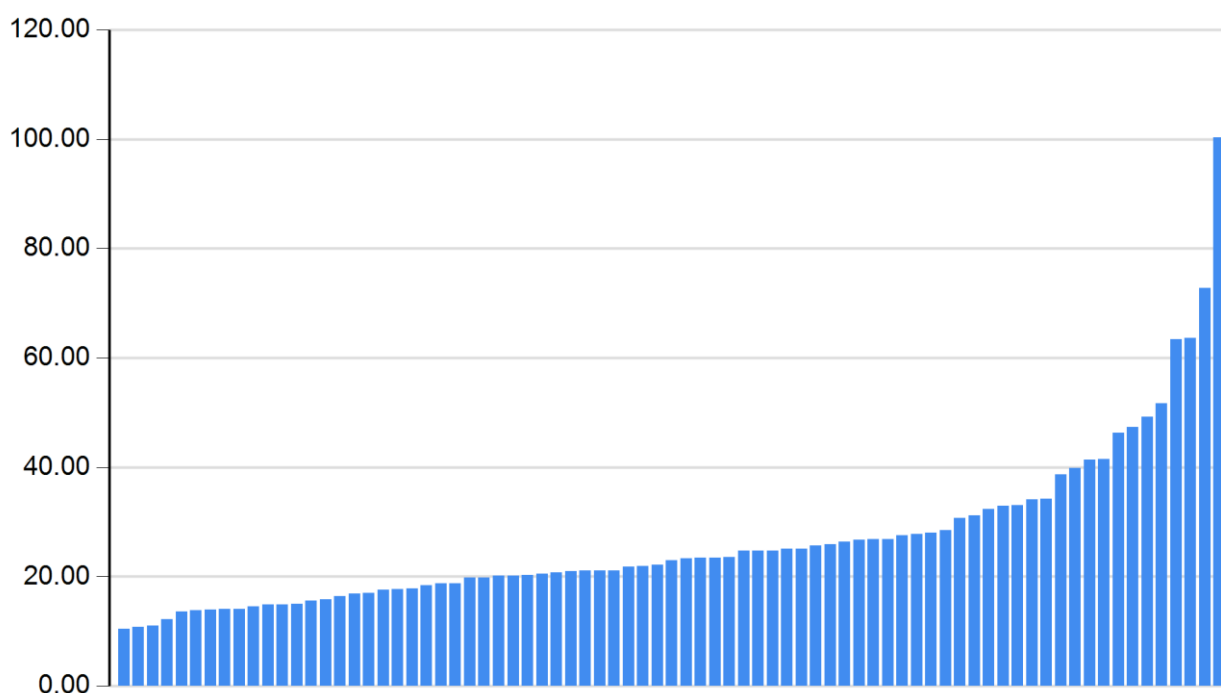
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2092
指標名	院内肺炎症例の平均在院日数

分子： 院内肺炎症例の在院日数合計

分母： 院内肺炎症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、77/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2258	64757	28.68

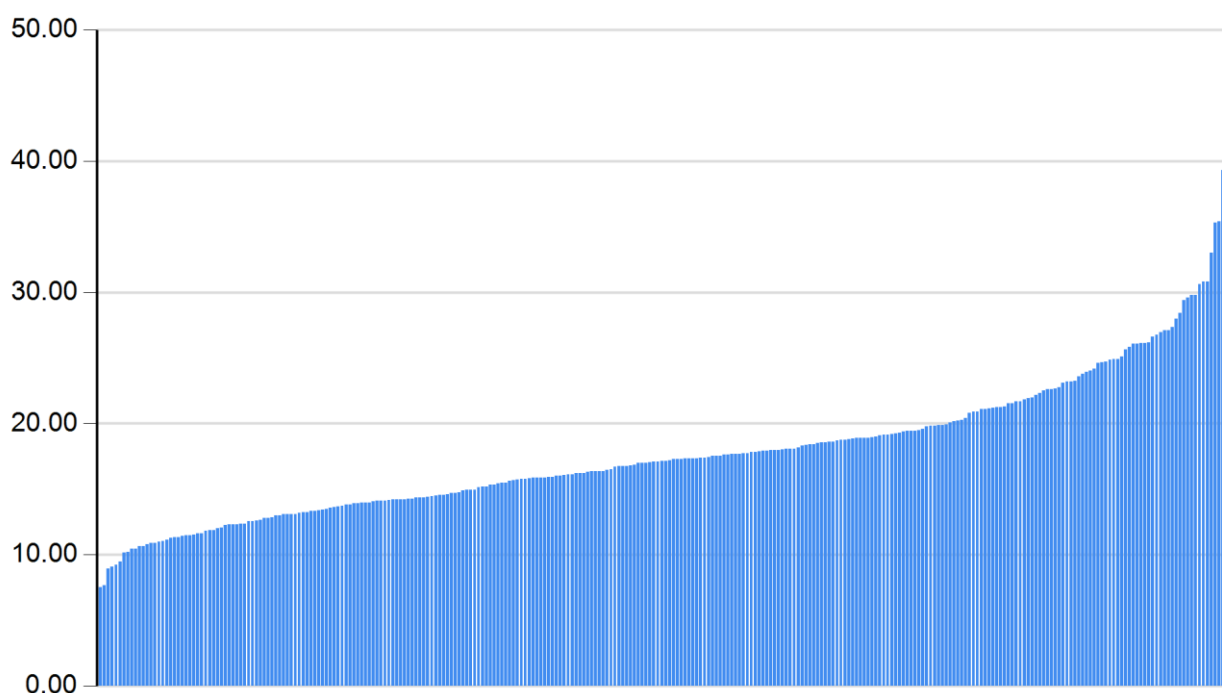
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2093
指標名	院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数

分子：院内肺炎症例の抗菌薬投与日数合計

分母：院内肺炎症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、291/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
18581	329519	17.73

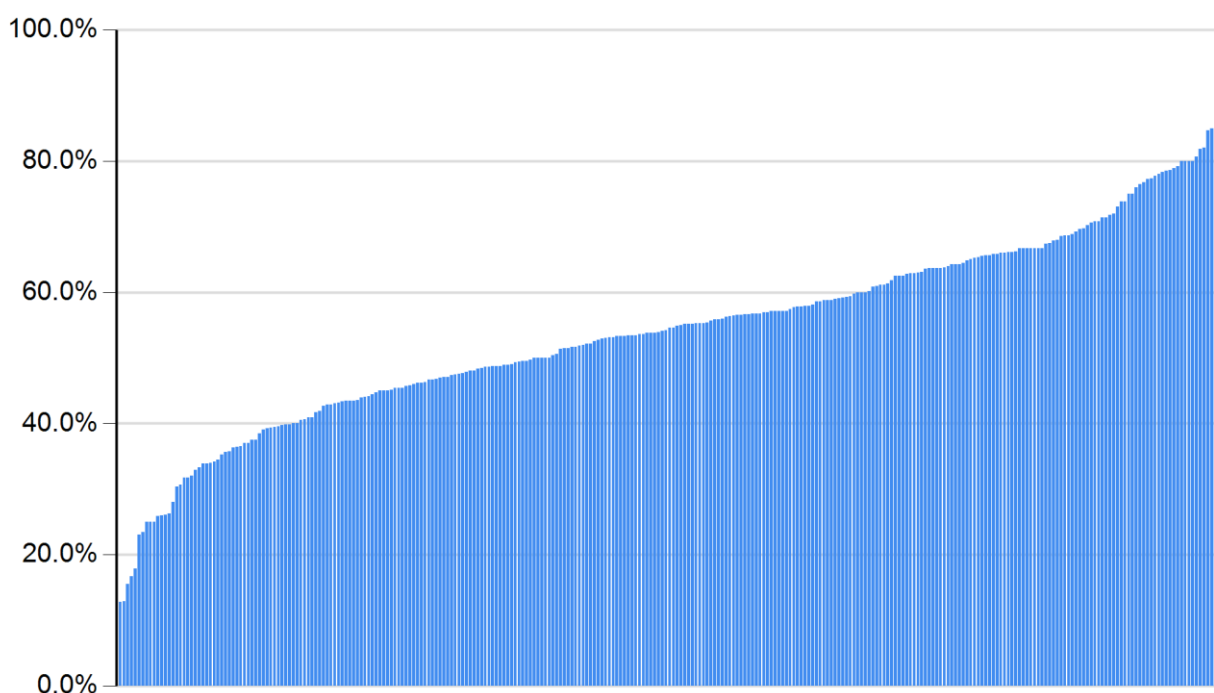
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2094
指標名	院内肺炎症例に対する抗緑膿菌薬投与割合

分子：抗緑膿菌薬を処方された症例数

分母：院内肺炎症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、294/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19705	10519	53.4%

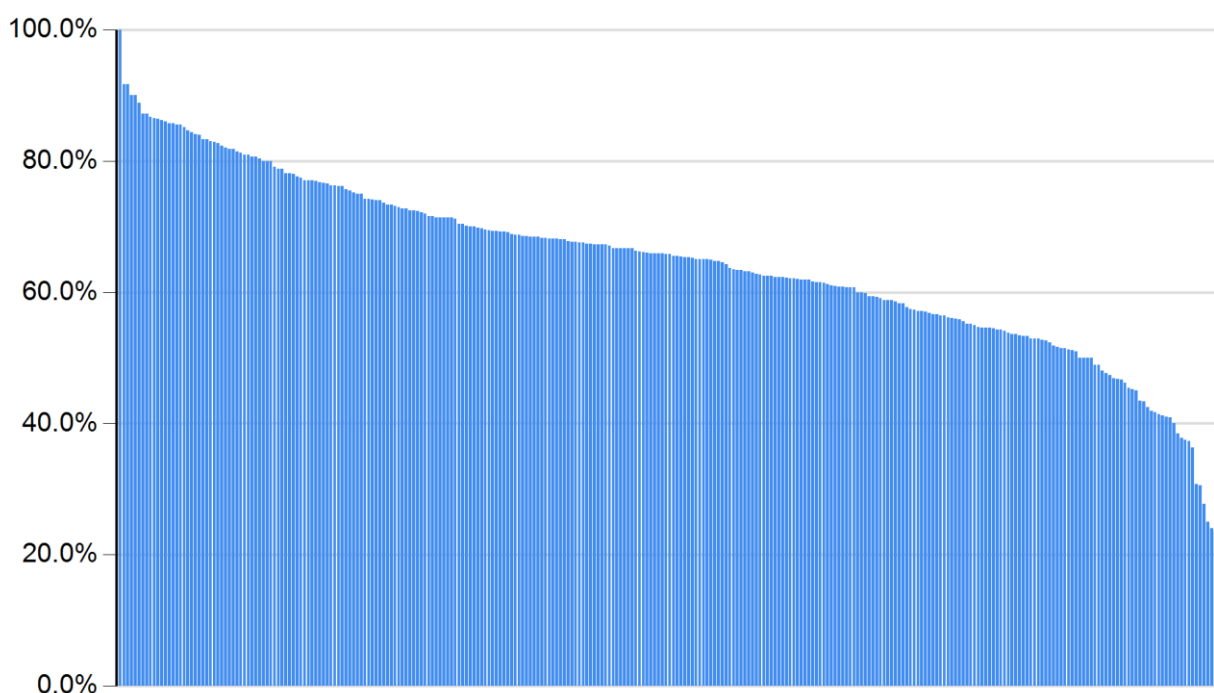
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2095
指標名	院内肺炎症例の治癒軽快割合

分子： 治癒または軽快で退院した症例数

分母： 院内肺炎症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、294/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19736	13009	65.9%

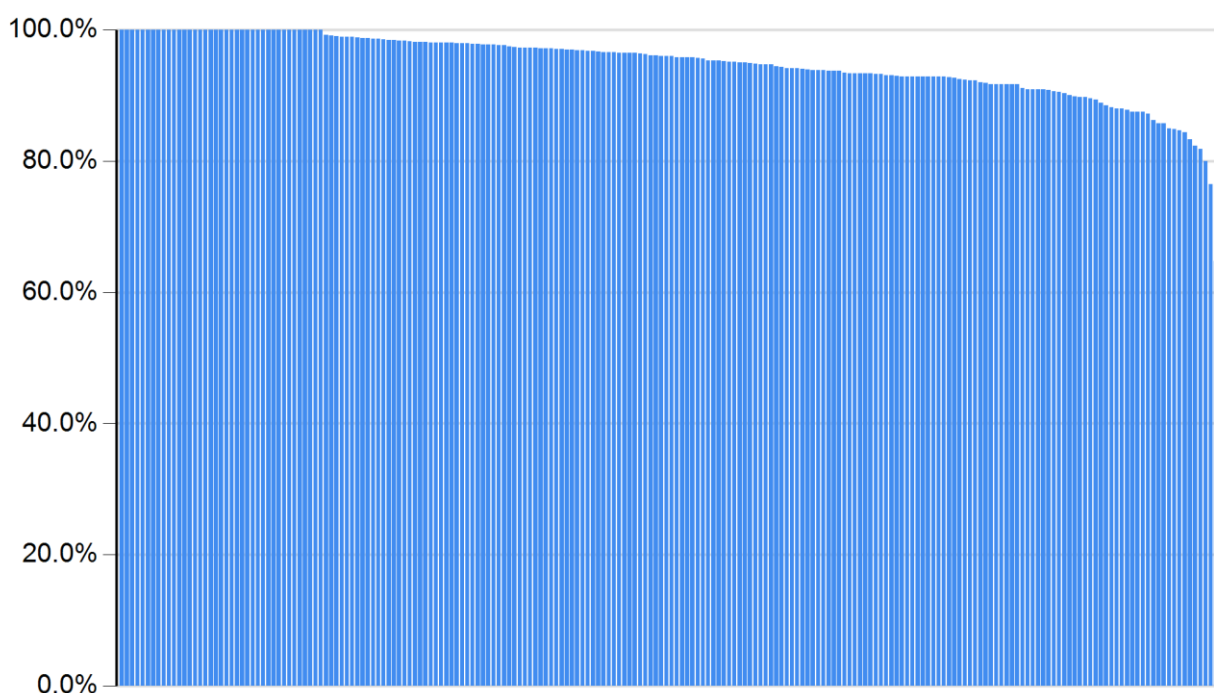
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2001
指標名	急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

分子：分母のうち、アスピリンが投与された症例数

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、211/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12990	12372	95.2%

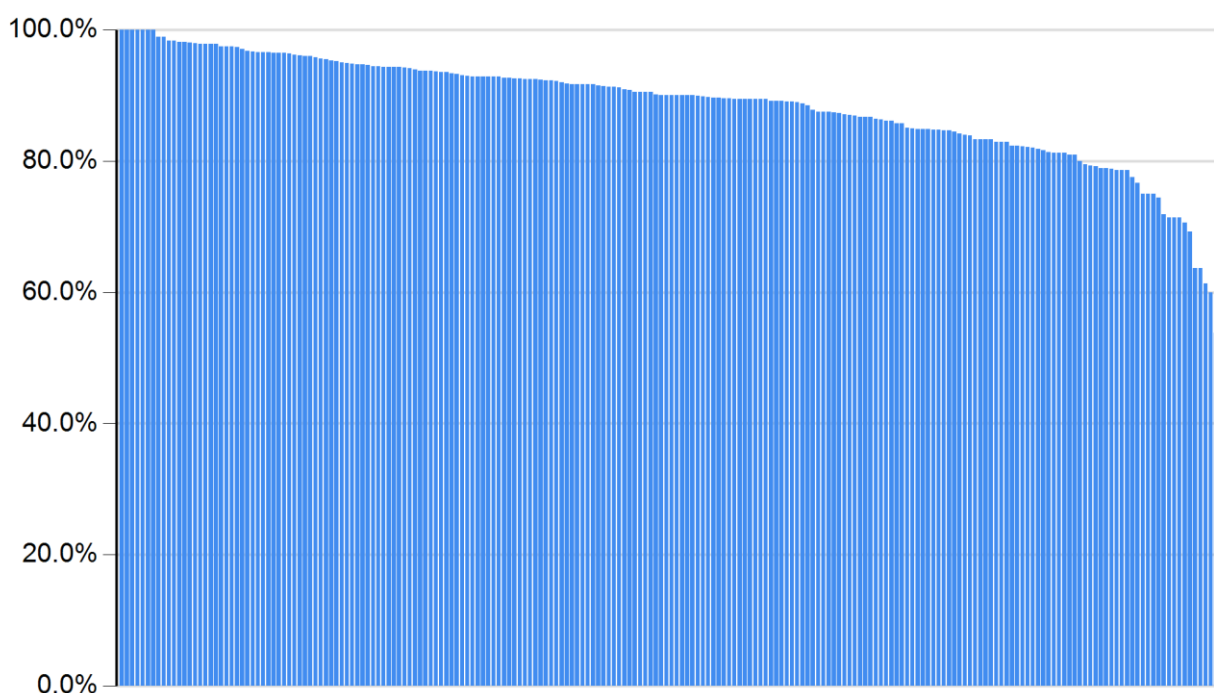
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0474
指標名	急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合

分子： 分母のうち入院後二日以内にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、211/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12990	11682	89.9%

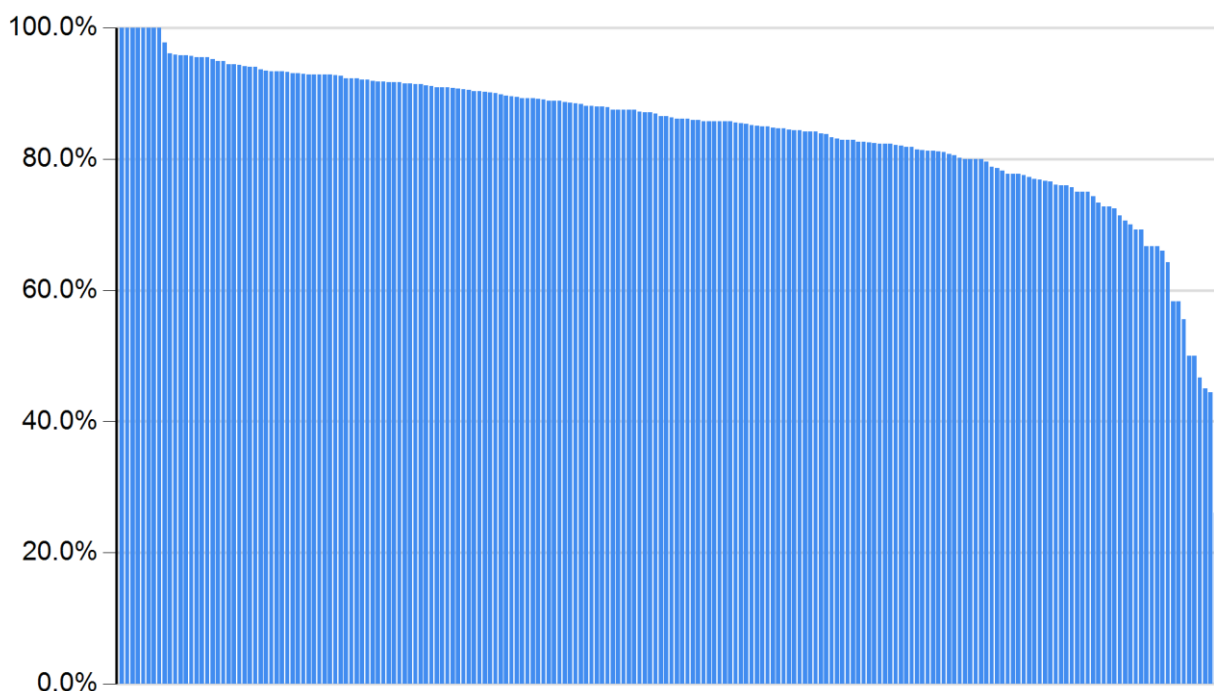
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0473
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合

分子： 分母のうち、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、207/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12224	10459	85.6%

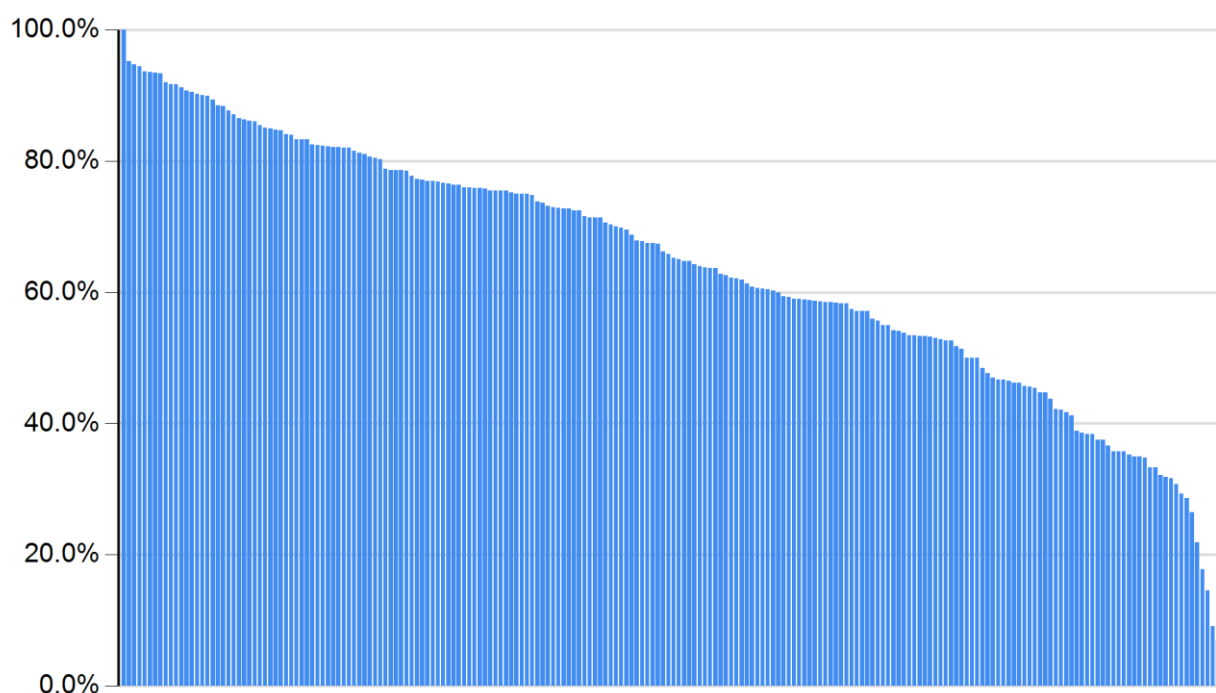
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2002
指標名	急性心筋梗塞患者におけるBブロッカー投与割合

分子：分母のうち、Bブロッカーが投与された症例数

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、211/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12990	8674	66.8%

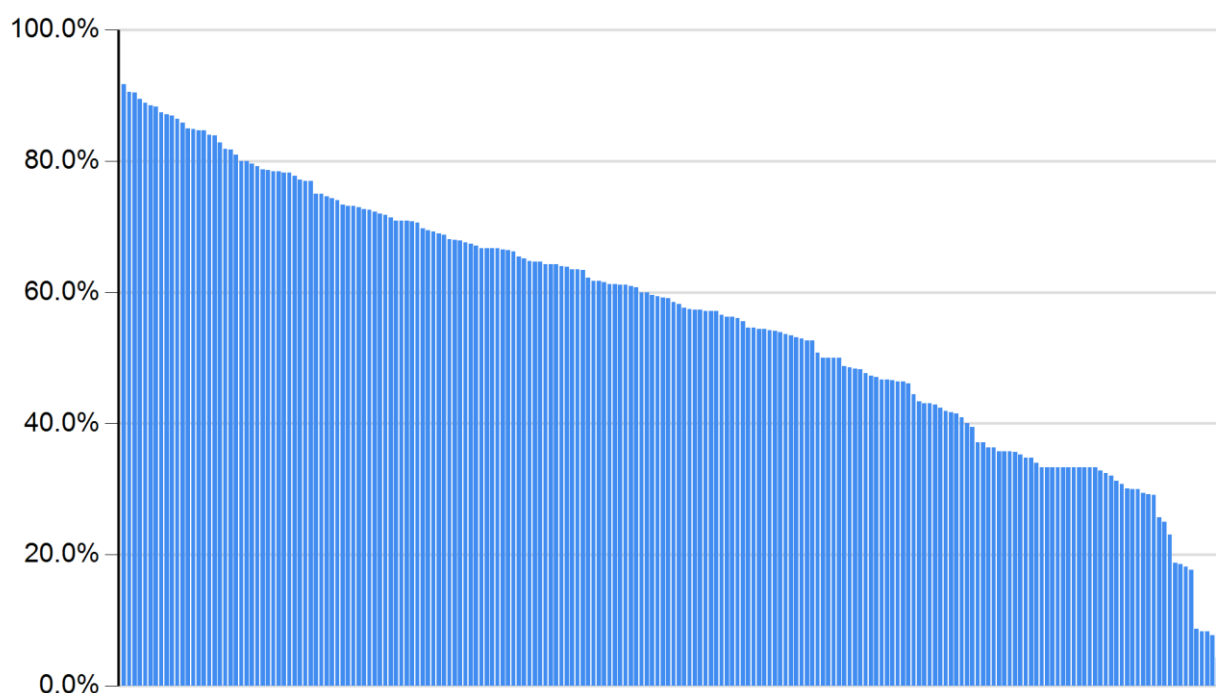
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0472
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時Bブロッカー投与割合

分子： 分母のうち、退院時にBブロッカーが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



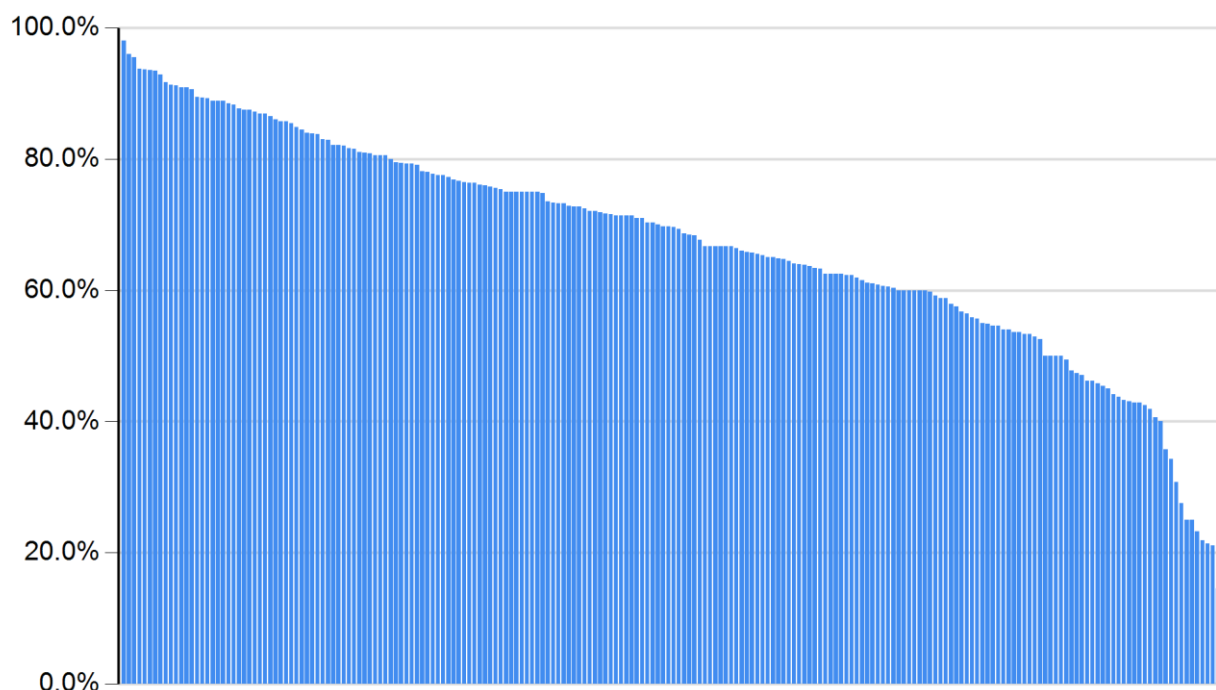
データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、207/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12224	7282	59.6%

指標番号	2003
指標名	急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンII受容体阻害剤の投与割合

分子： 分母のうち、ACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンII受容体阻害剤（ARB）

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、211/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12990	9141	70.4%

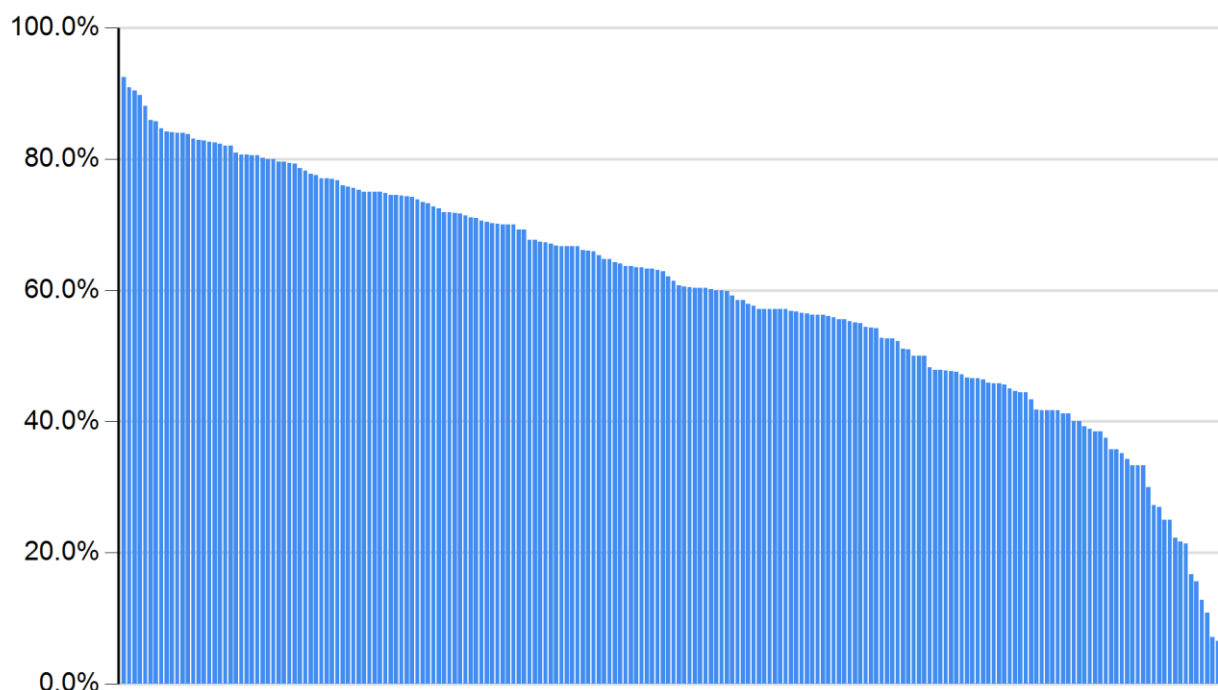
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2051
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシン11受容体阻害剤の投与割合

分子： 分母のうち、ACEI/ARBが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、207/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12224	7752	63.4%

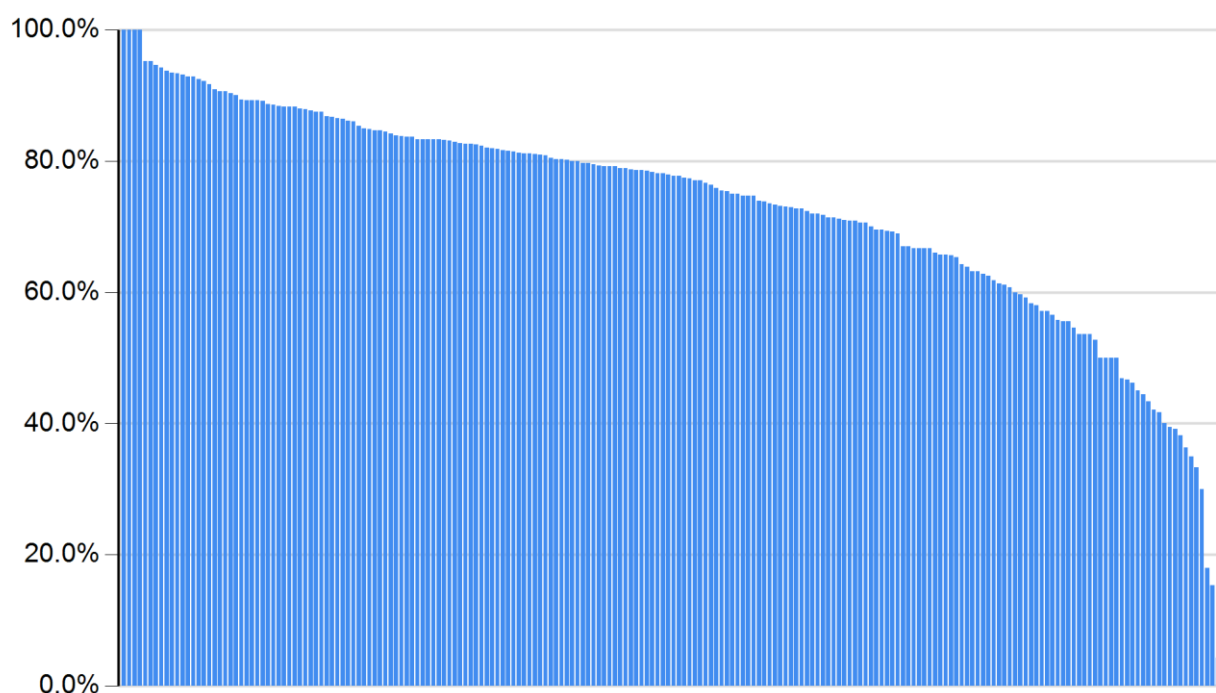
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2050
指標名	急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

分子： 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

分母： 急性心筋梗塞で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、207/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12224	9272	75.9%

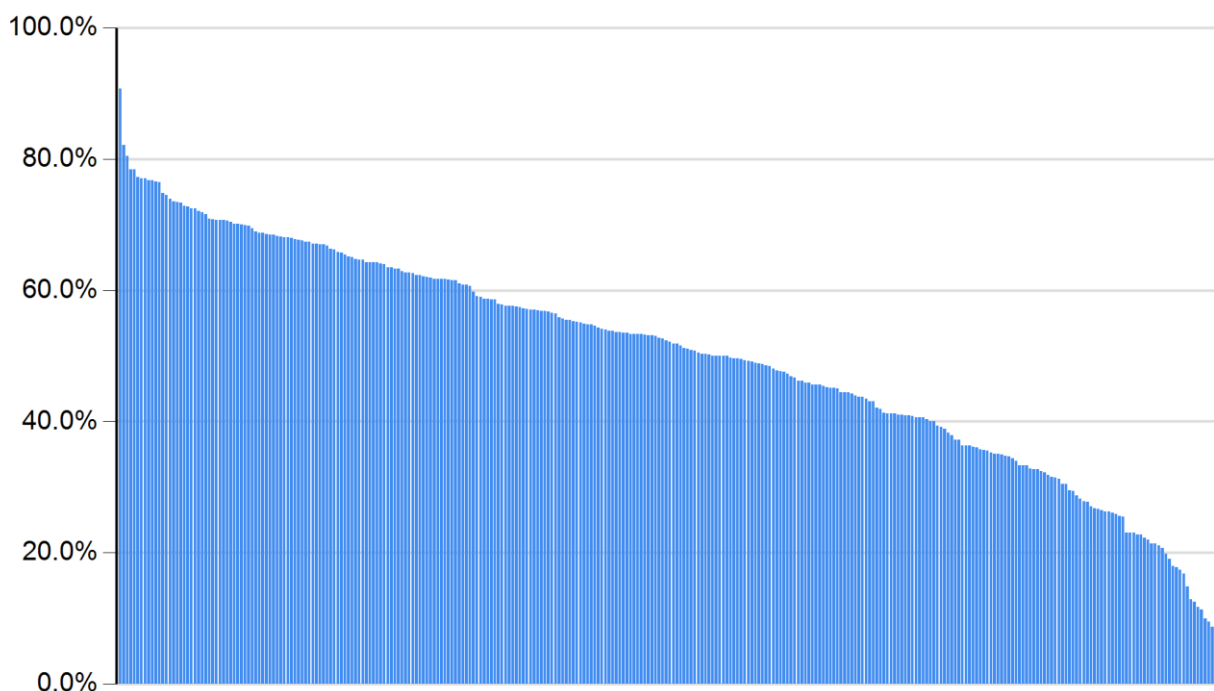
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2006
指標名	心不全患者へのBブロック投与の割合

分子： 分母のうち、Bブロックが投与された症例数

分母： 心不全で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、310/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
44070	24732	56.1%

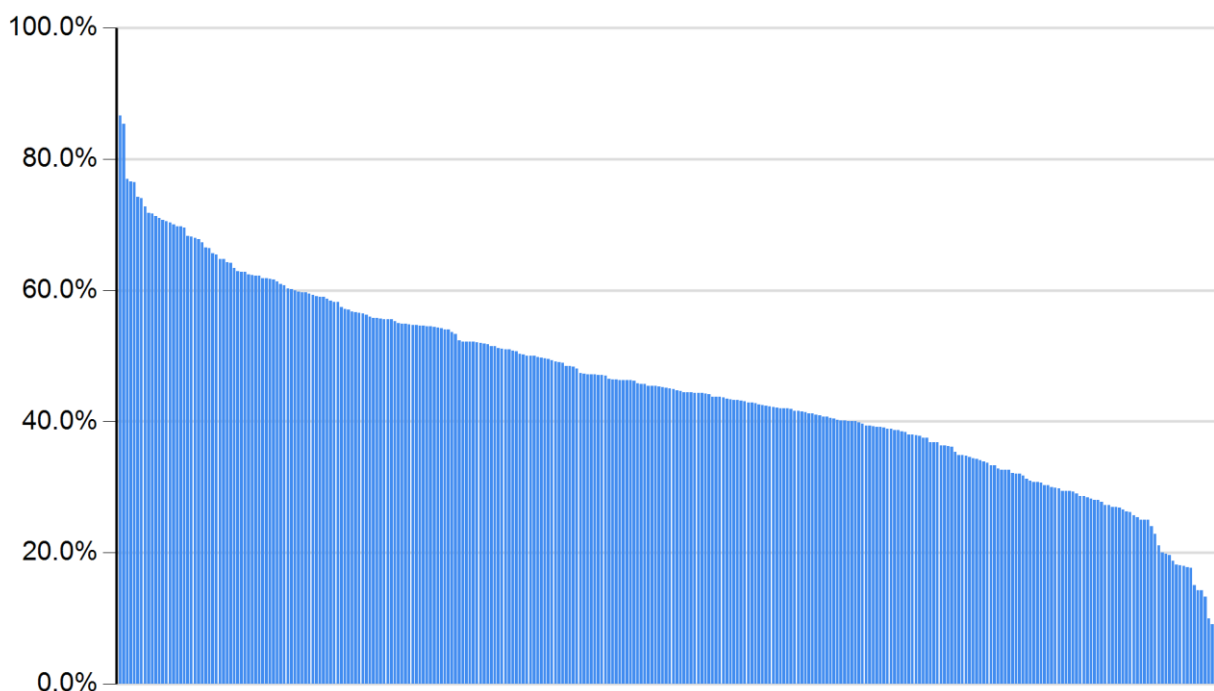
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2007
指標名	心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンII受容体阻害剤投与の割合

分子： 分母のうちACE阻害剤もしくはアンギオテンシンII受容体阻害剤が投与された症例数

分母： 心不全で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、310/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
44070	21902	49.7%

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0598
指標名	経皮的冠動脈形成術（PTCA）を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術（CABG）を受けた割合

分子：分母のうち、同日あるいは翌日までにCABGを受けた件数

分母：18歳以上のPTCA件数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、235/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
51558	36	0.1%

2017/02/07 出力

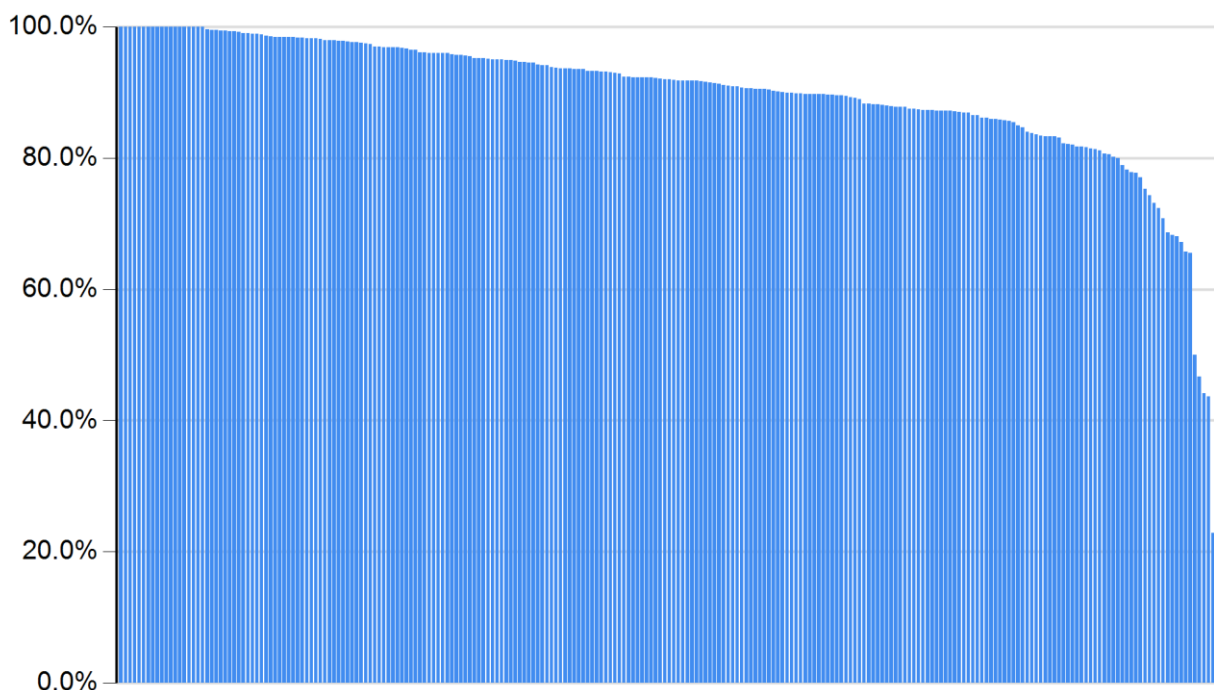
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0209
指標名	左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合

分子：分母のうち、同日に右心カテーテル検査を受けていない症例

分母：18歳以上で左心カテーテル手技を受けたケース

※1入院中に複数回の手技を受けた患者は、回数分算出される



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、244/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
133407	119794	89.8%

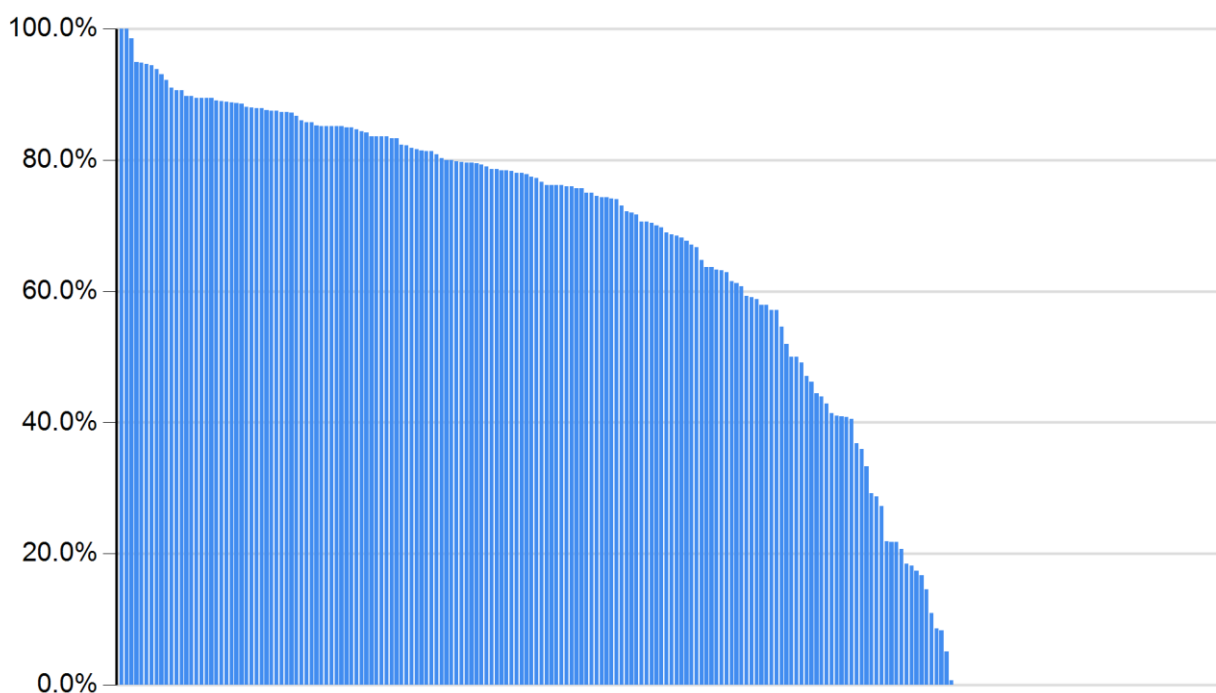
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2077
指標名	急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む) 患者に対する心臓リハビリ実施割合

分子： 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

分母： 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む) で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、221/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
14466	8783	60.7%

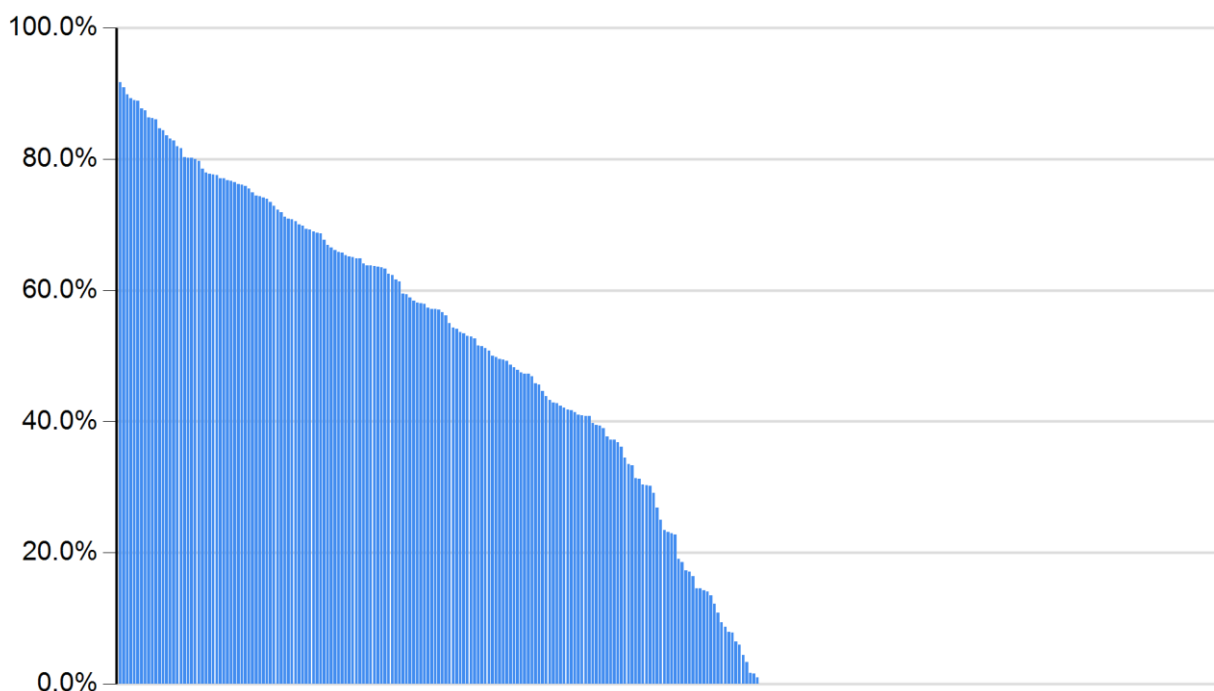
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2078
指標名	急性またば慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合

分子： 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

分母： 急性またば慢性心不全で入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、309/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
42751	18468	43.2%

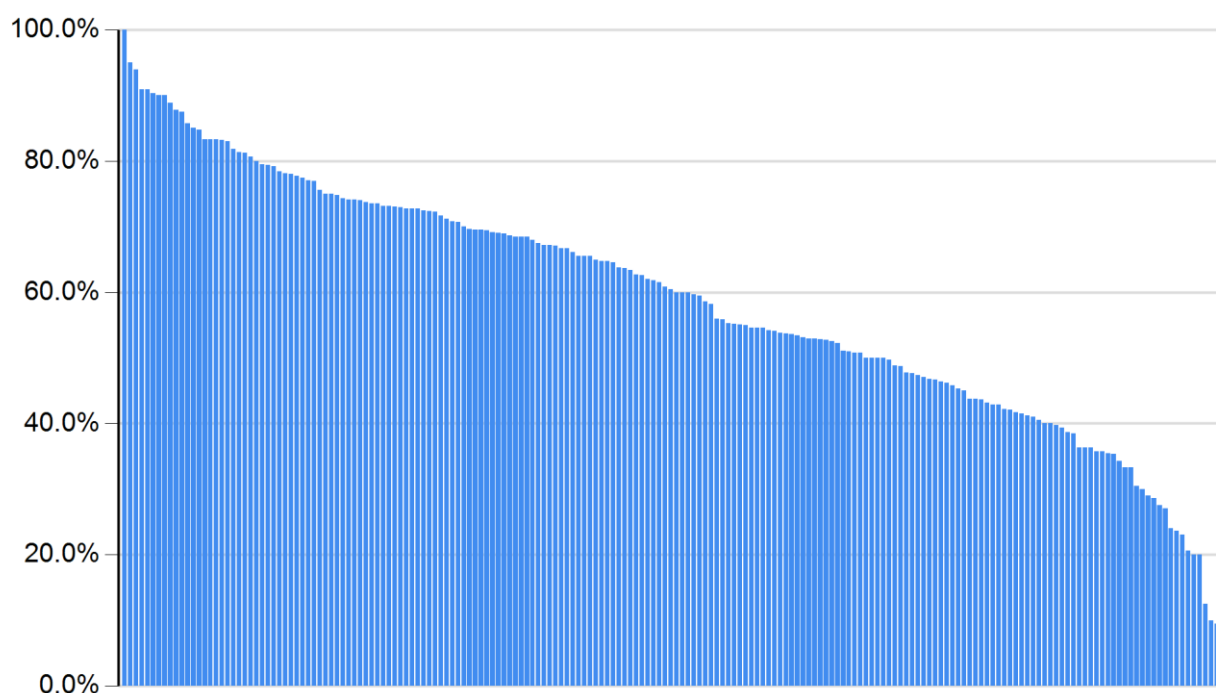
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2082
指標名	急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の初回PCI 実施割合

分子：分母のうち、来院後90分以内に手技を受けた件数

分母：18 歳以上のPCI 件数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、192/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
10745	6601	61.4%

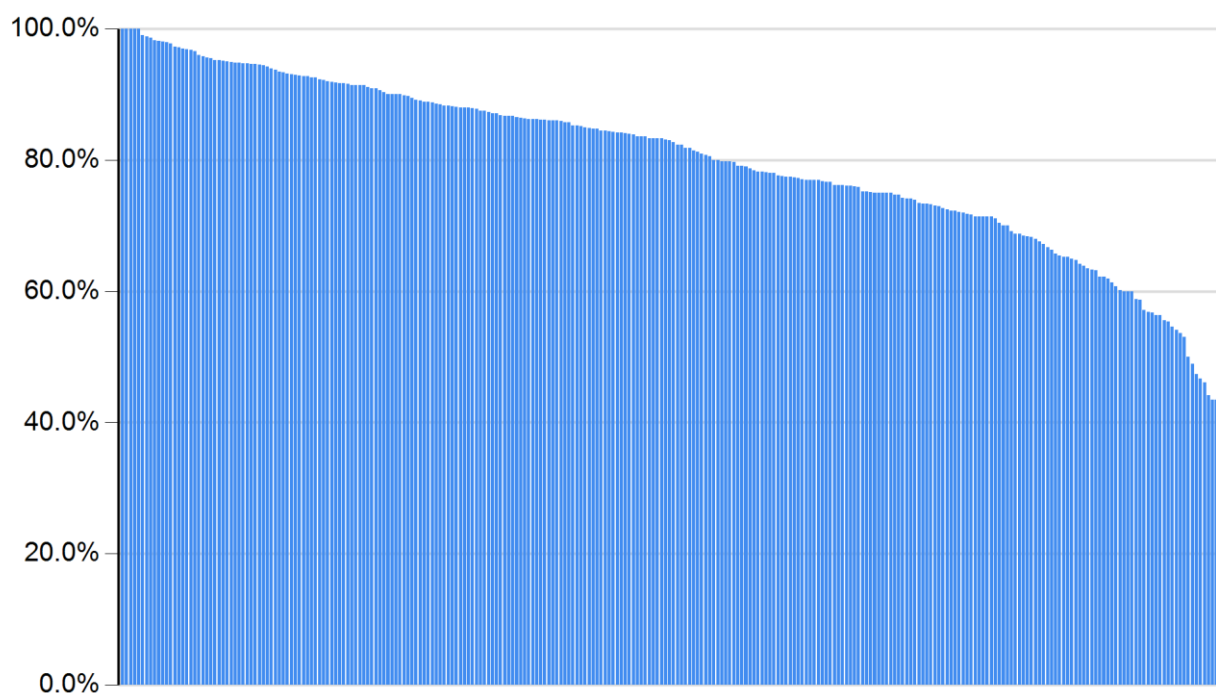
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0203
指標名	胆嚢炎・胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術率

分子：分母のうち、腹腔鏡下胆嚢摘出症例

分母：18歳以上の胆嚢炎・胆石症に対する胆嚢切除症例(周産期、産褥期、出産は除外)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、275/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
21892	17602	80.4%

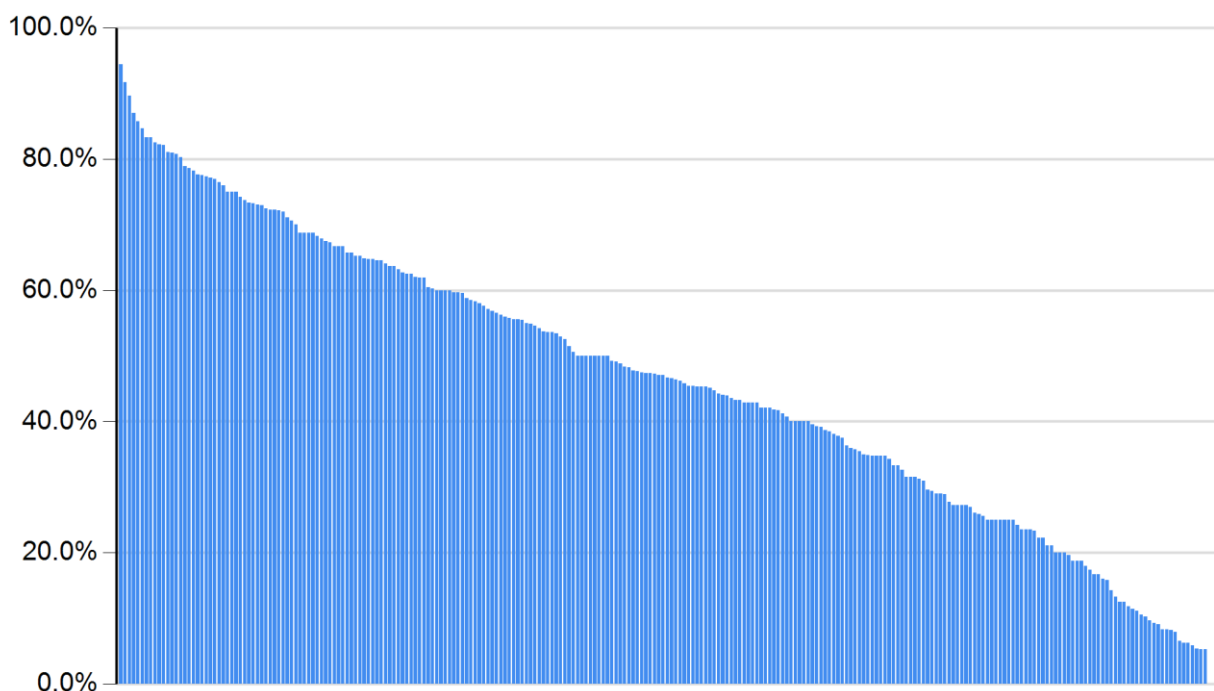
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2037
指標名	急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

分子： 分母のうち、入院日から2日以内に超音波検査が実施された症例

分母： 急性胆嚢炎で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、259/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9713	4583	47.2%

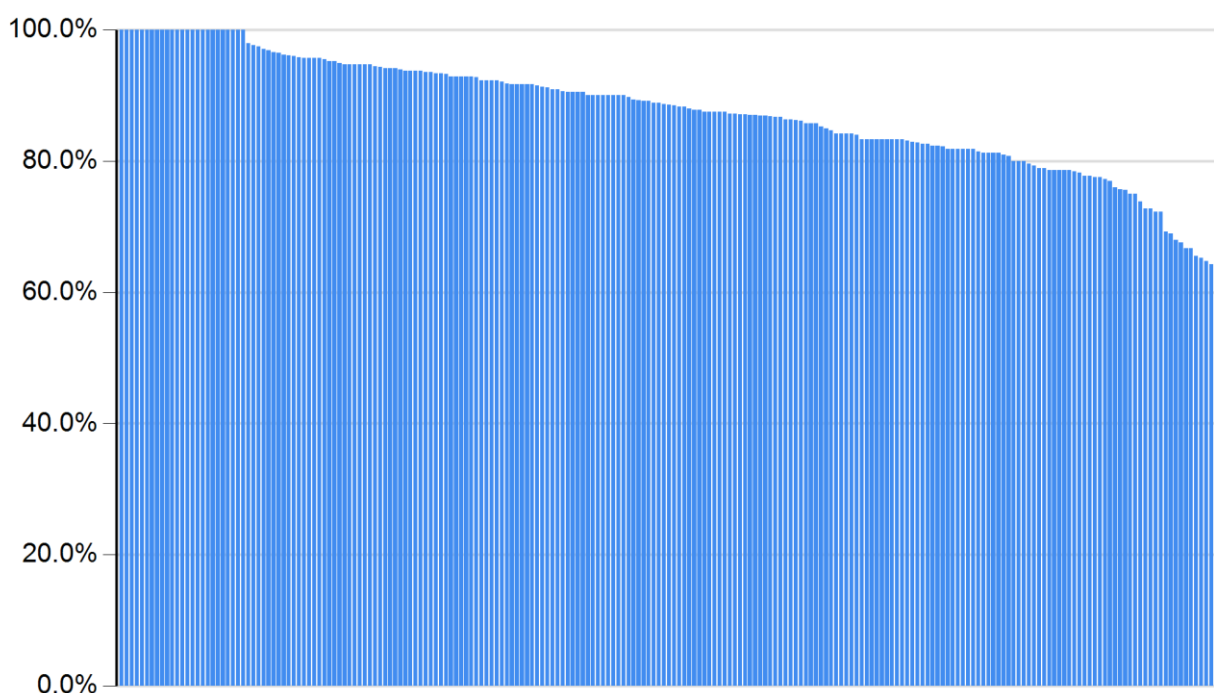
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2056
指標名	急性膵炎に対する 入院2日以内のCT実施割合

分子： 分母のうち、入院日から2日以内にCTが施行された症例

分母： 急性膵炎で退院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、218/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
6694	5831	87.1%

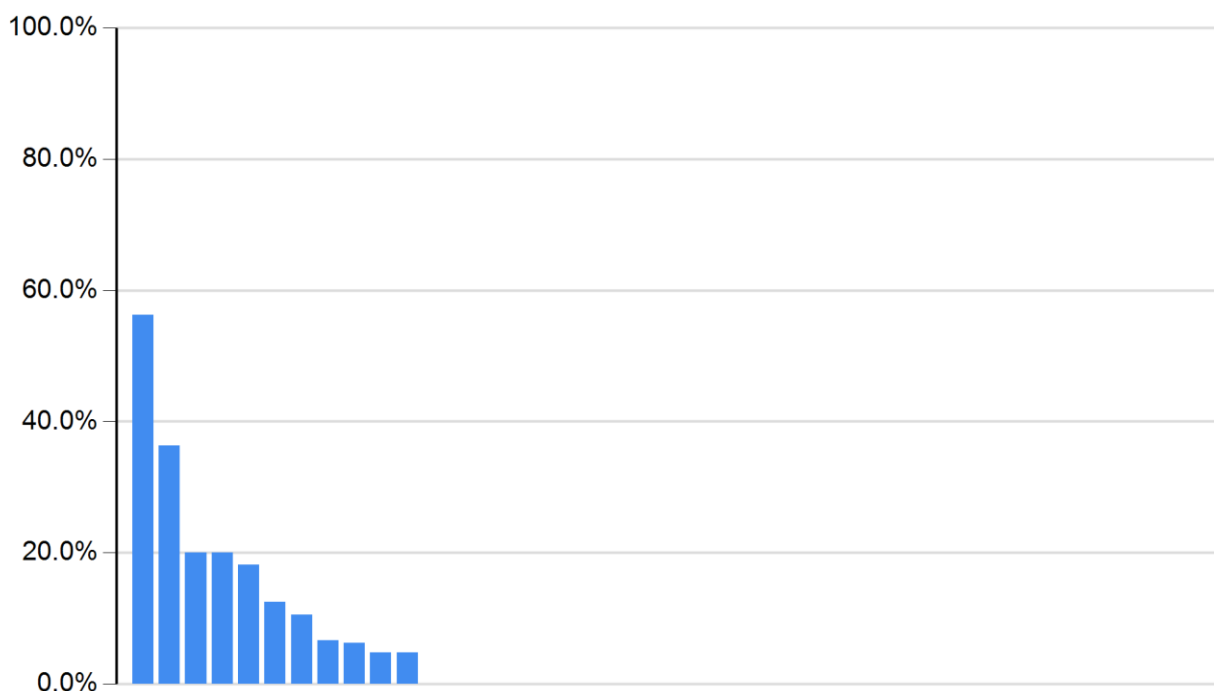
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2032
指標名	急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

分子：入院3日以内に経腸栄養を実施された症例

分母：急性膵炎で退院した症例(軽症者を除く)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、41/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1319	57	4.3%

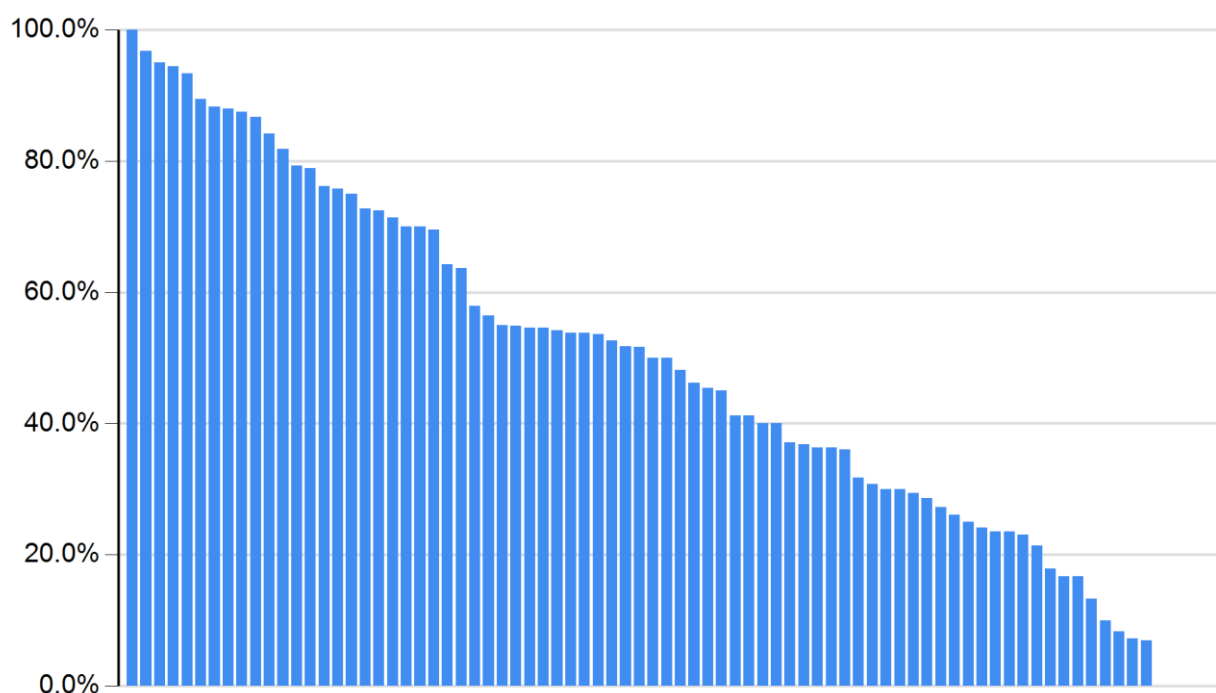
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	5002
指標名	小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

分子：分母のうち、入院当日に超音波検査を施行された症例

分母：虫垂炎で入院した小児(5歳から15歳) 症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、80/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2191	996	45.5%

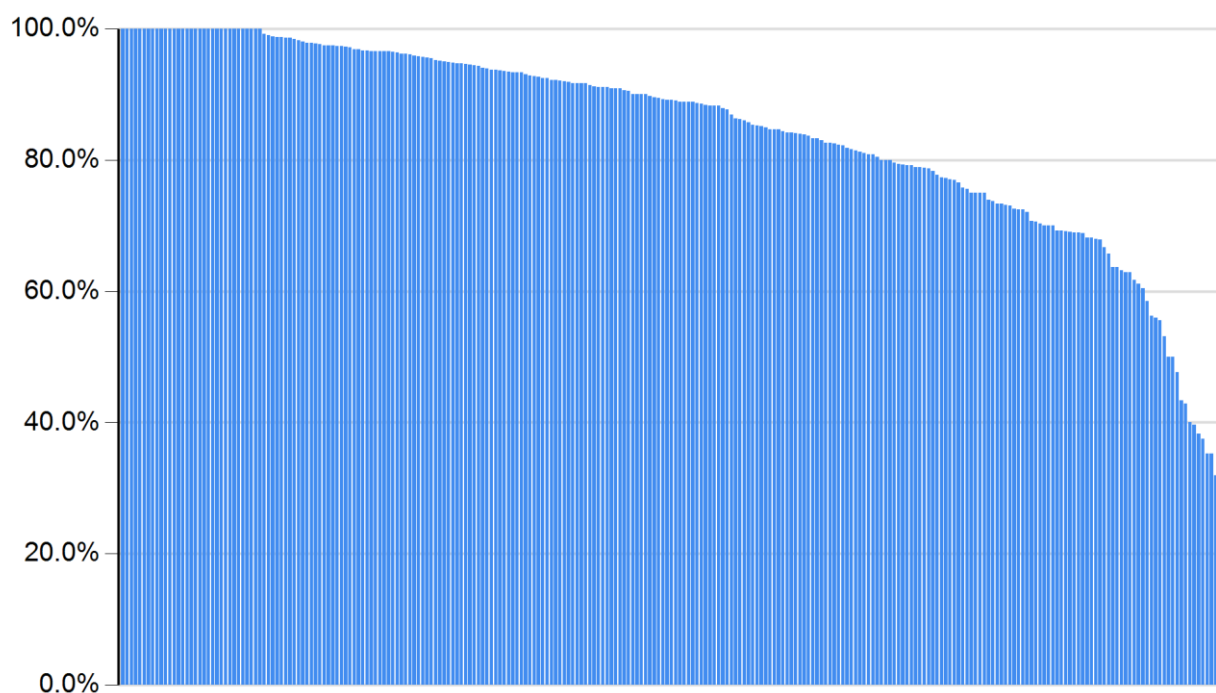
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2046
指標名	大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

分子： 分母のうち、3日以内にリハビリを実施した症例

分母： 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、258/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12236	10473	85.6%

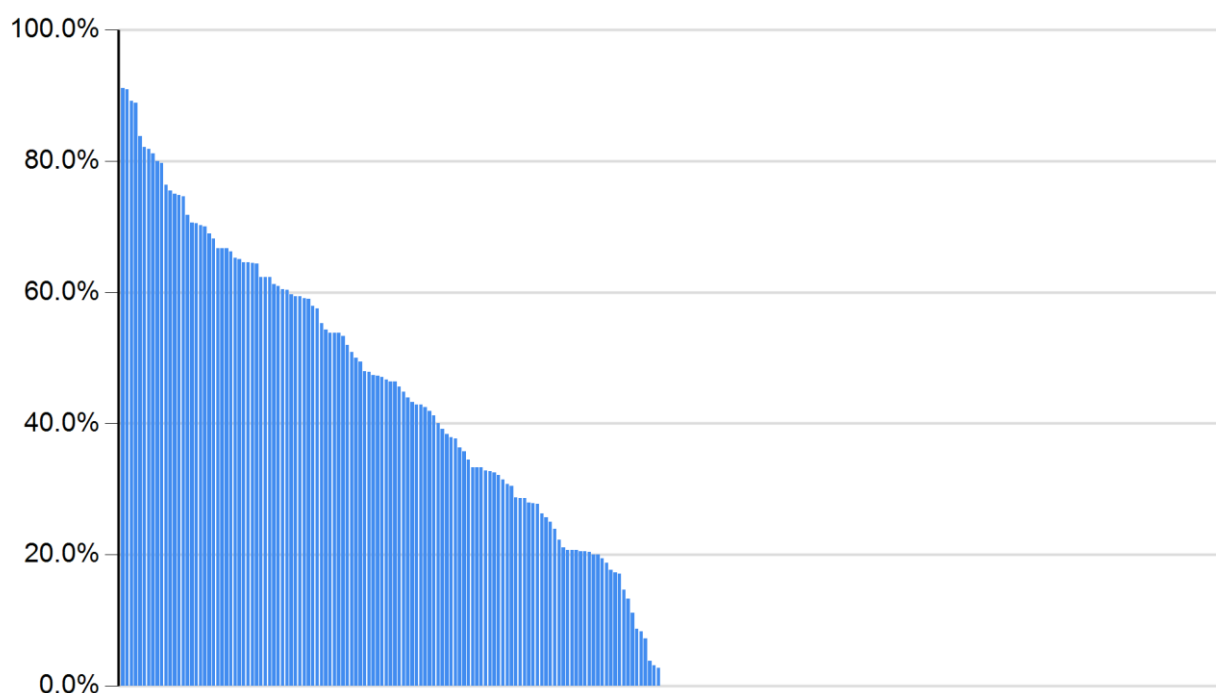
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2047
指標名	大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」を算定した症例

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、256/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
12130	3371	27.8%

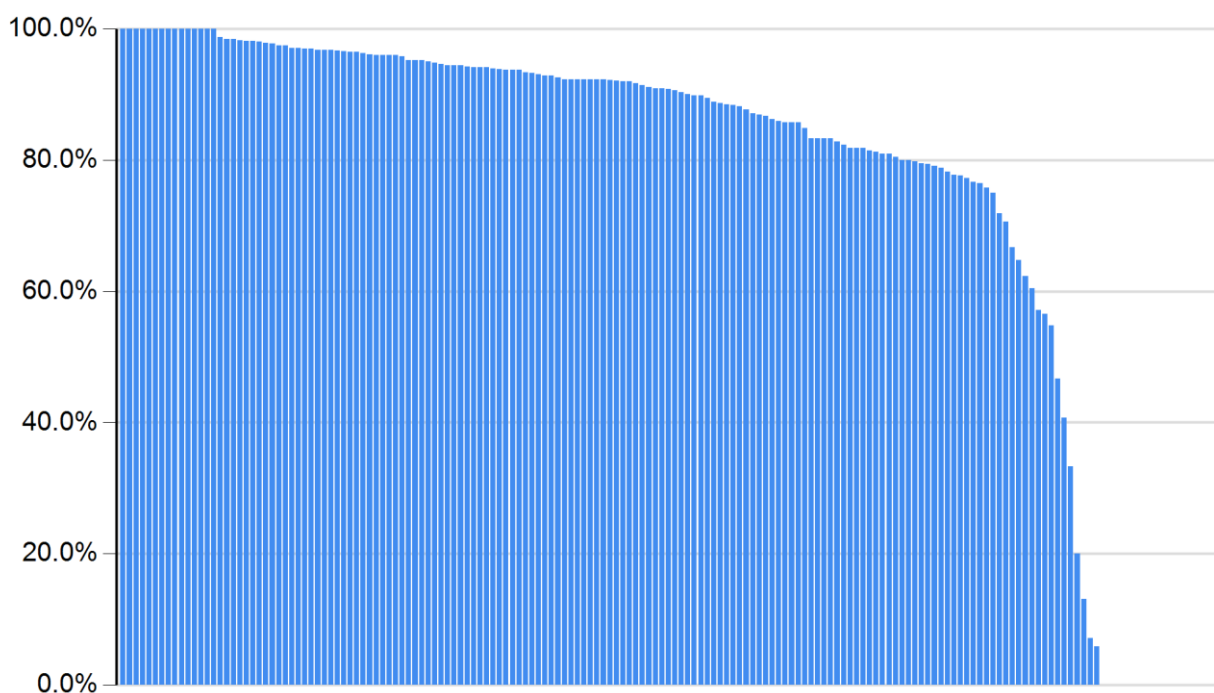
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2038
指標名	T1-2,N0M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

分子： 分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数

分母： T1-2,N0M0の乳がん(初発) で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、170/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7240	6024	83.2%

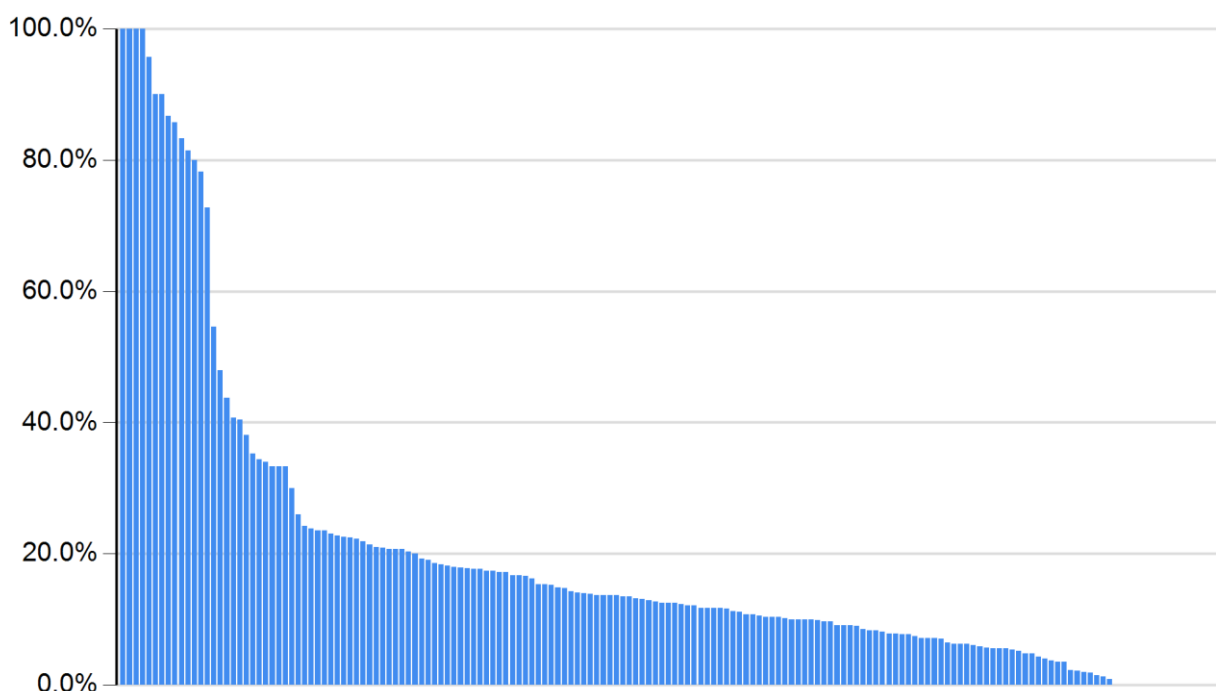
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2049
指標名	T1-2,N0M0乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率 "

分子： 分母のうち、腋下リンパ節郭清が実施された症例数

分母： T1-2,N0M0の乳がん(初発) で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、170/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
7245	1243	17.2%

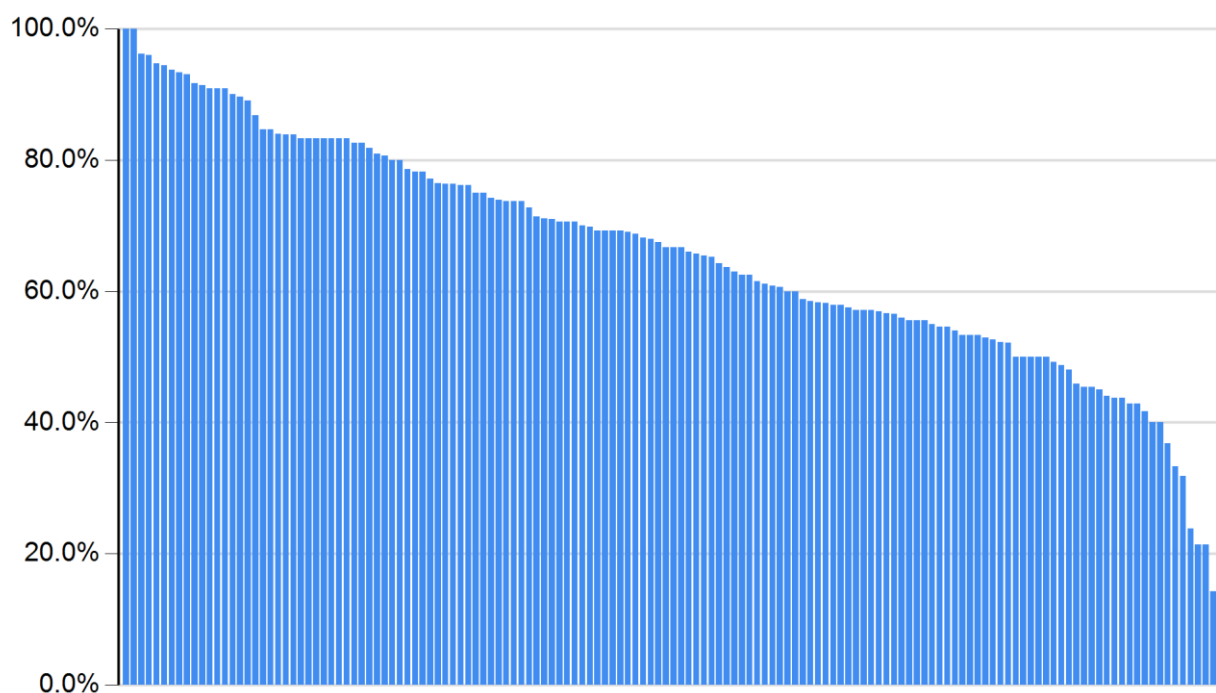
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2043
指標名	腫瘍径2cm以下のStageI浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合

分子： 分母のうち、乳房温存手術が実施された症例数

分母： 腫瘍径2cm以下のStage I乳がん(初発) で入院して手術を施行した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、145/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4866	3162	65.0%

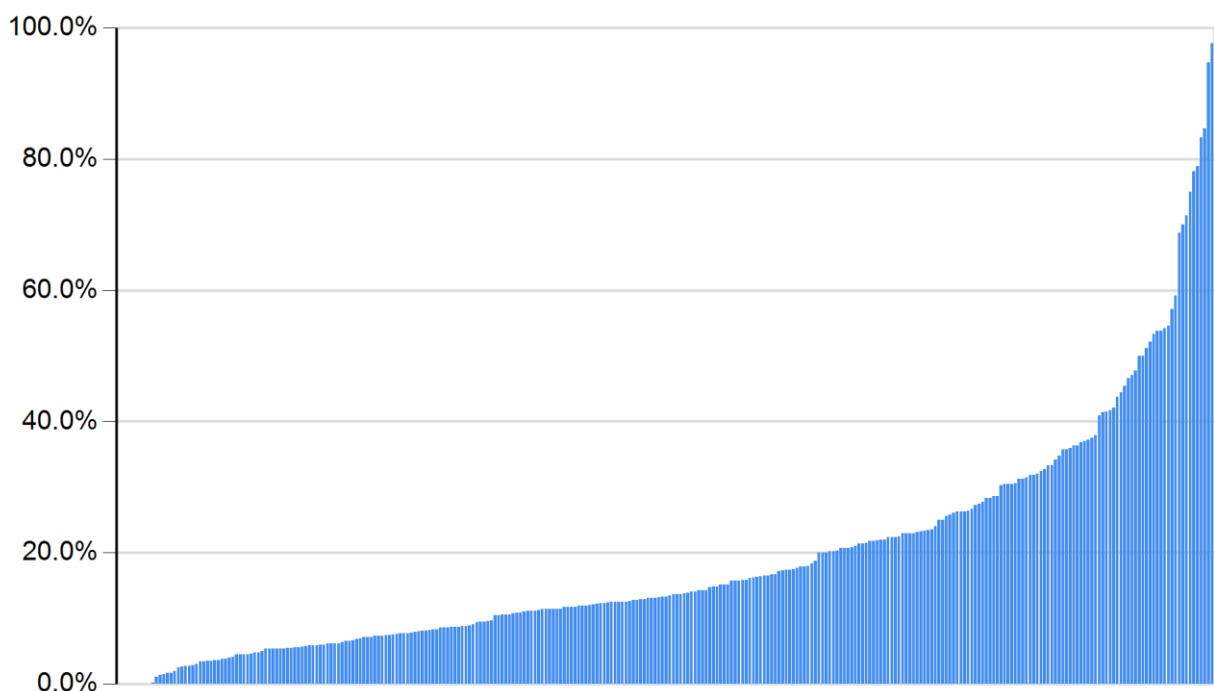
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2073
指標名	糖尿病患者における重症低血糖発作の割合

分子：重症低血糖発作を発症した入院症例

分母：18歳以上の糖尿病で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、304/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28345	3920	13.8%

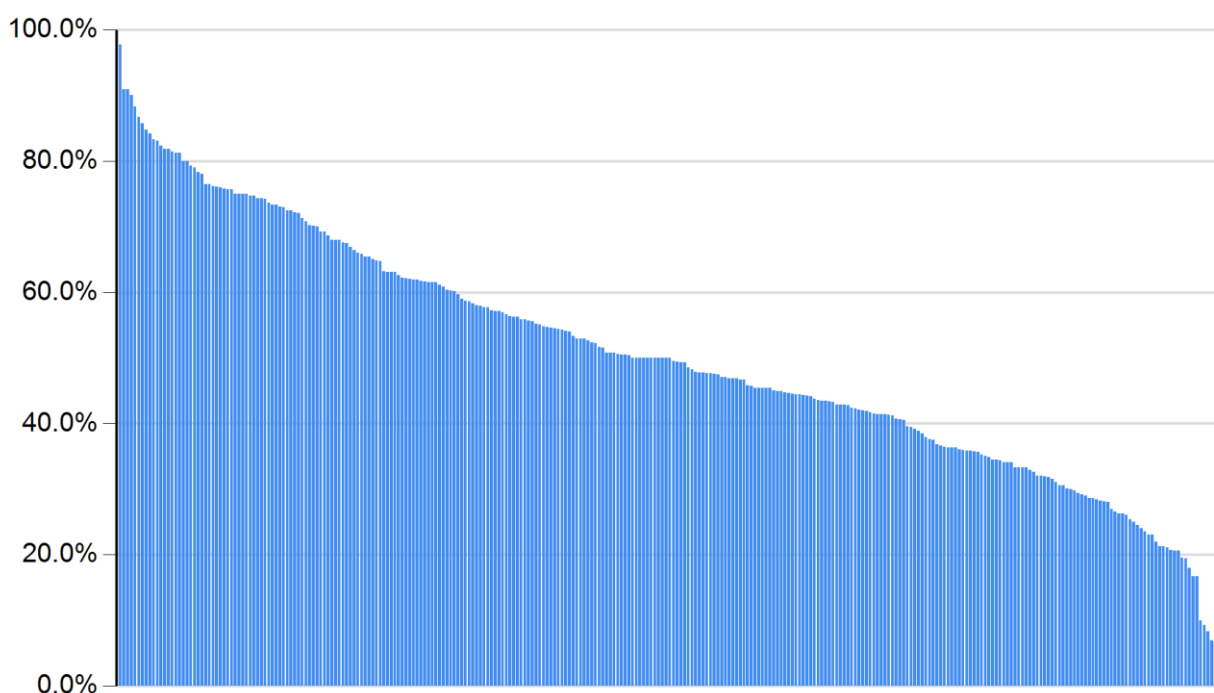
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2074
指標名	糖尿病教育入院における強化インスリン療法実施割合

分子： 分母のうち、強化インスリン療法を行った症例

分母： 糖尿病の教育入院のために入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、298/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
24923	12588	50.5%

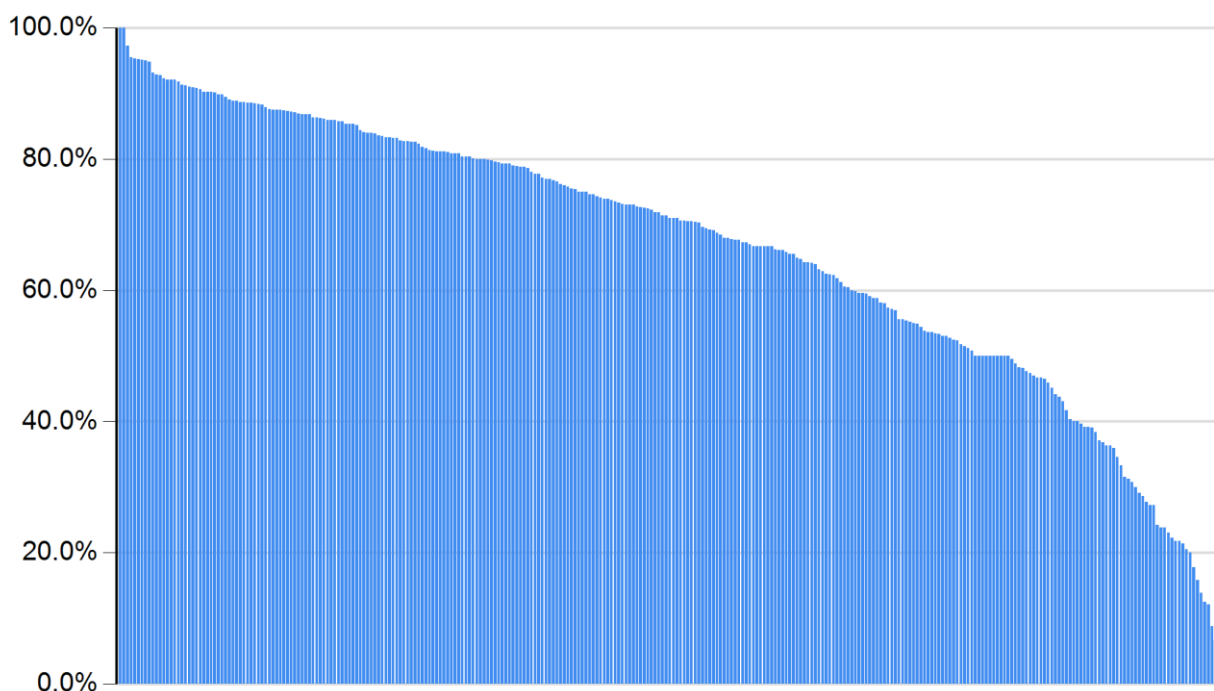
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2075
指標名	糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

分子： 分母のうち栄養指導を行った症例

分母： 糖尿病で入院した症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、304/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28345	20783	73.3%

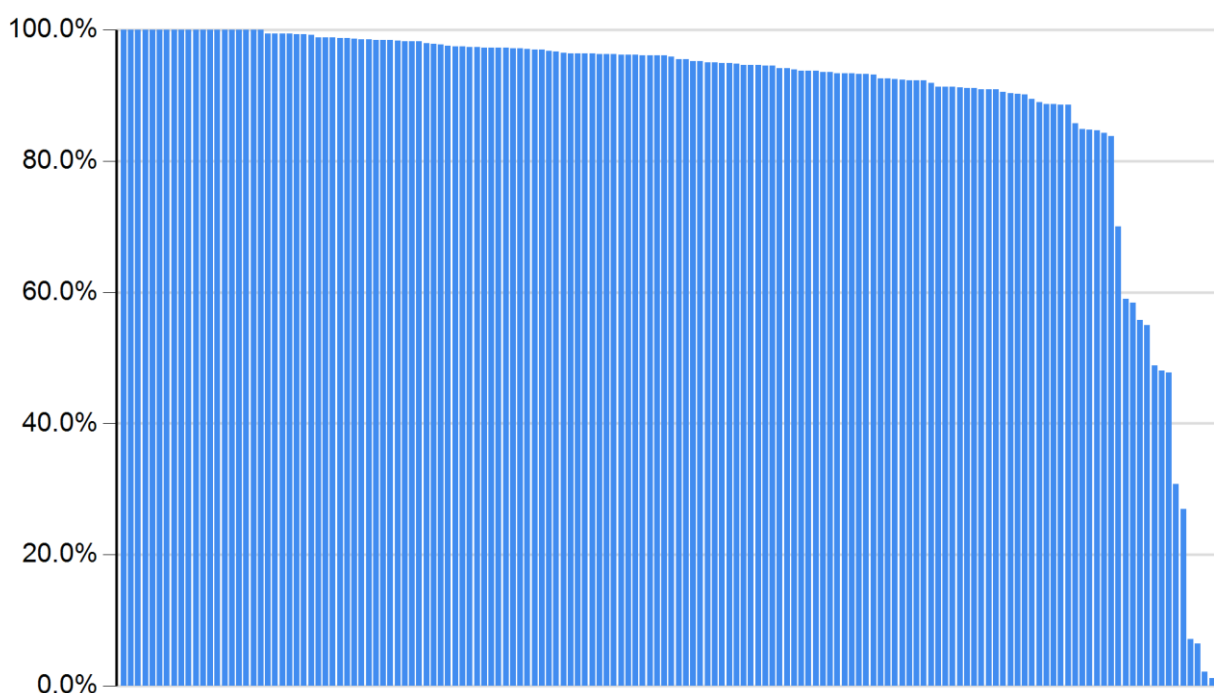
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0684
指標名	帝王切開術における全身麻酔以外の割合

分子：分母のうち、全身麻酔以外の症例

分母：帝王切開術を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、153/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19795	17987	90.9%

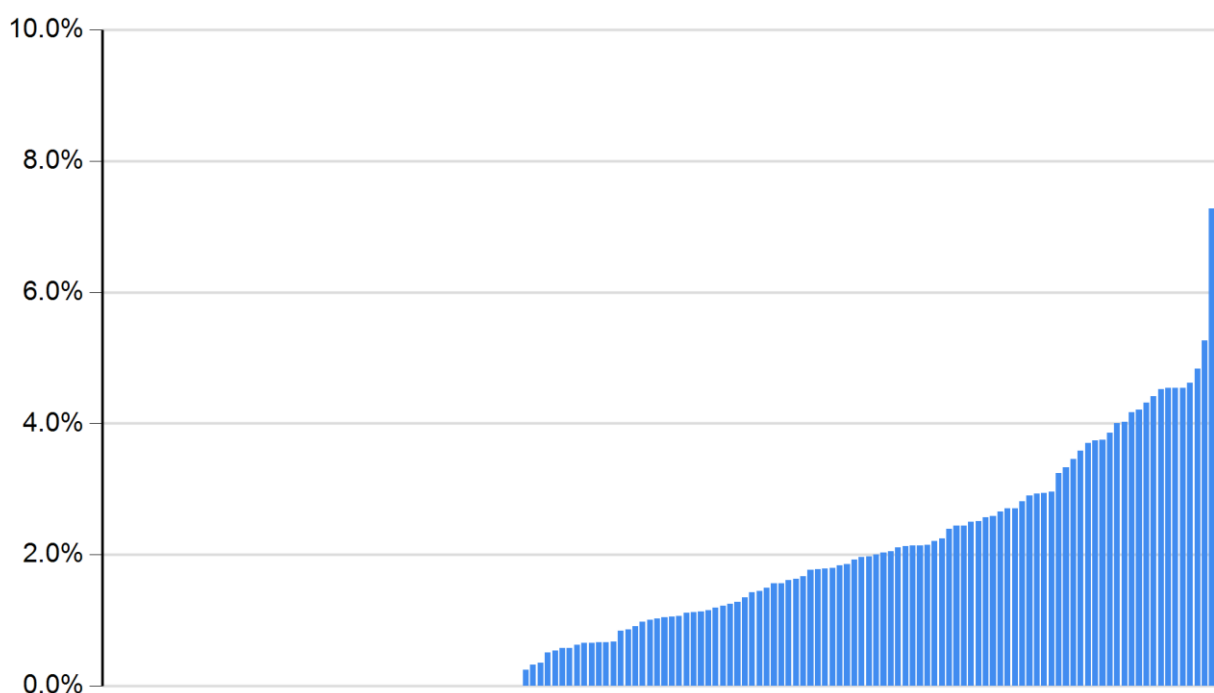
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0687
指標名	帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合

分子： 分母のうち、赤血球輸血を受けた症例

分母： 帝王切開術を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、153/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19795	335	1.7%

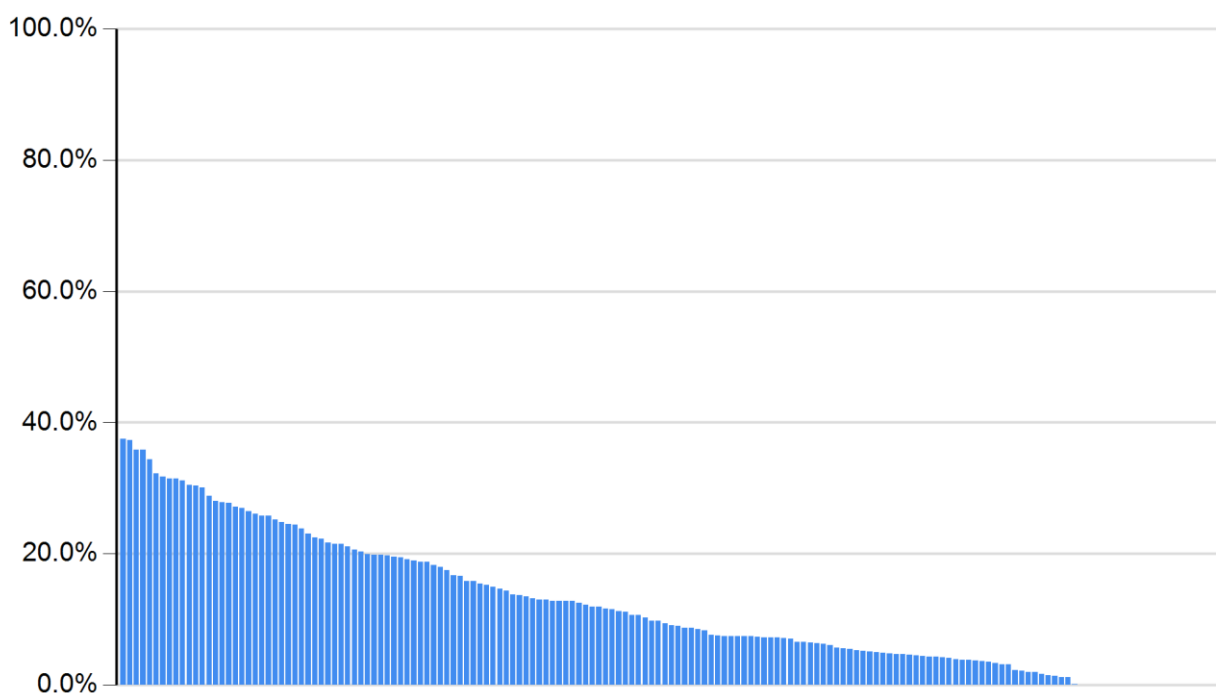
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2041
指標名	ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

分子： 分母のうち、ハイリスク妊娠・分娩管理加算を算定された症例

分母： 妊娠あるいは分娩に関連する疾病の治療・分娩のために入院した患者



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

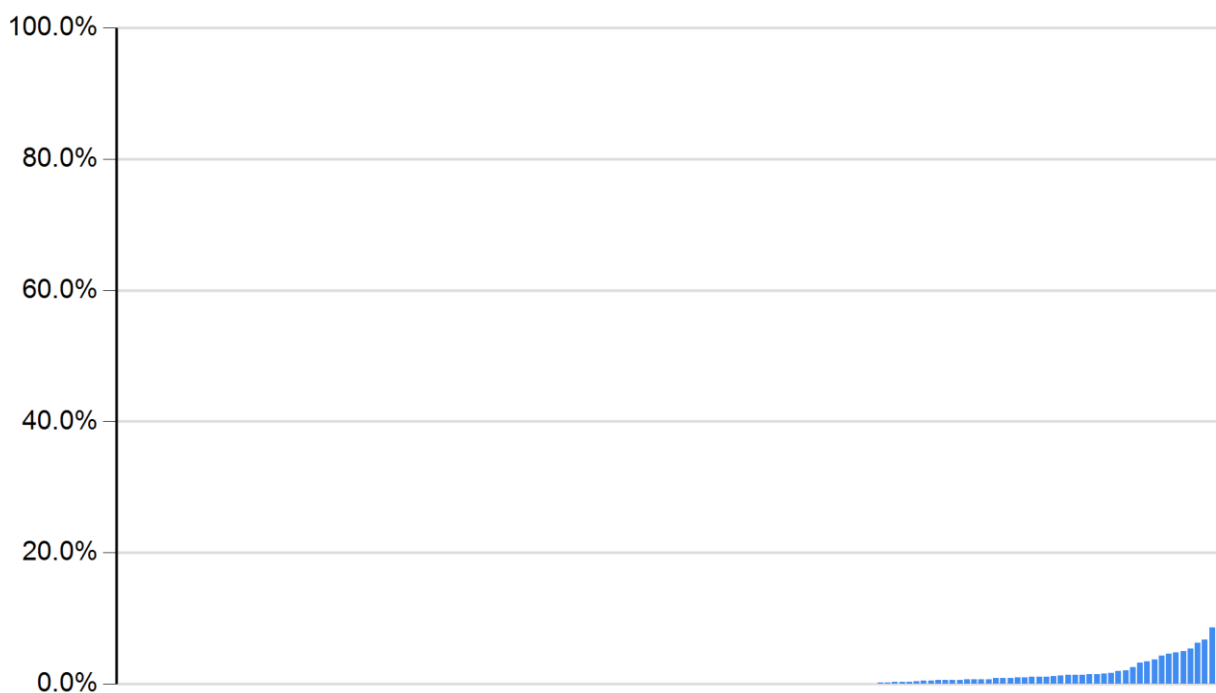
期間症例10例未満の病院を除外し、167/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
70677	10726	15.2%

指標番号	2087
指標名	帝王切開患者における深部静脈血栓症の発生率

分子：深部静脈血栓症の発症症例

分母：帝王切開による出産症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、153/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19605	152	0.8%

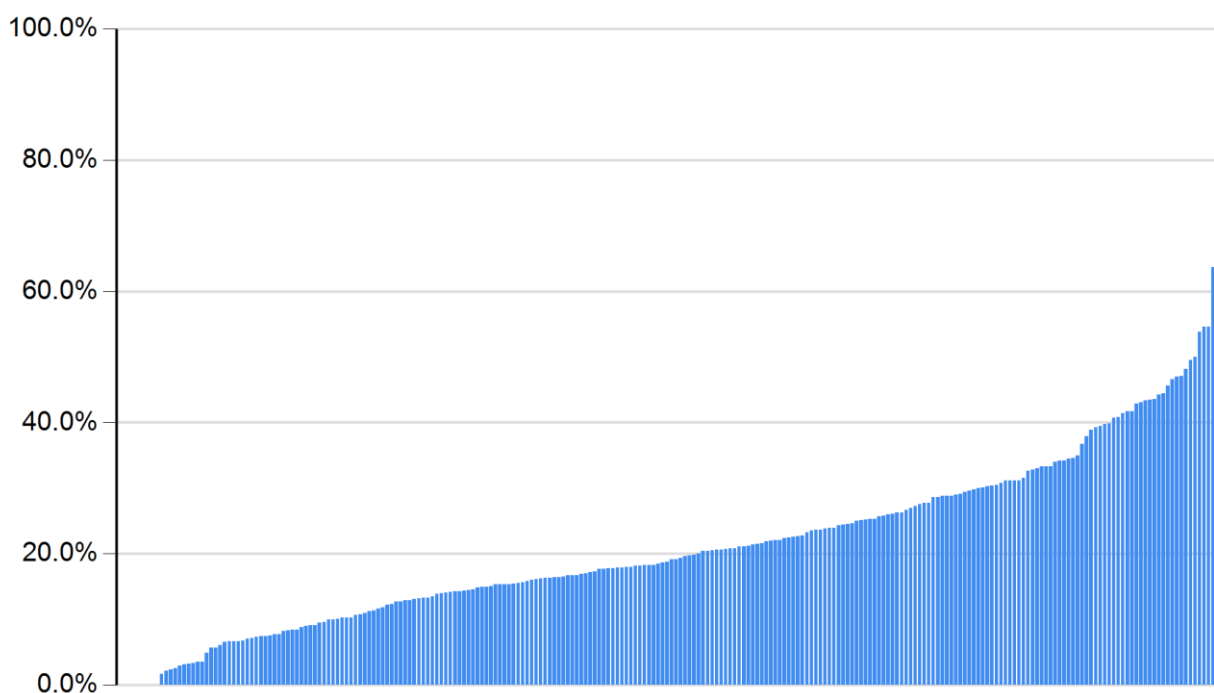
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2072
指標名	小児術後患者におけるアセトアミノフェンの過少量処方の割合

分子： 分母のうちアセトアミノフェンの一日用量が過少量である処方数

分母： 小児入院患者で手術ありの症例に対するアセトアミノフェンの処方数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、245/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
48642	9652	19.8%

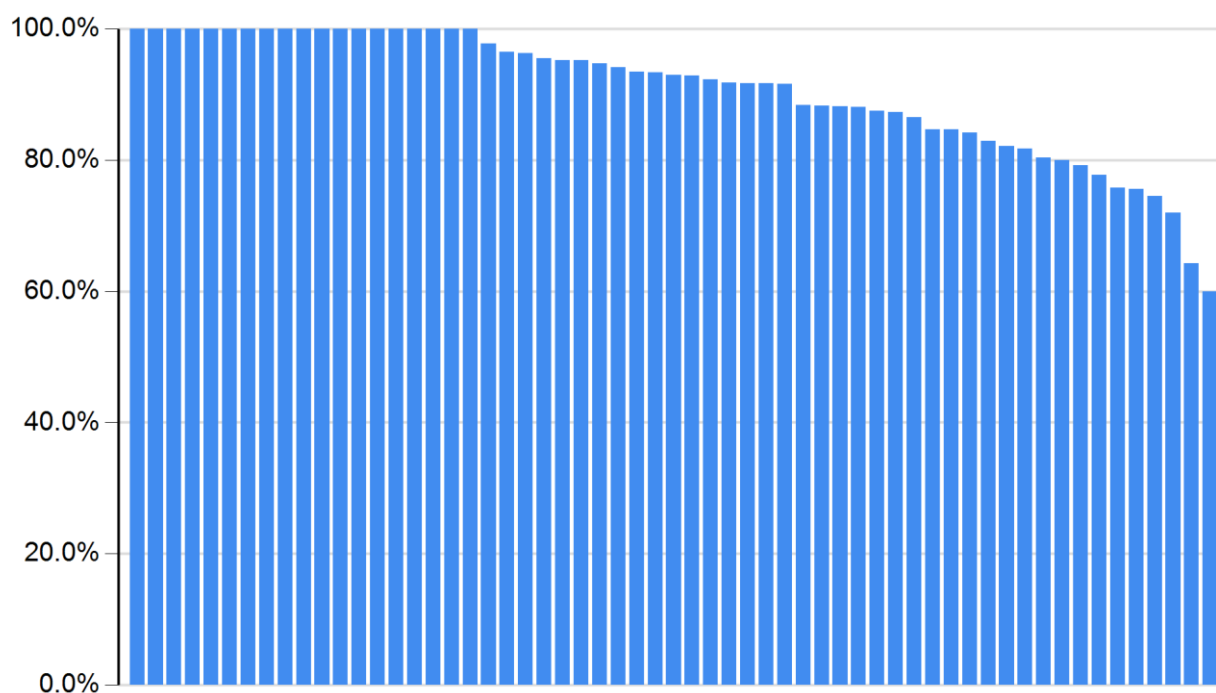
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0652
指標名	精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子：退院時処方向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方向精神薬が含まれる症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、59/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
4809	4238	88.1%

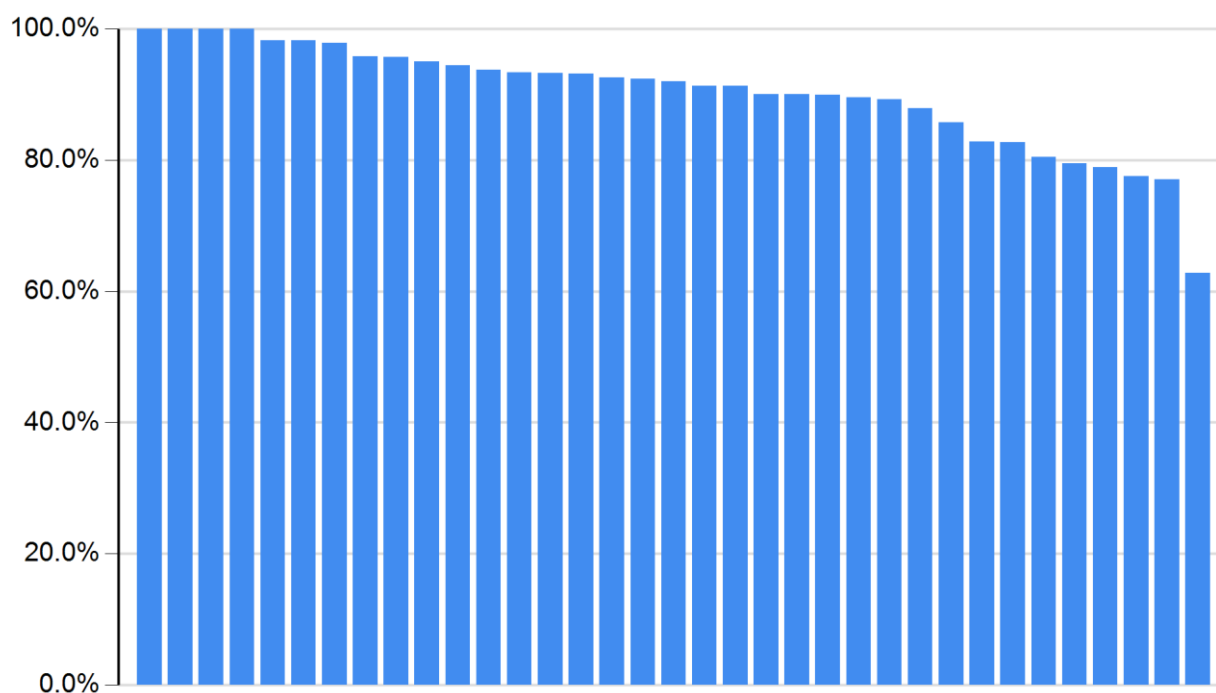
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0653
指標名	精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方単剤または2剤である割合

分子：退院時処方に抗精神病薬の退院処方単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、35/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2900	2575	88.8%

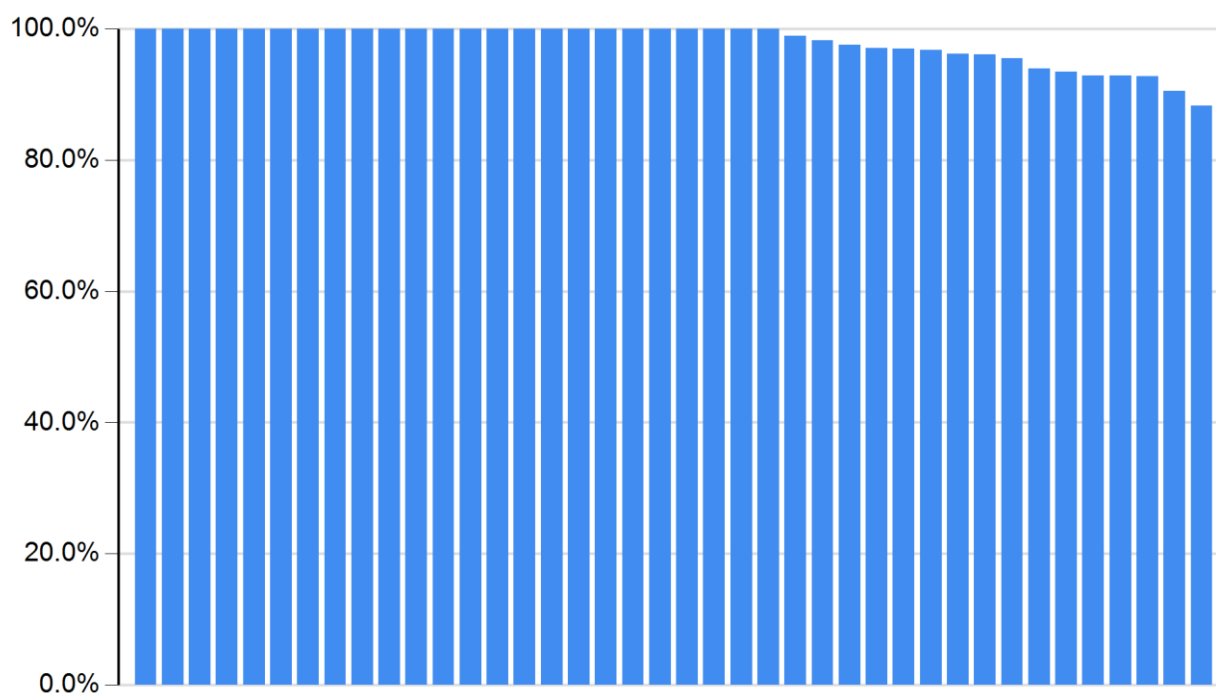
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0654
指標名	精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方単剤または2剤である割合

分子： 分母のうち、退院時処方に抗精神病薬の退院処方単剤または2剤である症例数

分母： 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、40/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2255	2198	97.5%

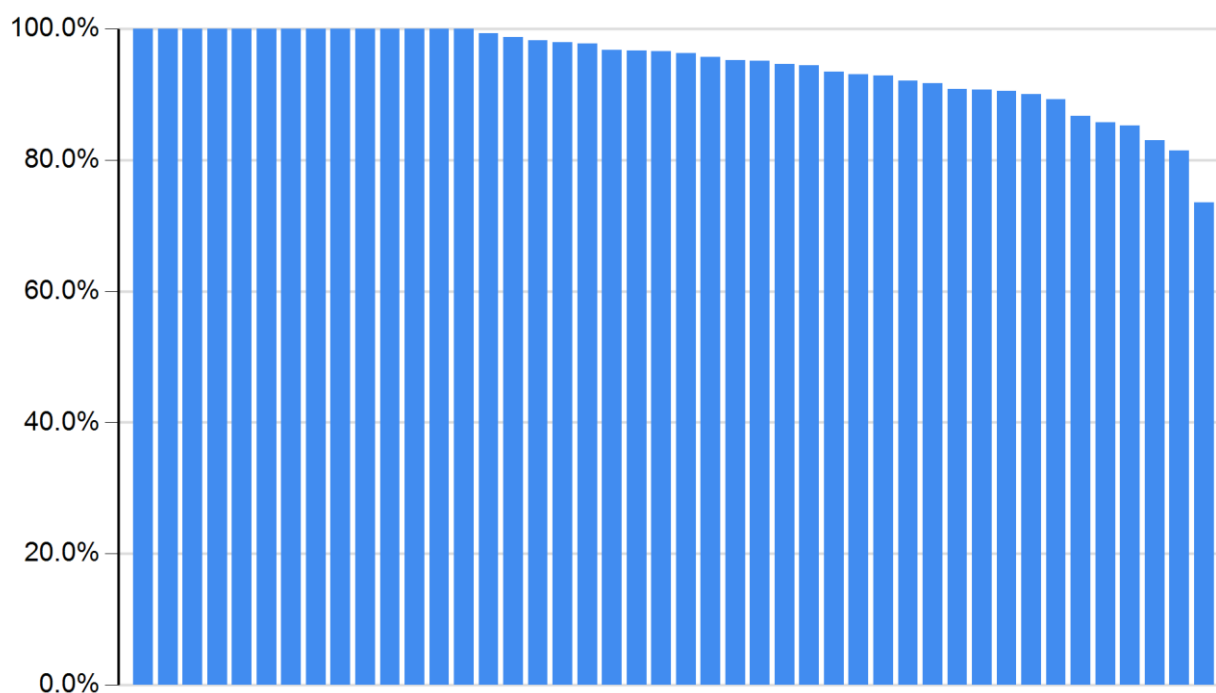
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0655
指標名	精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合

分子：退院時処方に睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

分母：主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に睡眠薬が含まれる症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、44/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
3008	2866	95.3%

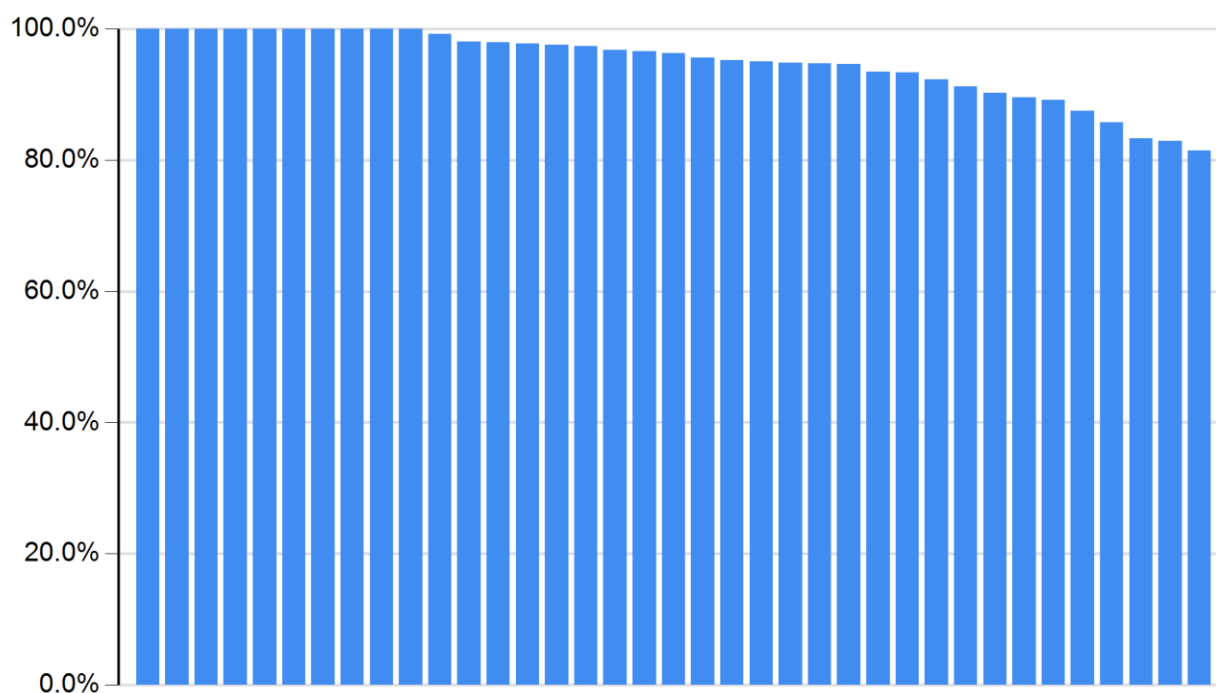
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0656
指標名	精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方単剤または2剤である割合

分子： 分母のうち、退院時処方に睡眠薬の退院処方単剤または2剤である症例数

分母： 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に睡眠薬が含まれる症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、37/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2280	2149	94.3%

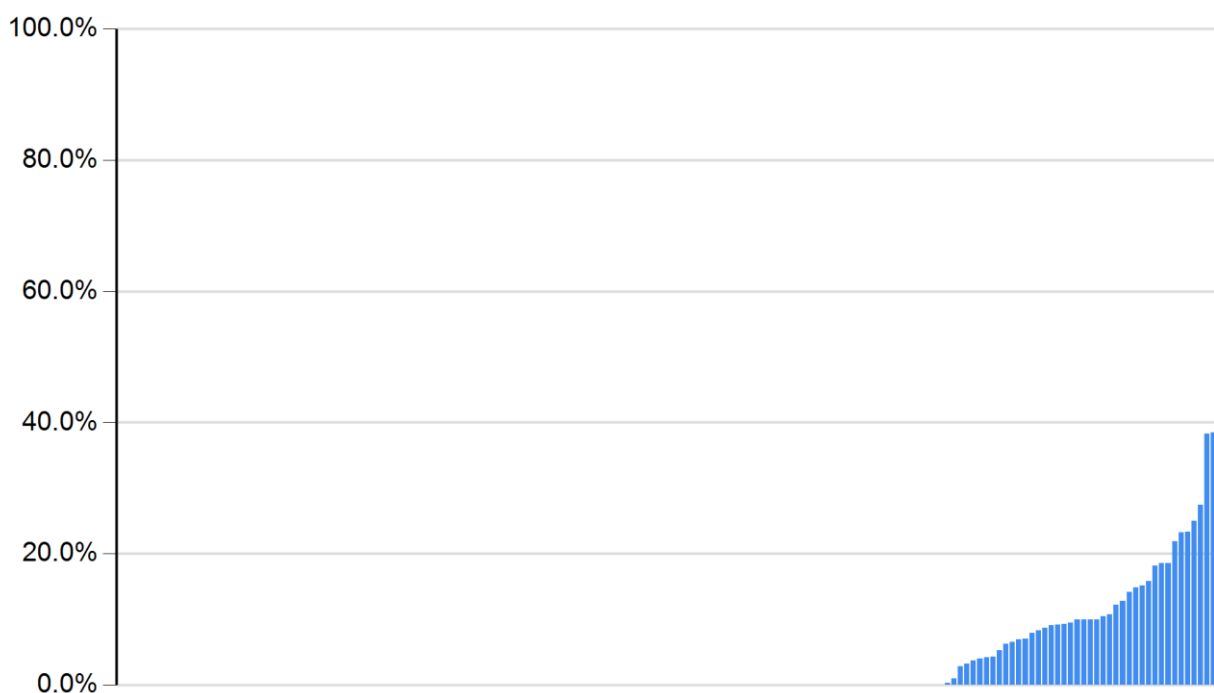
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2106
指標名	精神疾患で入院した症例における身体拘束割合(高齢者を除く)

分子：身体拘束を実施した患者数

分母：精神疾患で入院した延べ患者数(高齢者を除く)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、170/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
9357	707	7.6%

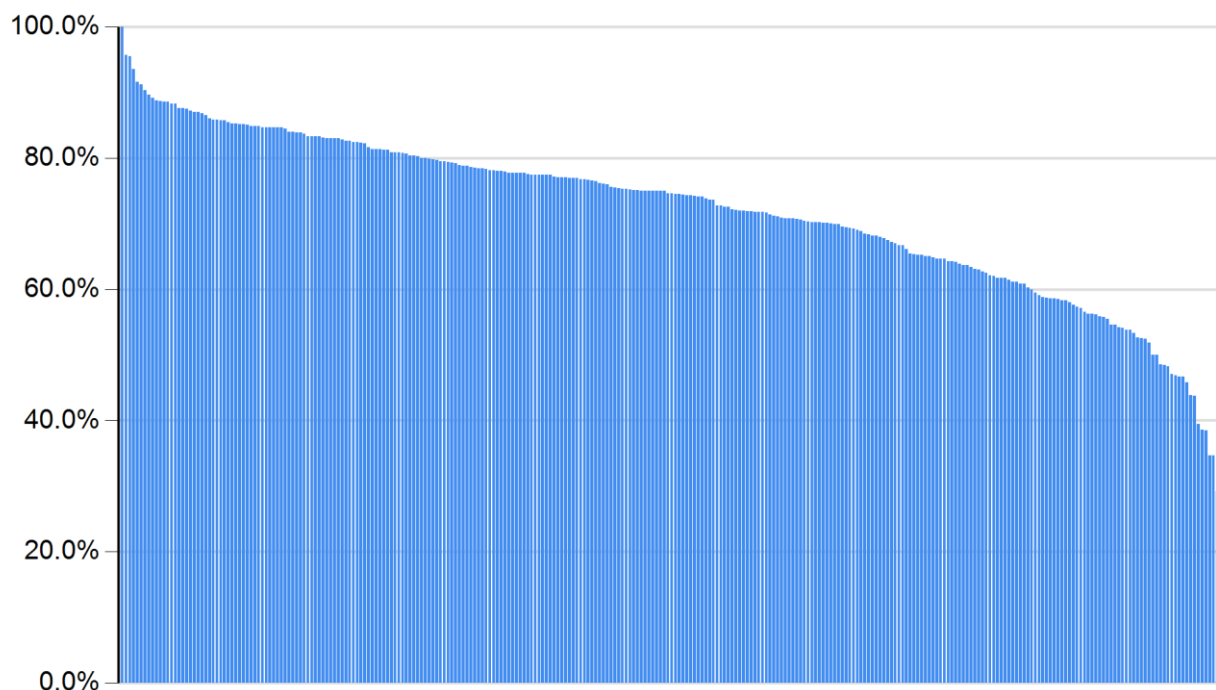
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0517
指標名	がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬を頓用として処方された症例の割合

分子： 分母のうち、短時間作用型麻薬(内服、座薬) を処方された症例

分母： 18歳以上の、がんと診断され、長時間作用型麻薬(内服、貼付) を処方された症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、292/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
32174	23933	74.4%

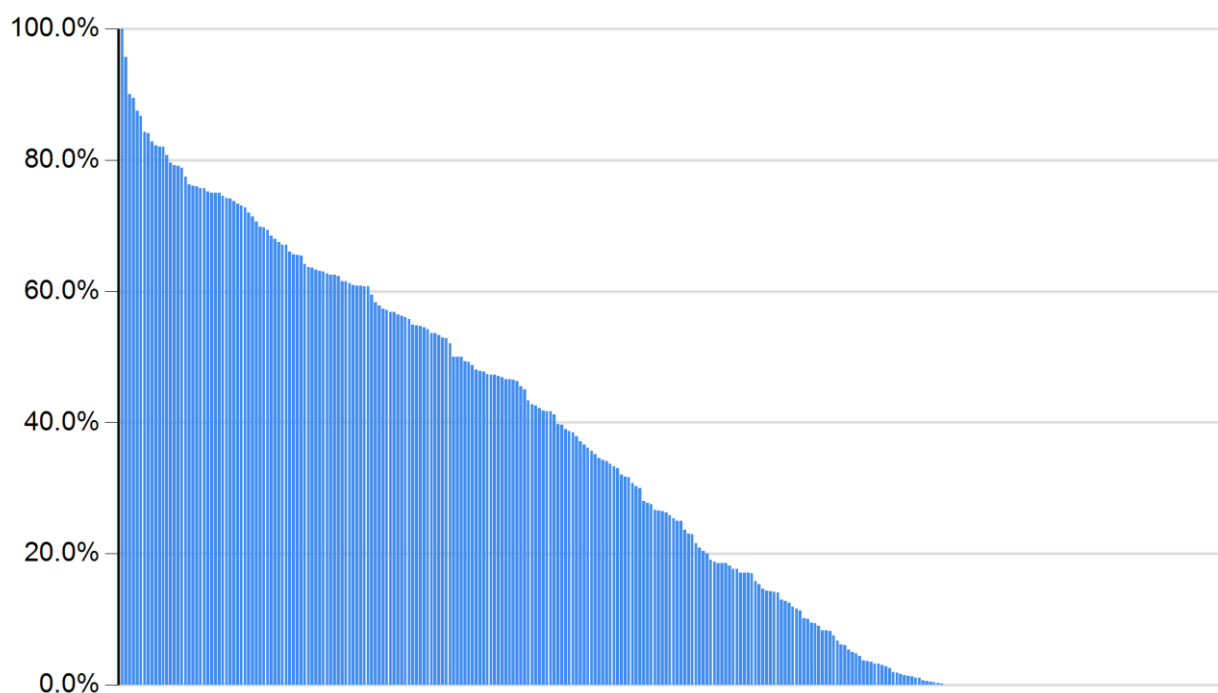
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2039
指標名	がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた症例の割合

分子： 分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例

分母： 18歳以上の、がんの診断を受け、麻薬を処方された症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、297/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
38115	11231	29.5%

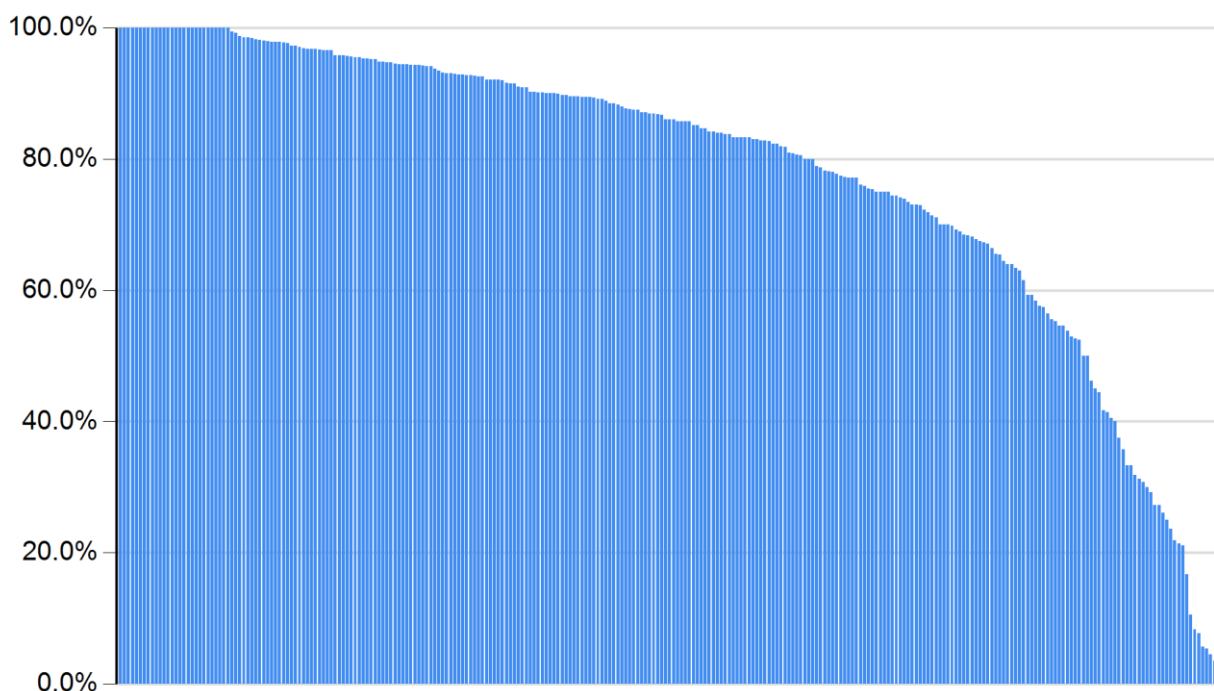
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2023
指標名	抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

分子：分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例分

母：TDMを行うべき抗MRSA薬を投与された症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、278/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
19138	15317	80.0%

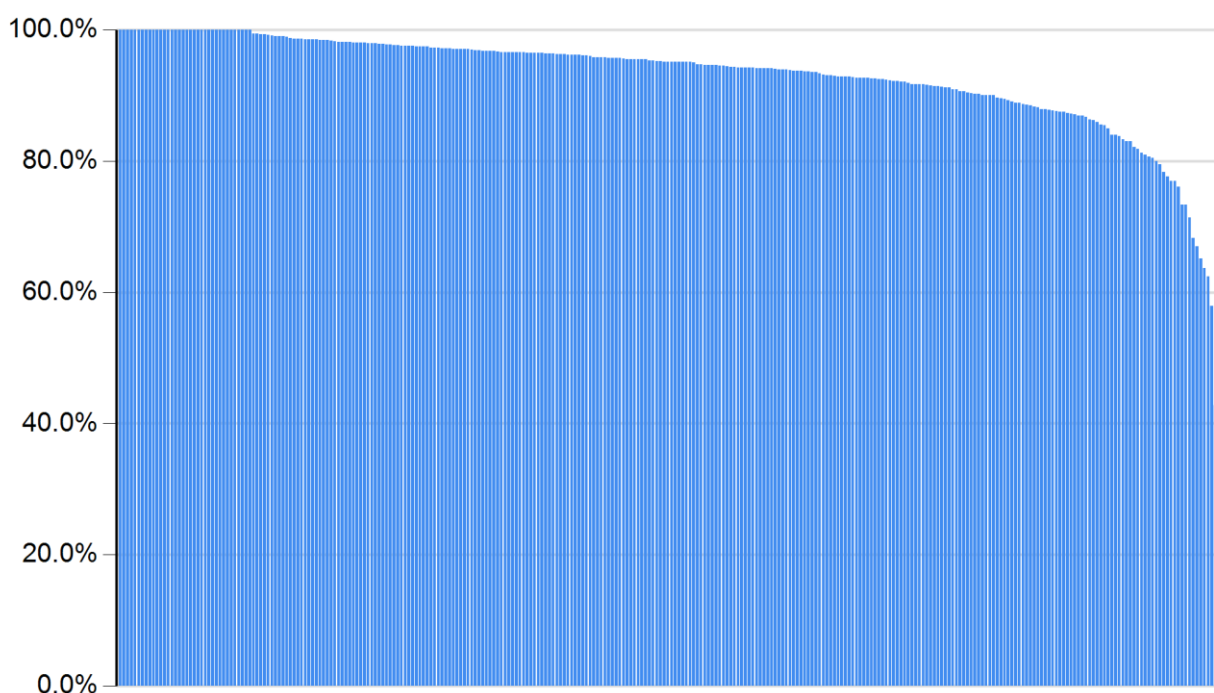
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2108
指標名	抗MRSA薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合

分子：分母のうち、細菌検査を測定された症例

分母：抗MRSA薬を投与された症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、299/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
34538	31905	92.4%

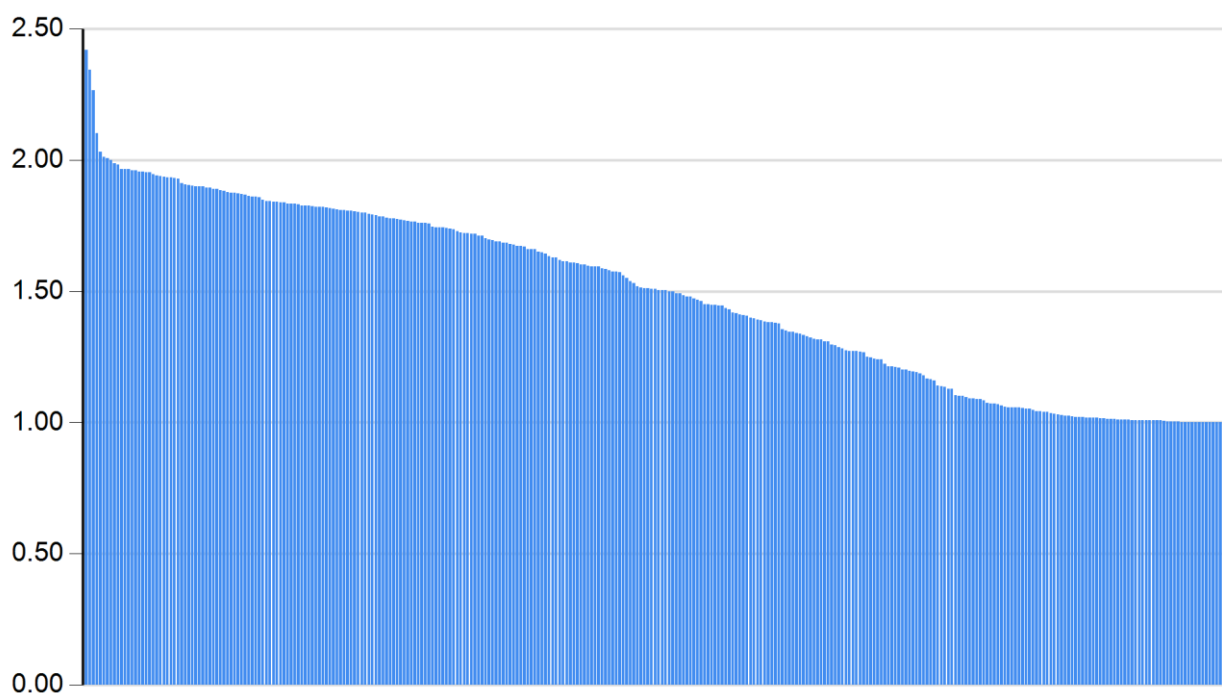
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2022
指標名	血液培養1患者1日当たりの平均実施セット数

分子：血液培養オーダー回数

分母：血液培養のオーダー日数(人日)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、325/329病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
386630	590798	1.53

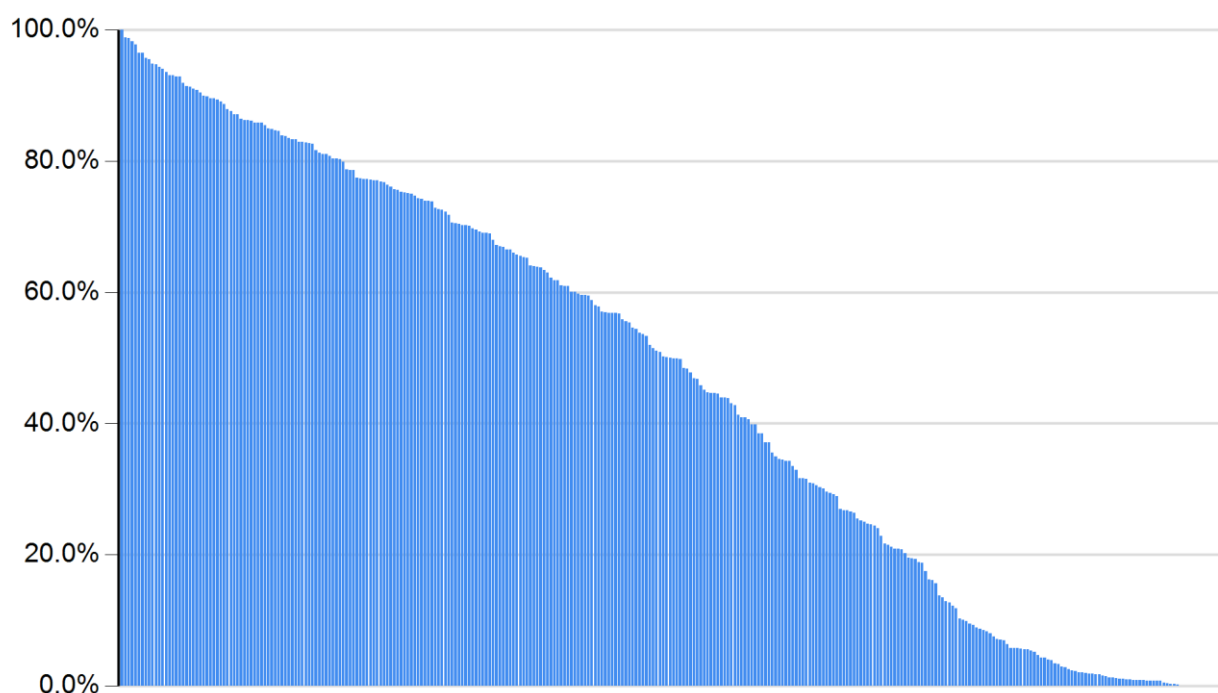
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2107
指標名	血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

分子：血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数(人日)

分母：血液培養のオーダー日数(人日)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、325/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
386637	194776	50.4%

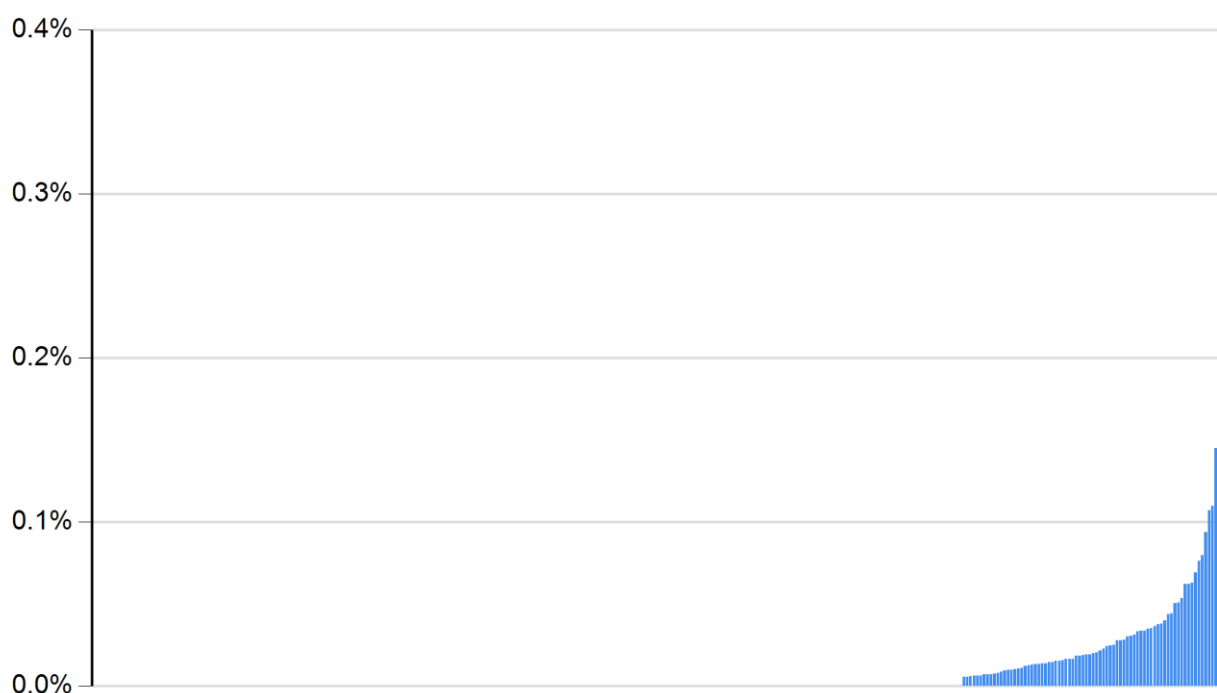
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2021
指標名	全退院症例中、カテーテル留置による尿路感染症の発症率

分子：入院後、カテーテル留置による尿路感染症の発生した症例

分母：全退院症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2086602	163	0.0%

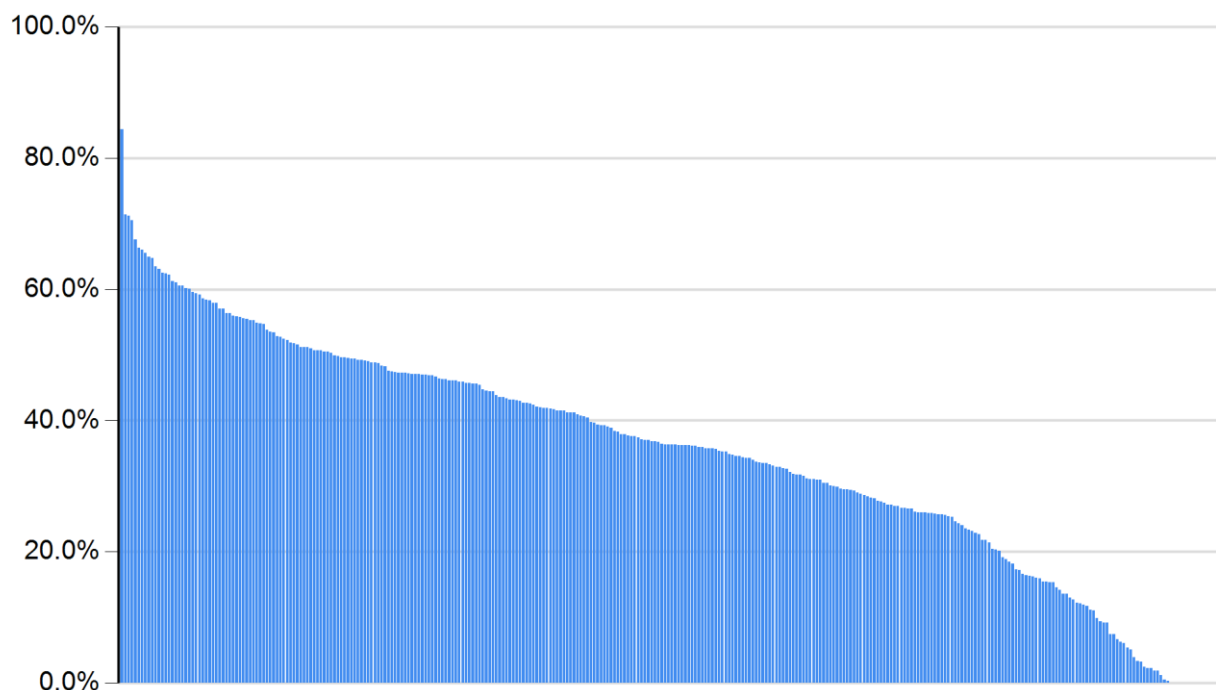
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_1
指標名	肺炎に対し、尿中肺炎球菌抗原検査が実施された割合

分子：尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

分母：18歳以上の肺炎の診断を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、328/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
96391	36862	38.2%

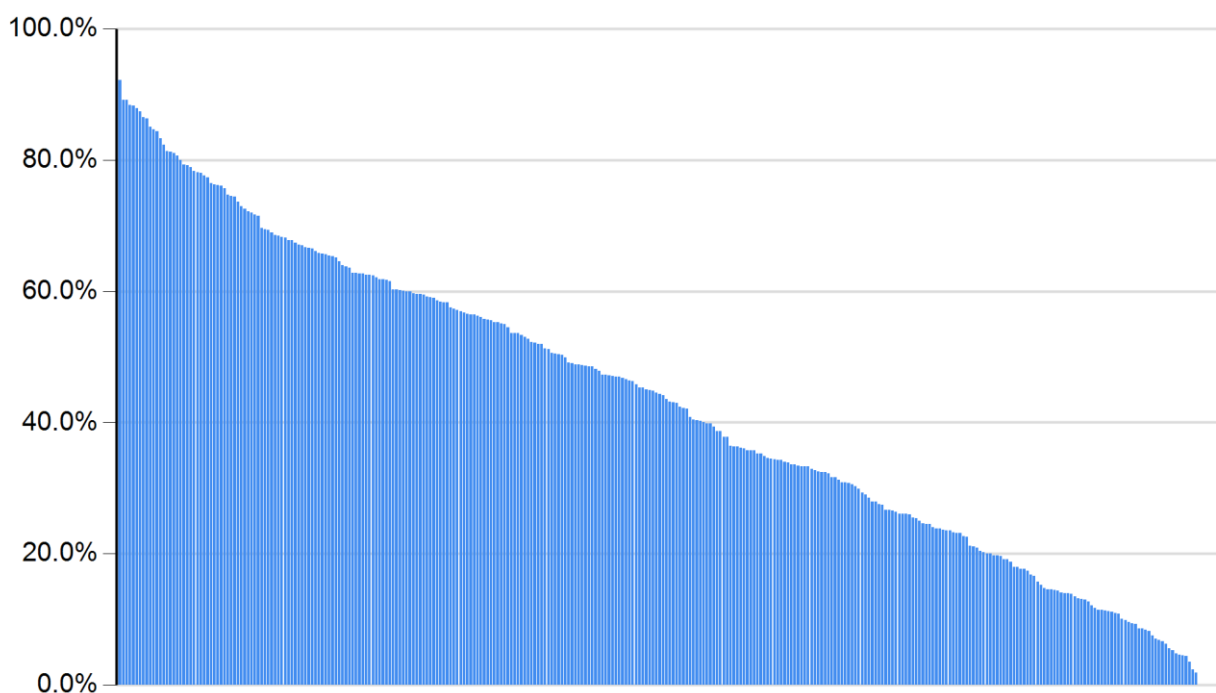
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_2
指標名	肺炎に対し、血液培養検査が実施された割合

分子：血液培養検査を受けた症例

分母：18歳以上の肺炎の診断を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、328/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
96391	47844	49.6%

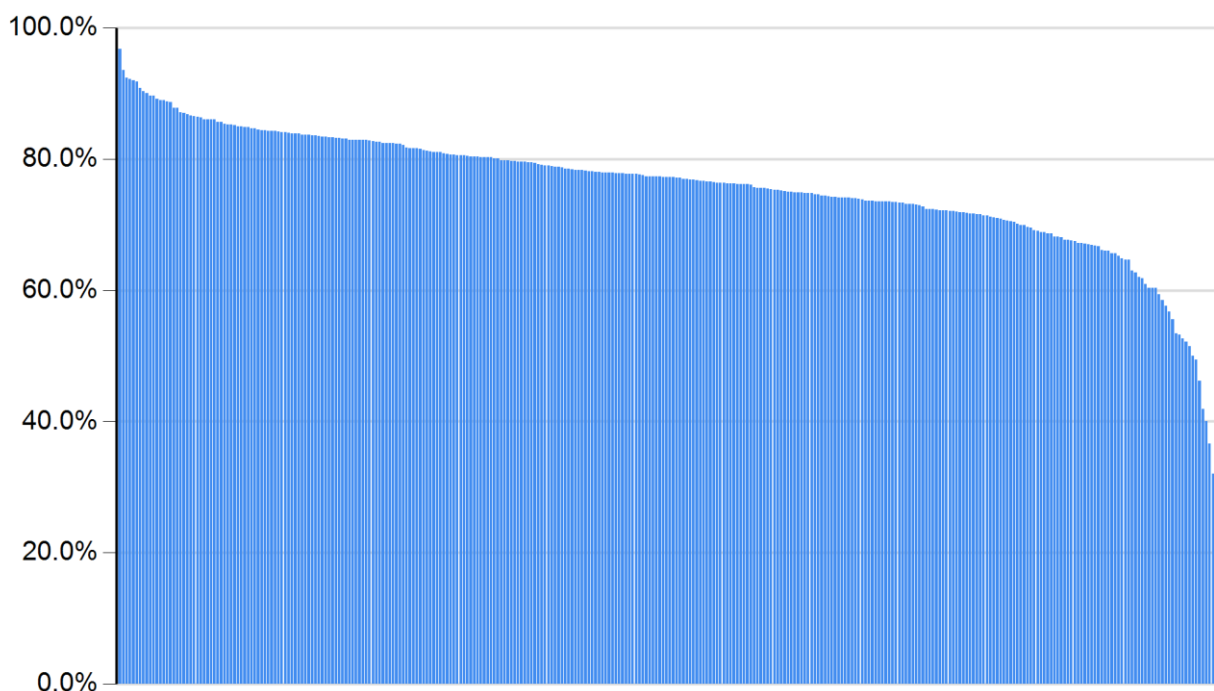
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2031_3
指標名	肺炎に対し、入院当日からの抗生物質投与が実施された割合

分子：入院当日から抗生物質を投与された症例

分母：18歳以上の肺炎の診断を受けた症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、328/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
96391	73336	76.1%

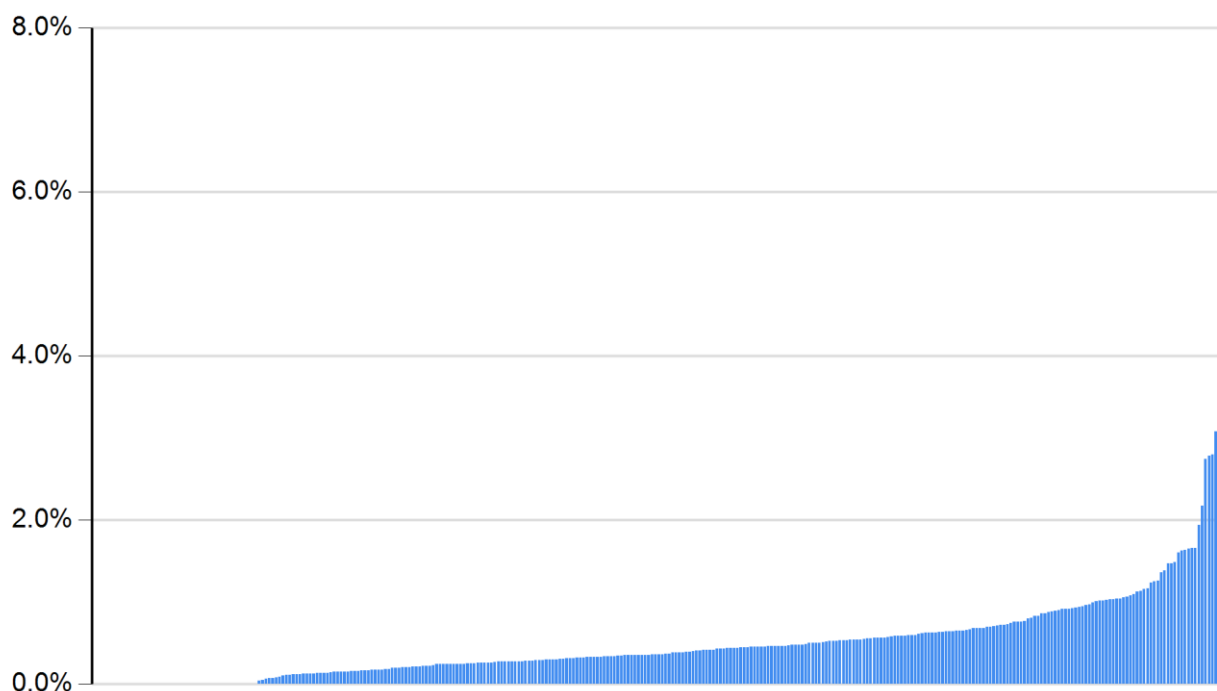
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	0274
指標名	術後敗血症発症率(緊急手術を除く)

分子：分母のうち、術後敗血症症のある症例(入院後発症した傷病名に敗血症の見られる症例) 分

母：18歳以上の手術(緊急手術を除く)を行い退院した症例(周産期、産褥期、出産は除外)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、332/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
500903	2367	0.5%

2017/02/07 出力

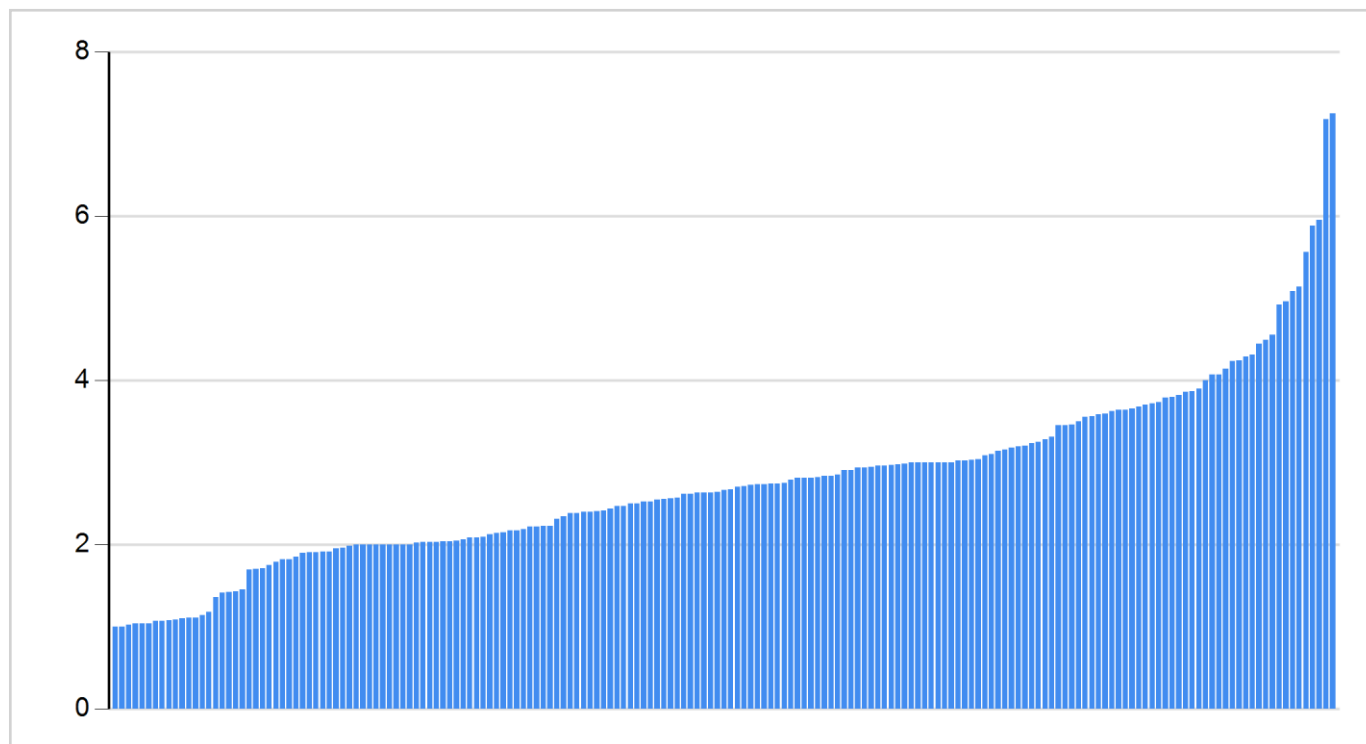
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3010
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－頭蓋内血腫除去術

分子：抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母：頭蓋内血腫除去術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、183/333病院を表示

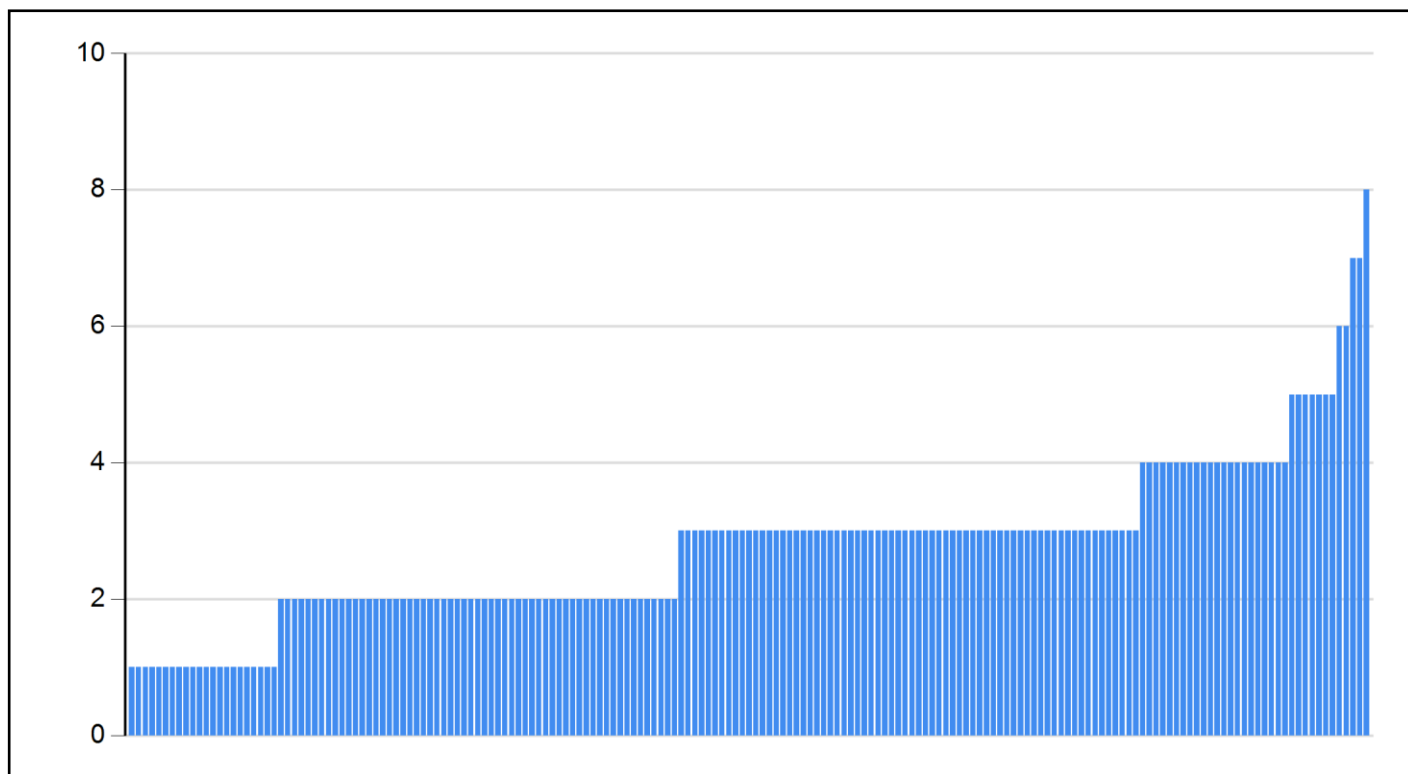
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
7012.00	18971	2.71

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3011
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－頭蓋内血腫除去術



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、183/333病院を表示

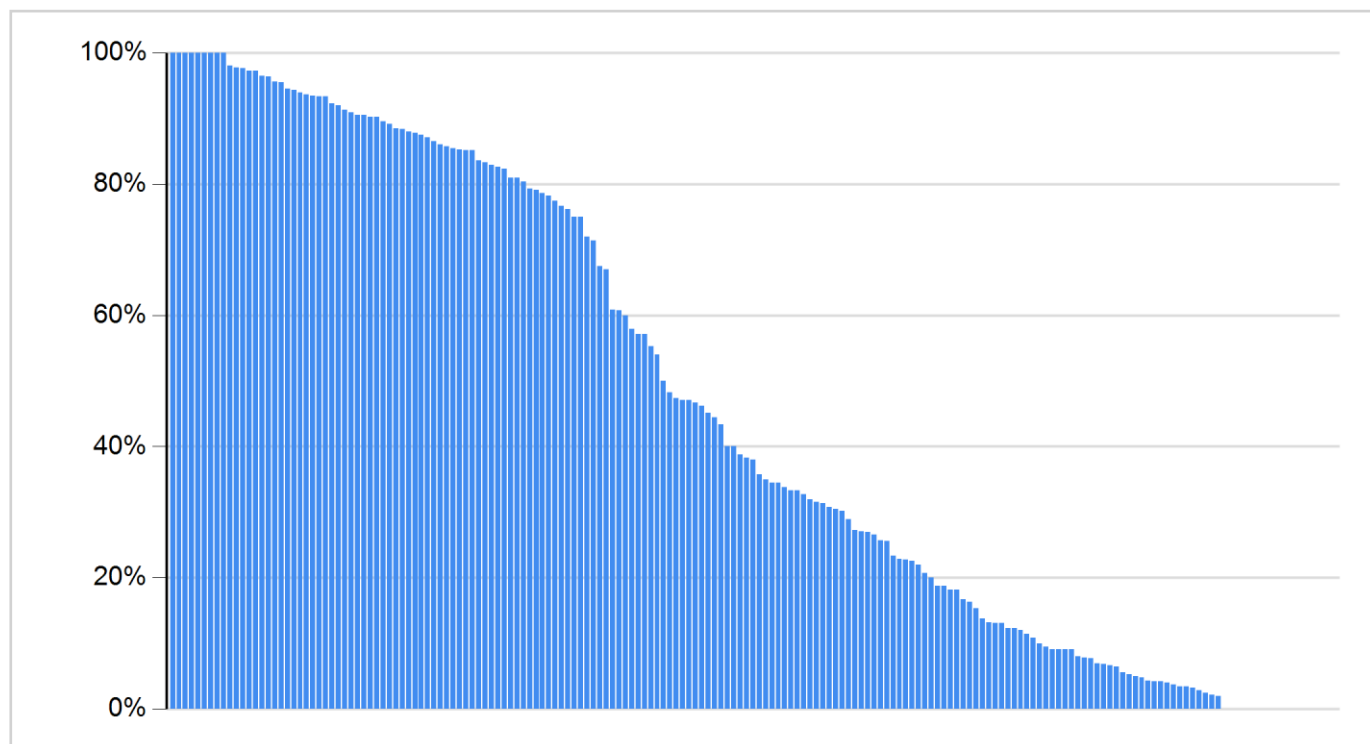
分母全病院合計	中央値の中央値
7012	3

医療の質の指標

指標番号	3012
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率—頭蓋内血腫除去術

分子：抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母：頭蓋内血腫除去術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、183/333病院を表示

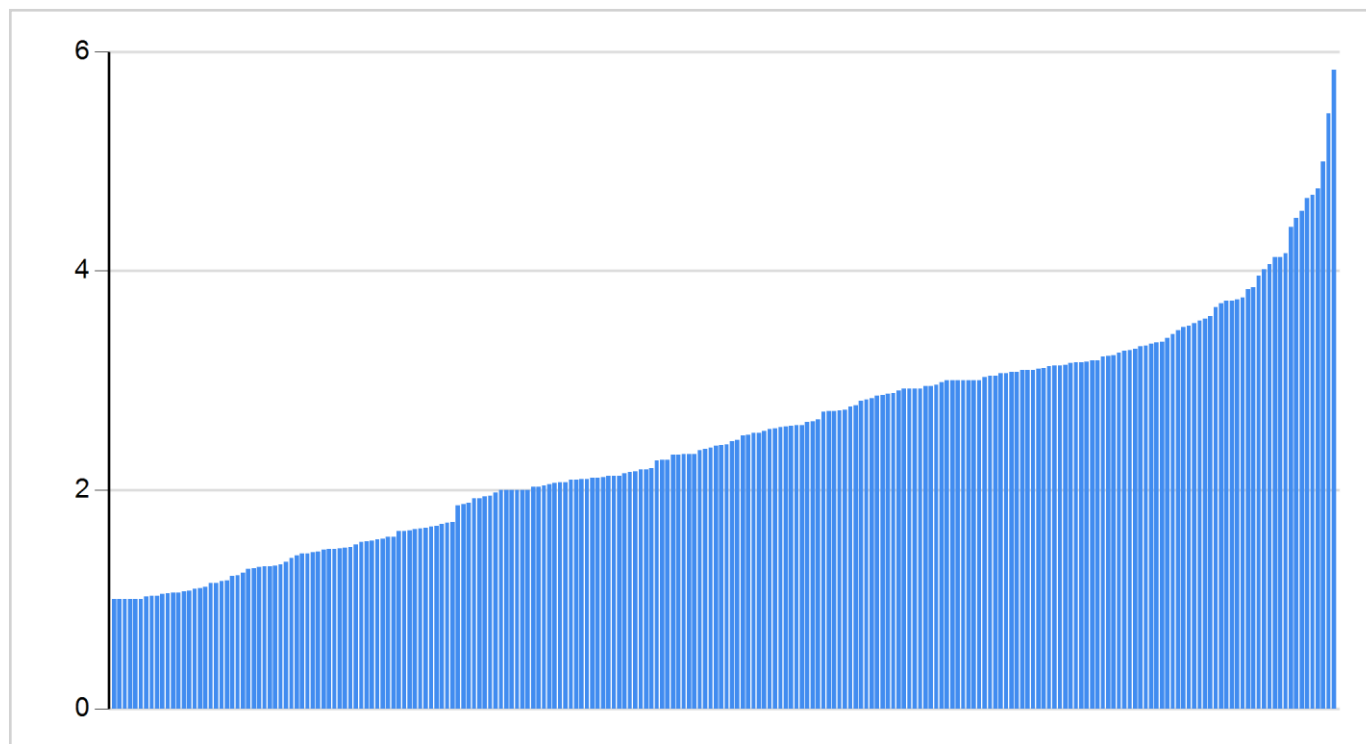
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
7341	3415	46.5%

医療の質の指標

指標番号	3020
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胃切除

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 胃切除術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,..2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、228/333病院を表示

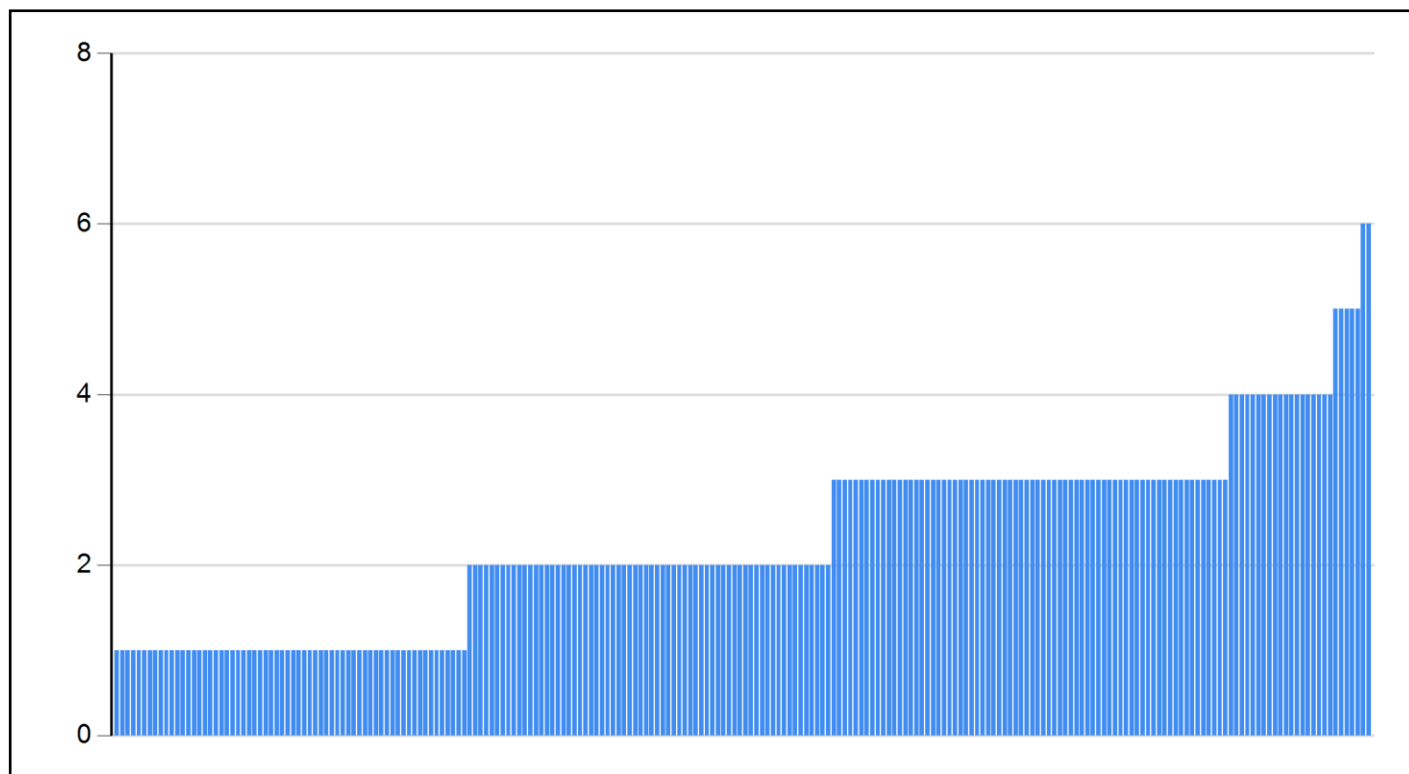
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
9299.00	21547	2.32

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3021
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胃切除



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、228/333病院を表示

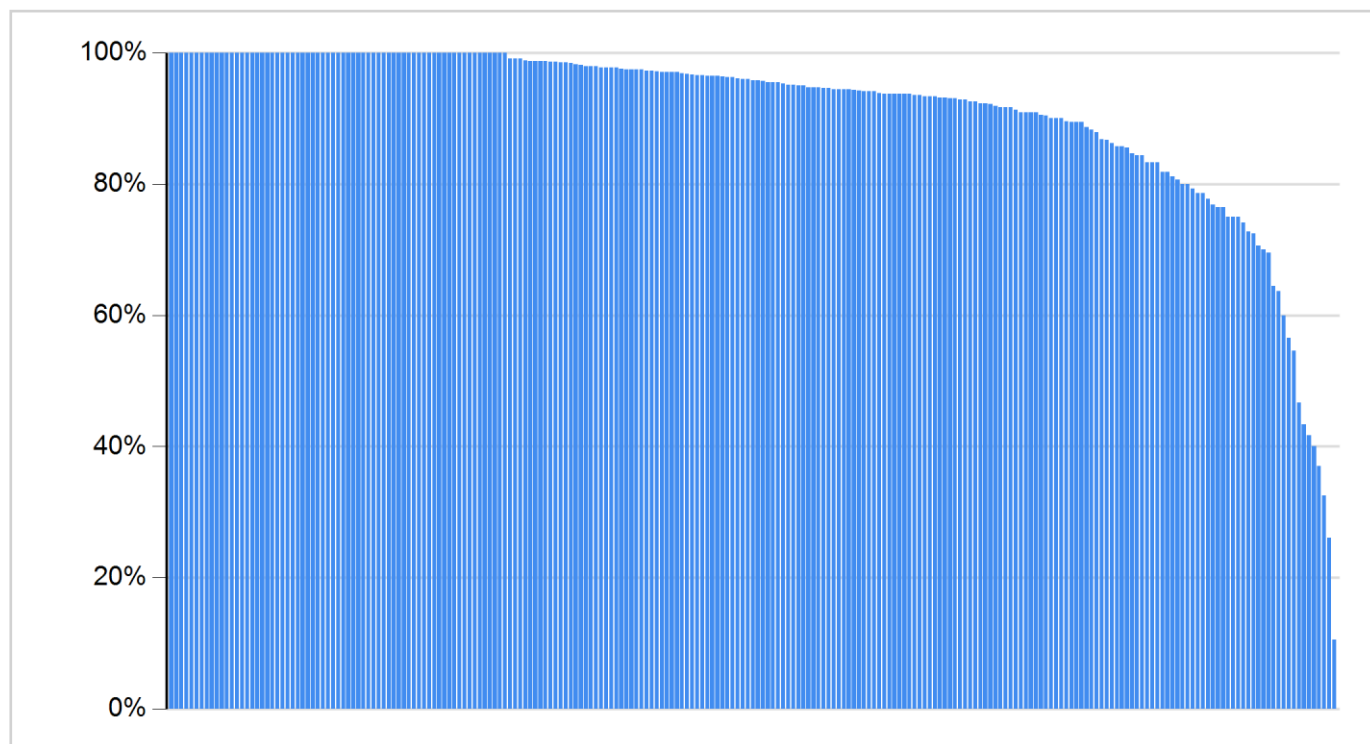
分母全病院合計	中央値の中央値
9299	2

医療の質の指標

指標番号	3022
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－胃切除

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：胃切除術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、231/333病院を表示

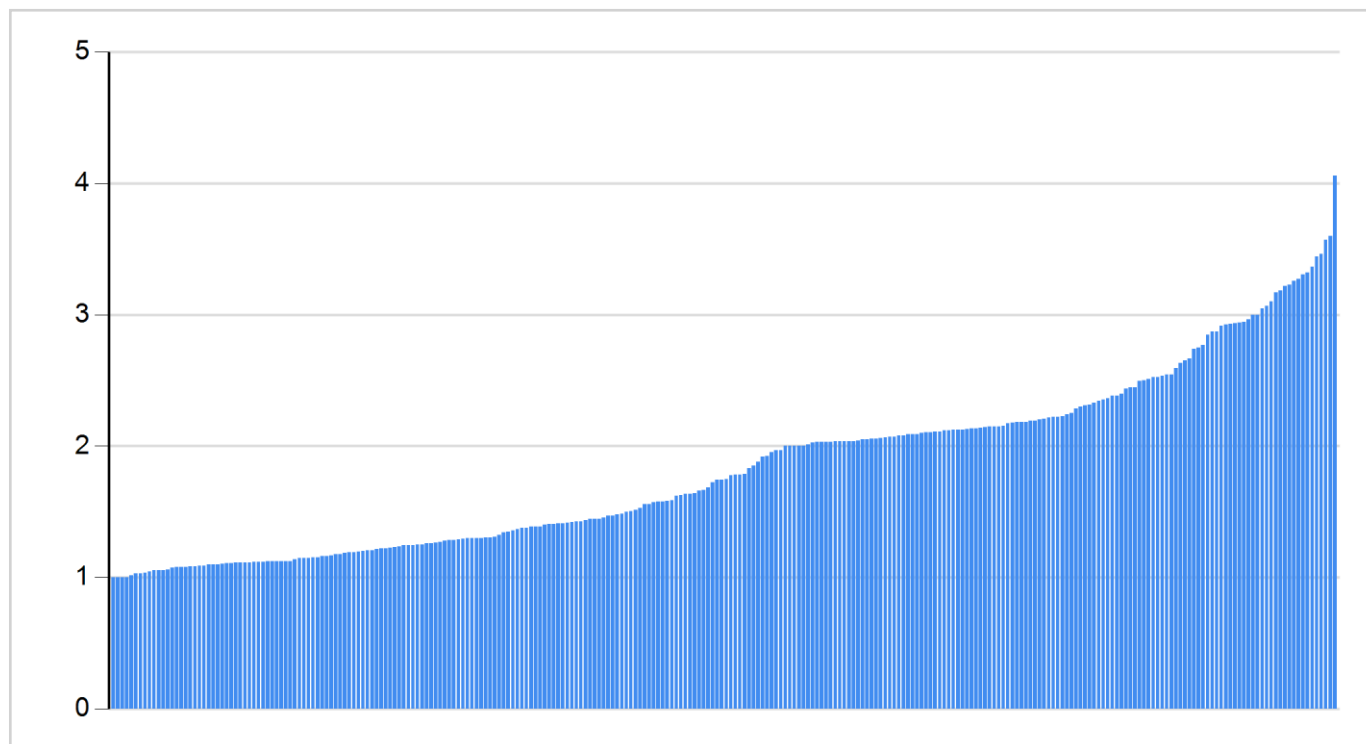
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
9479	8808	92.9%

医療の質の指標

指標番号	3030
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－胆嚢摘出

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 胆嚢摘出を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,..2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、270/333病院を表示

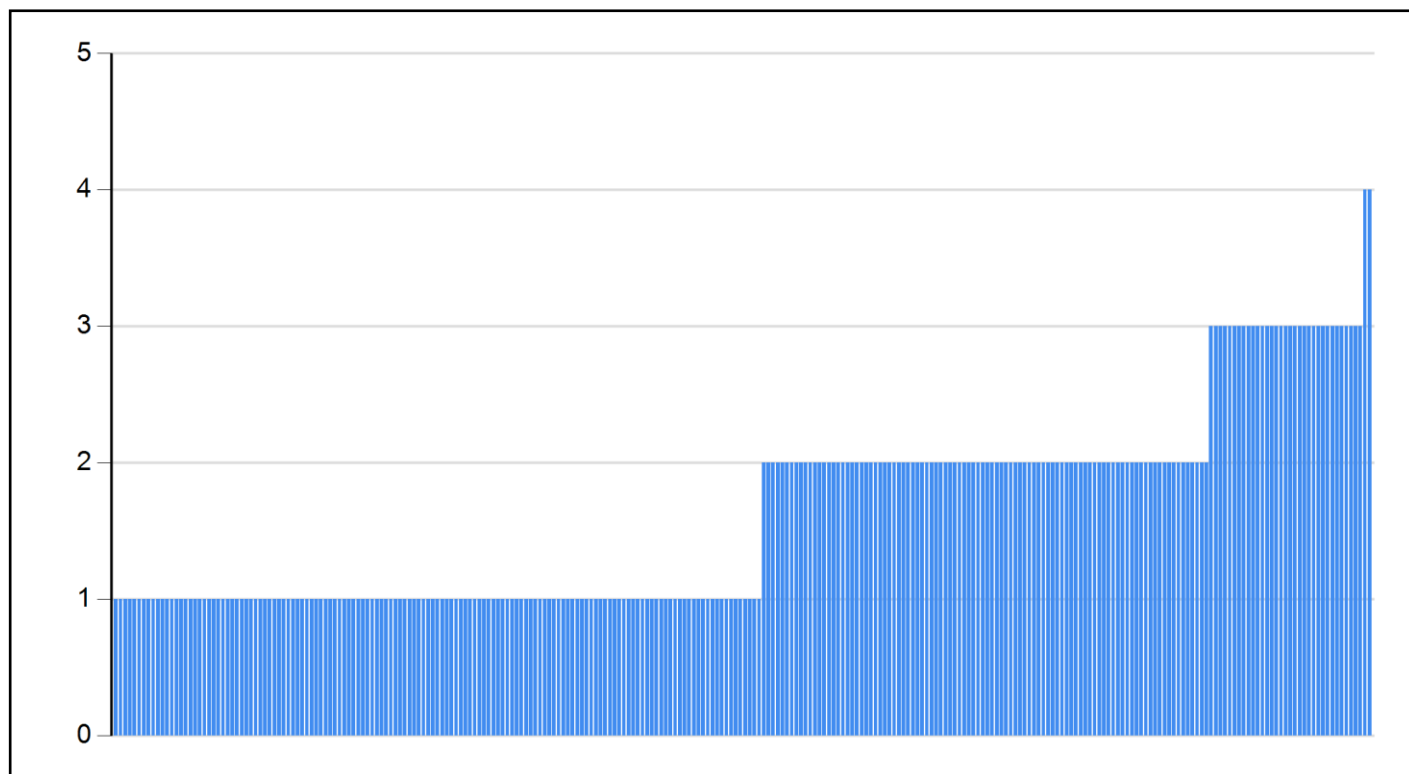
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
15830.00	27489	1.74

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3031
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－胆嚢摘出



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、270/333病院を表示

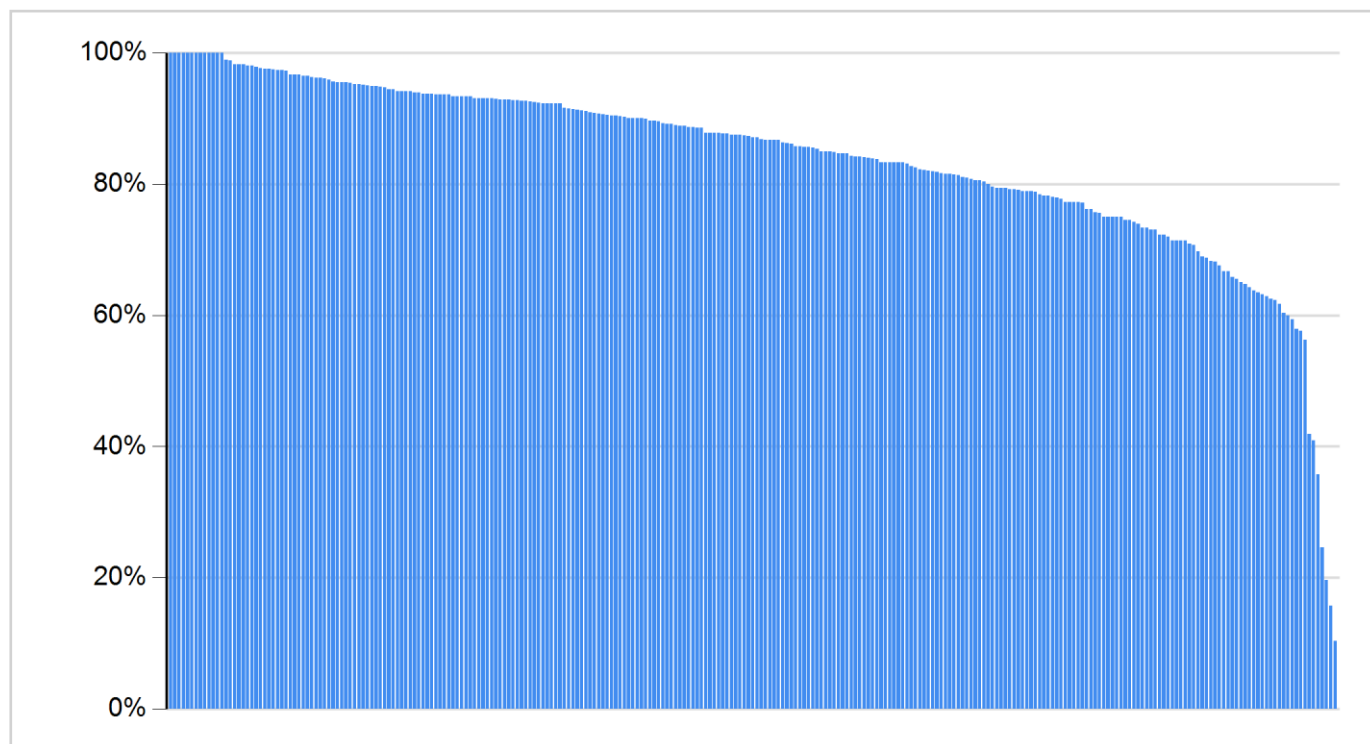
分母全病院合計	中央値の中央値
15830	2

医療の質の指標

指標番号	3032
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率ー胆嚢摘出

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：胆嚢摘出を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、273/333病院を表示

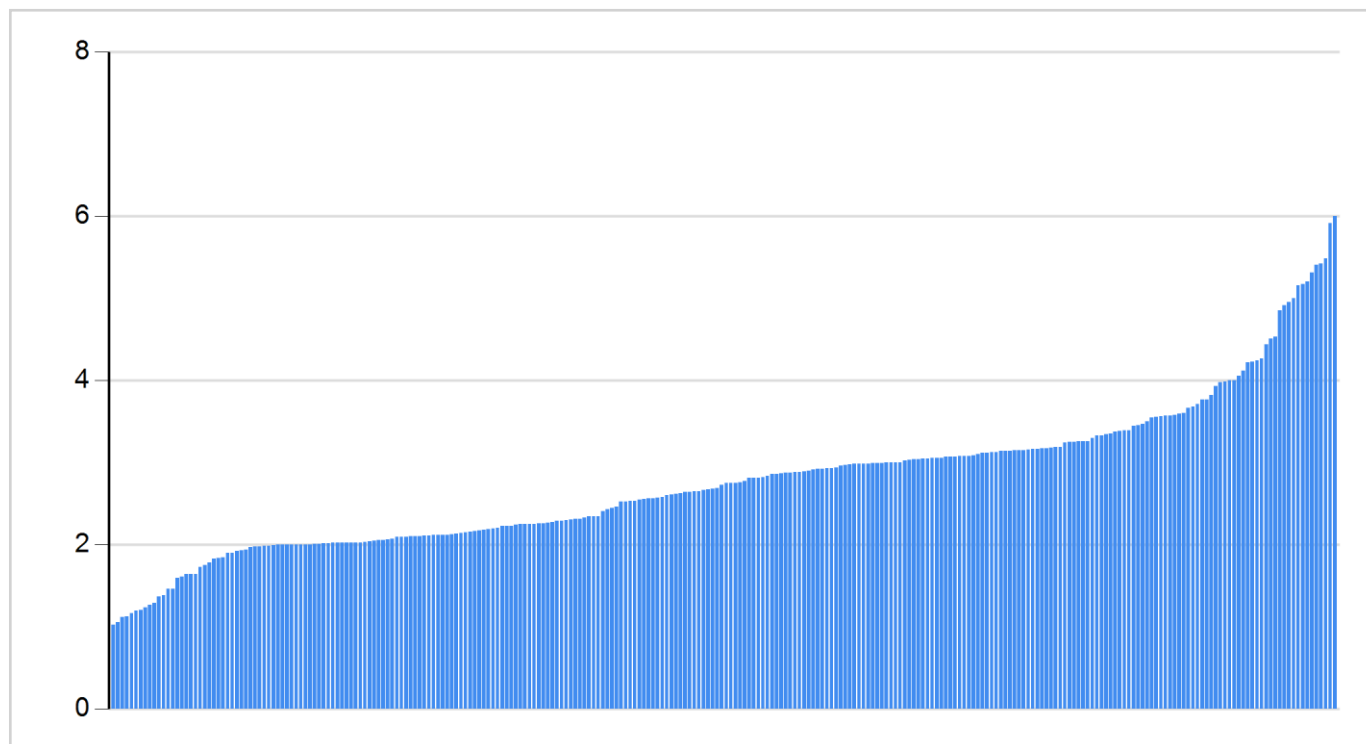
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
18406	15584	84.7%

医療の質の指標

指標番号	3040
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－人工股関節置換術

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 人工股関節置換を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、268/333病院を表示

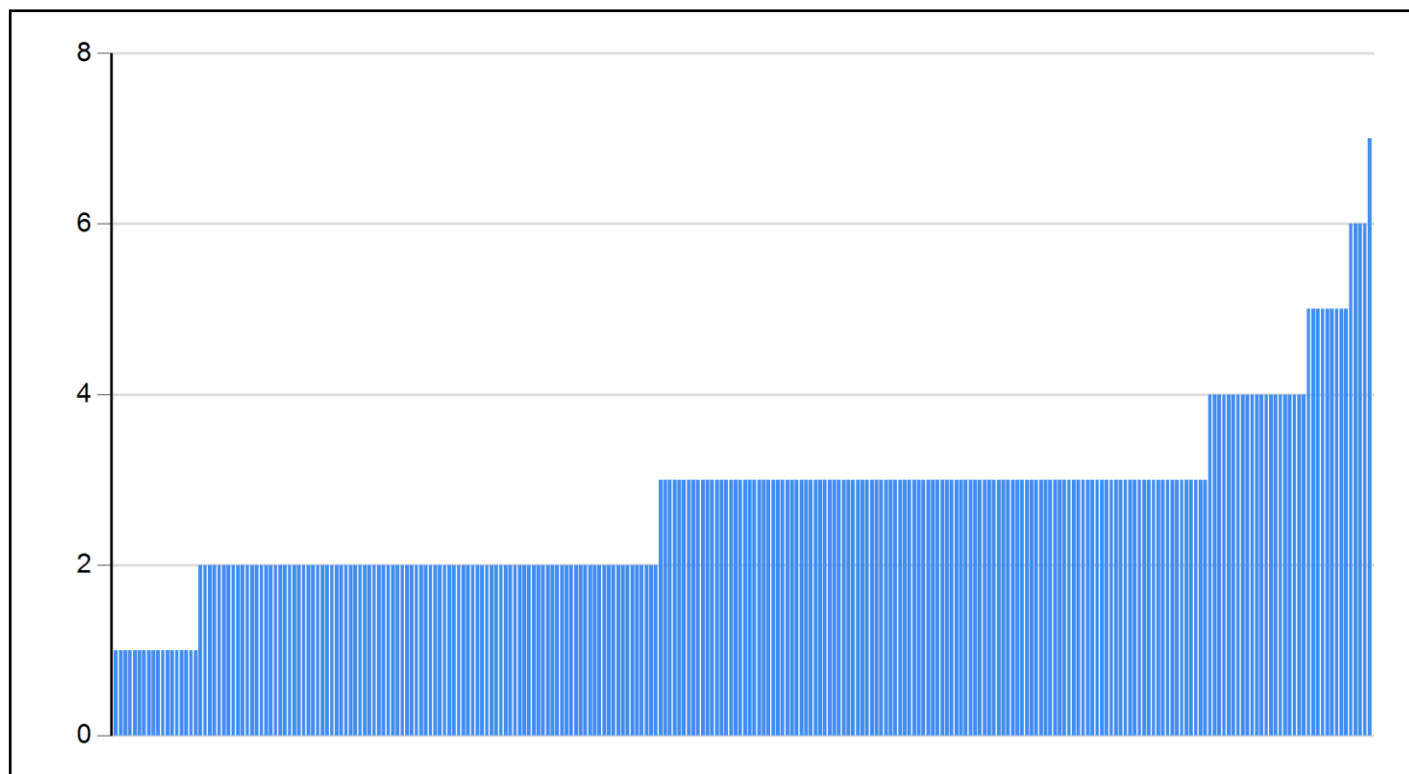
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
24673.00	66639	2.70

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3041
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－人工股関節置換術



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、268/333病院を表示

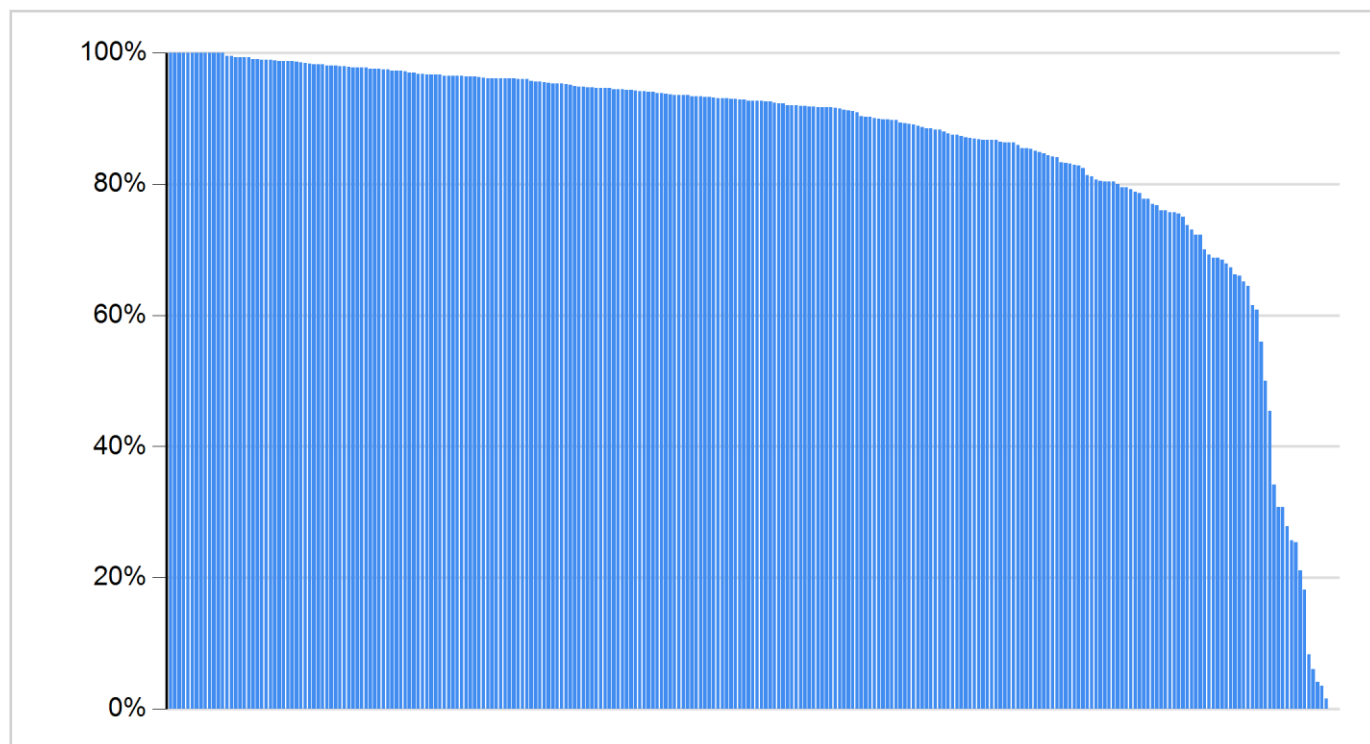
分母全病院合計	中央値の中央値
24673	3

医療の質の指標

指標番号	3042
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－人工股関節置換術

分子：抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母：人工股関節置換を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、269/333病院を表示

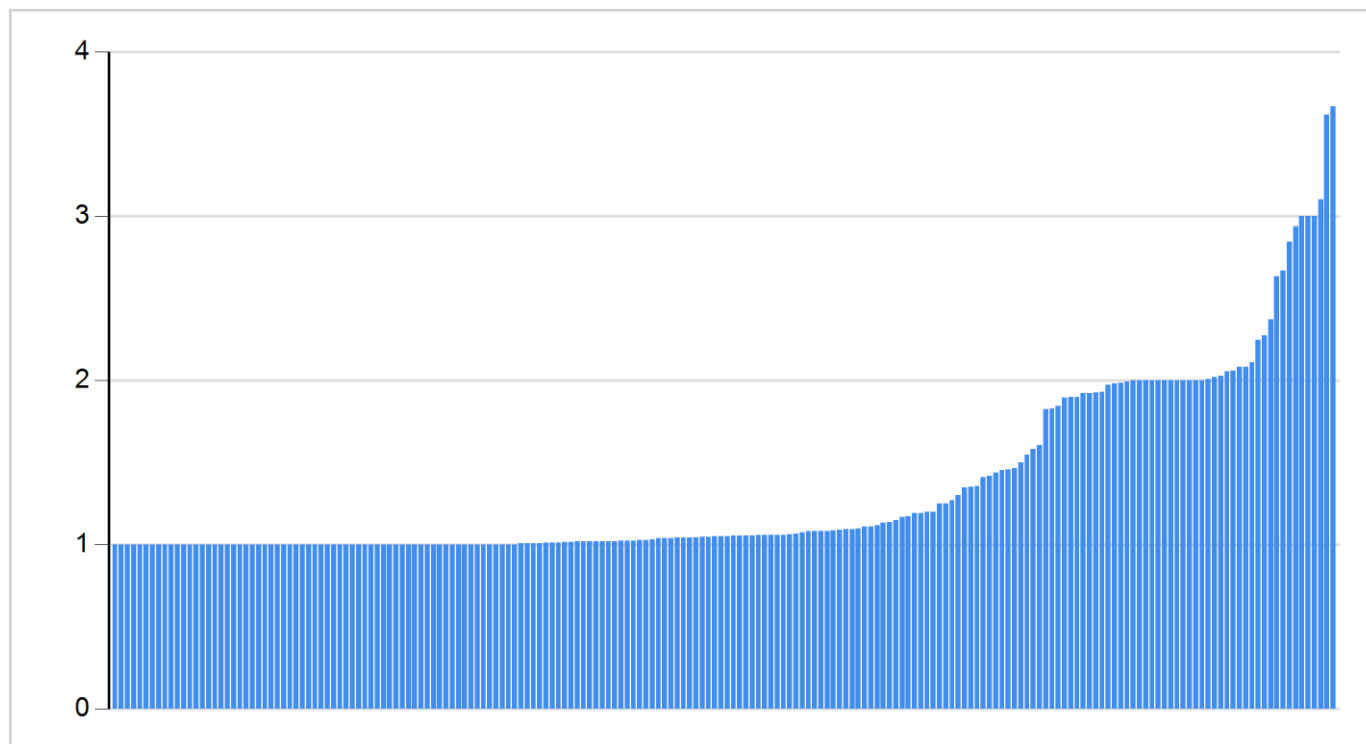
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
25947	23567	90.8%

医療の質の指標

指標番号	3050
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－乳房切除

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 乳房切除を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,..2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、196/333病院を表示

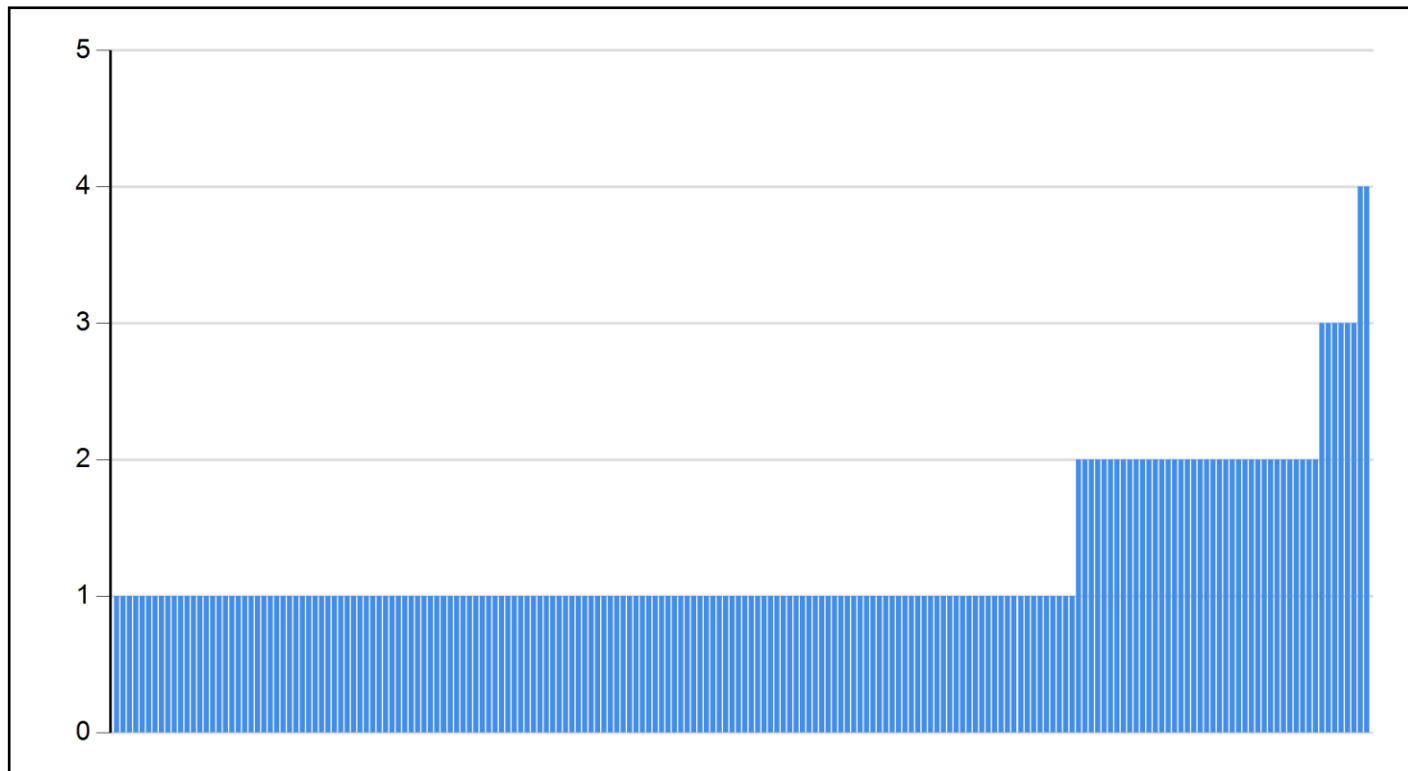
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
11583.00	14519	1.25

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3051
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－乳房切除



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、196/333病院を表示

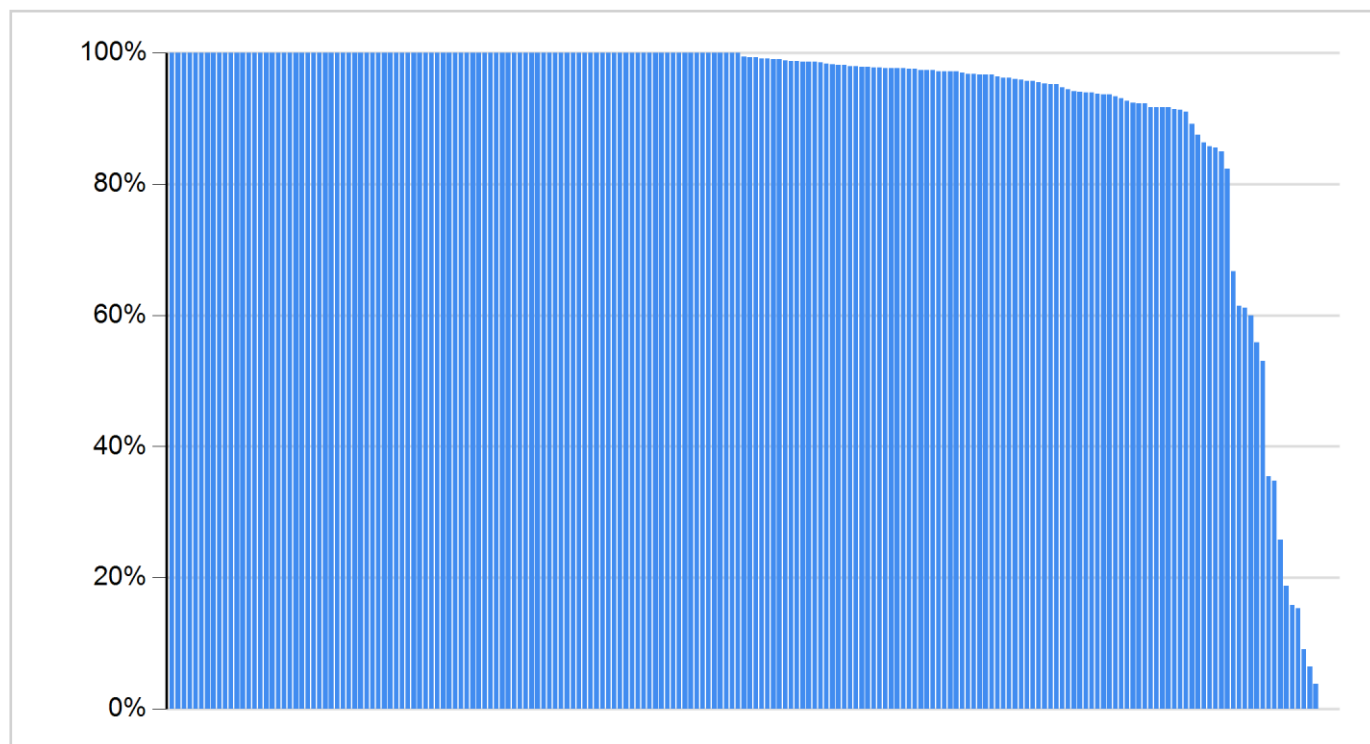
分母全病院合計	中央値の中央値
11583	1

医療の質の指標

指標番号	3052
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－乳房切除

分子：抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母：乳房切除を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、198/333病院を表示

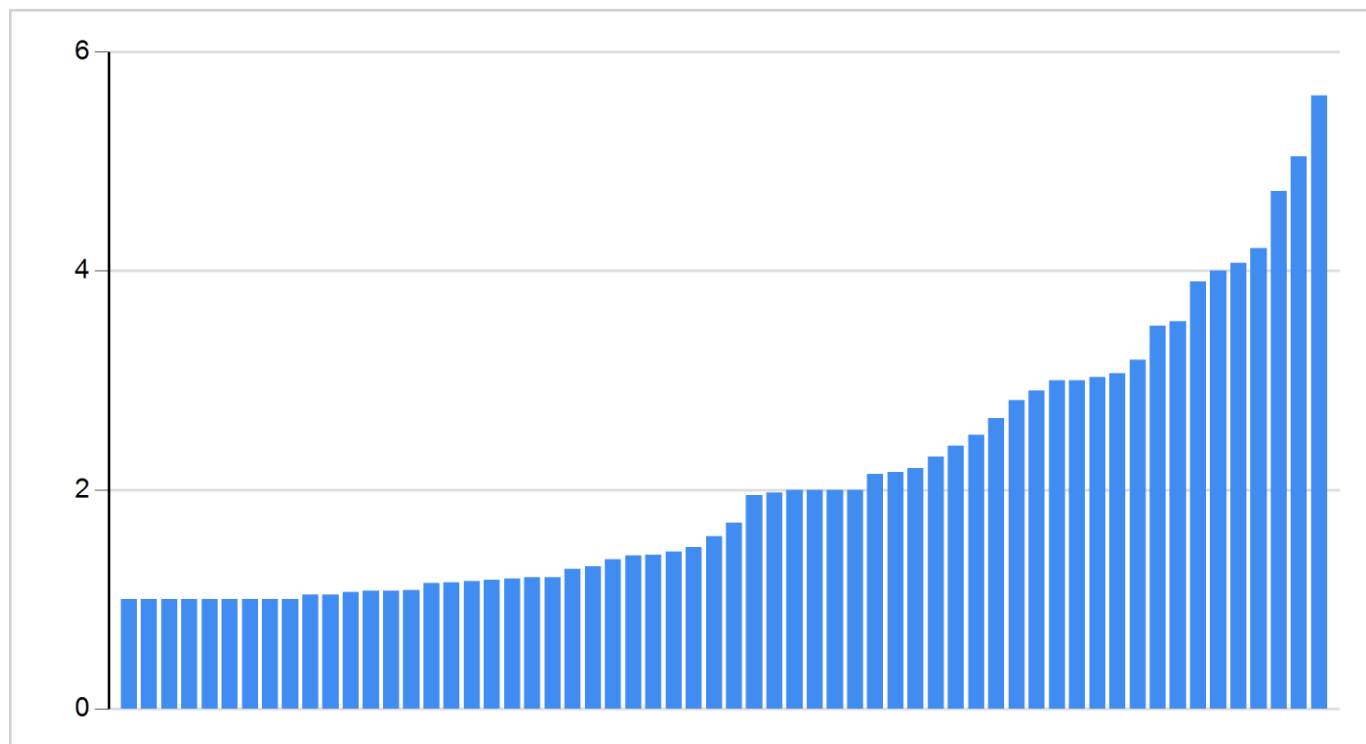
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
11940	11148	93.4%

医療の質の指標

指標番号	3060
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－甲状腺手術

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 甲状腺手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分
期間症例10例未満の病院を除外し、60/333病院を表示

2015年度(平成27年度)

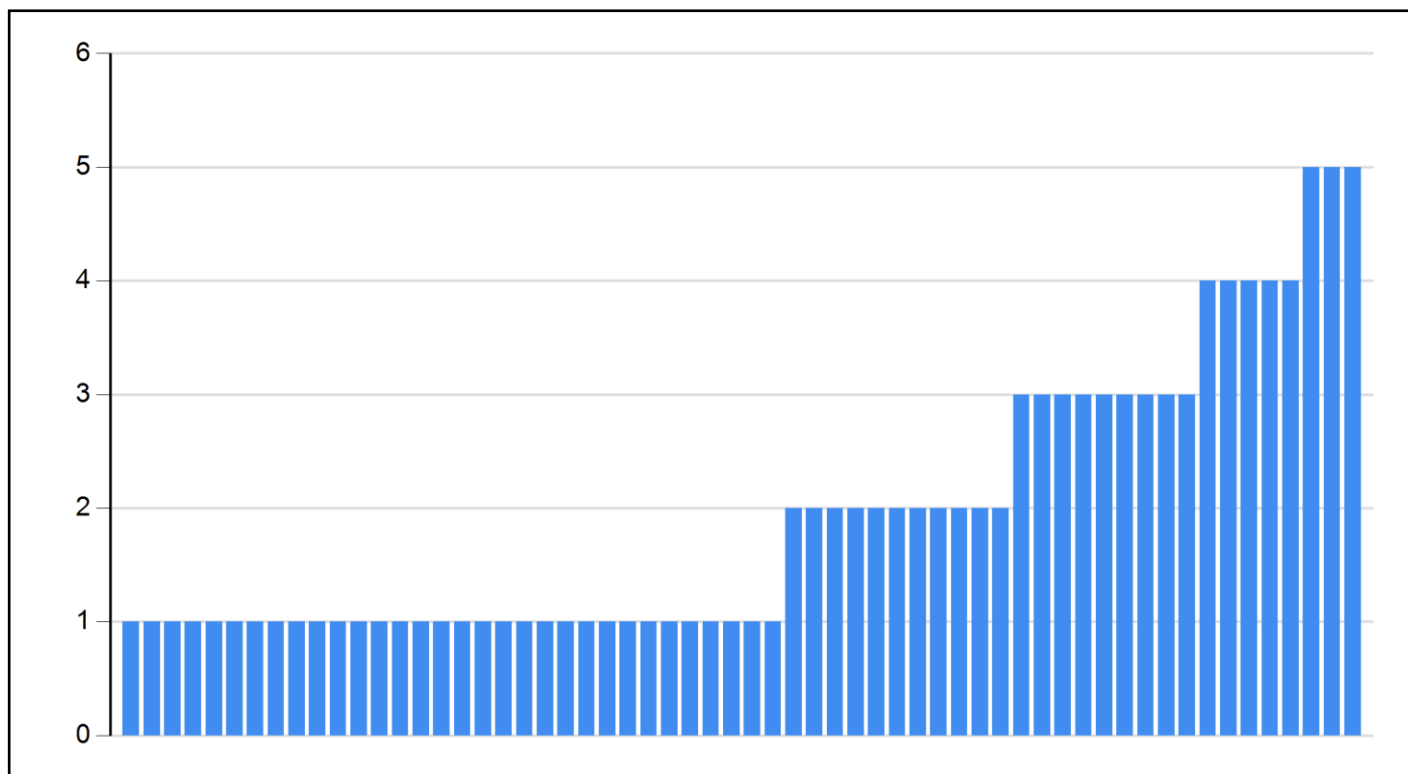
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
1775.00	3556	2.00

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3061
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－甲状腺手術



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、60/333病院を表示

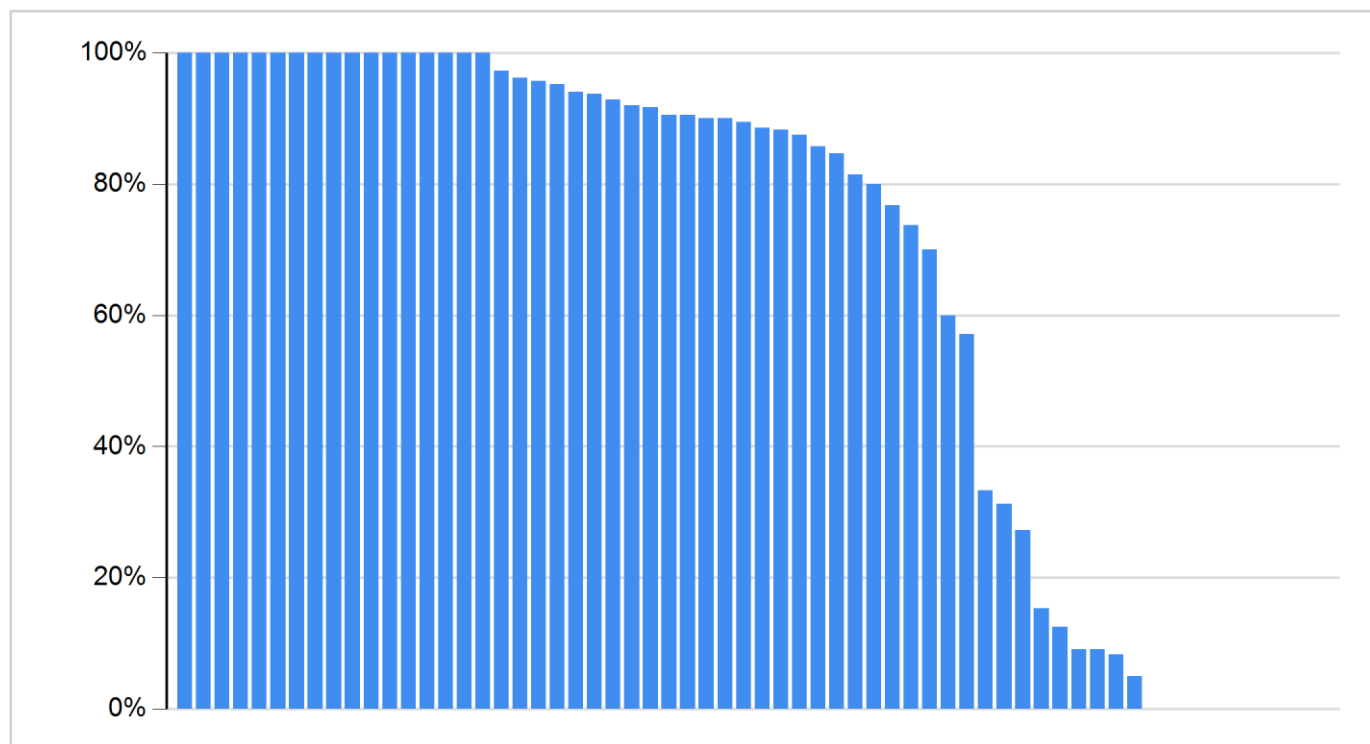
分母全病院合計	中央値の中央値
1775	2

医療の質の指標

指標番号	3062
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－甲状腺手術

分子：抗菌薬の投与日数が2日以内の症例数

分母：甲状腺手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、62/333病院を表示

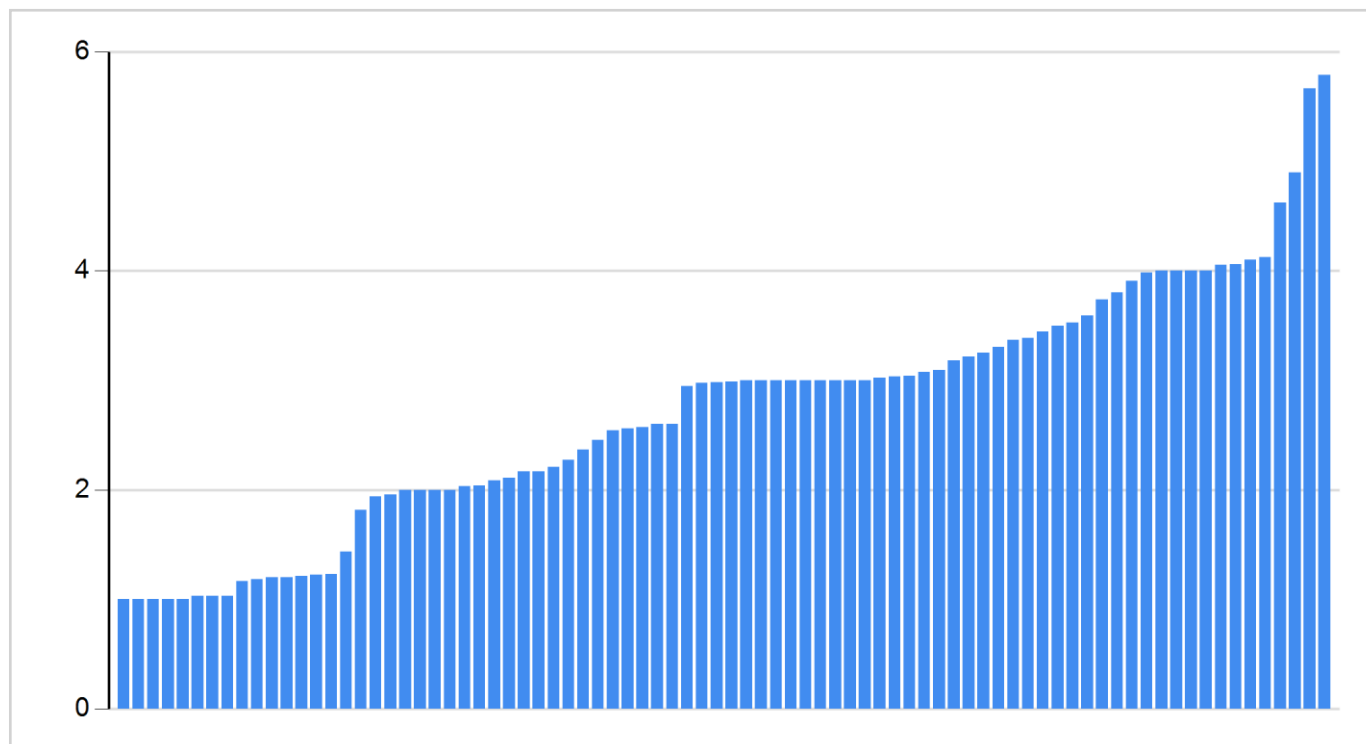
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
1845	1294	70.1%

医療の質の指標

指標番号	3070
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値ー前立腺がん

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 前立腺がんて手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分
期間症例10例未満の病院を除外し、82/333病院を表示

2015年度(平成27年度)

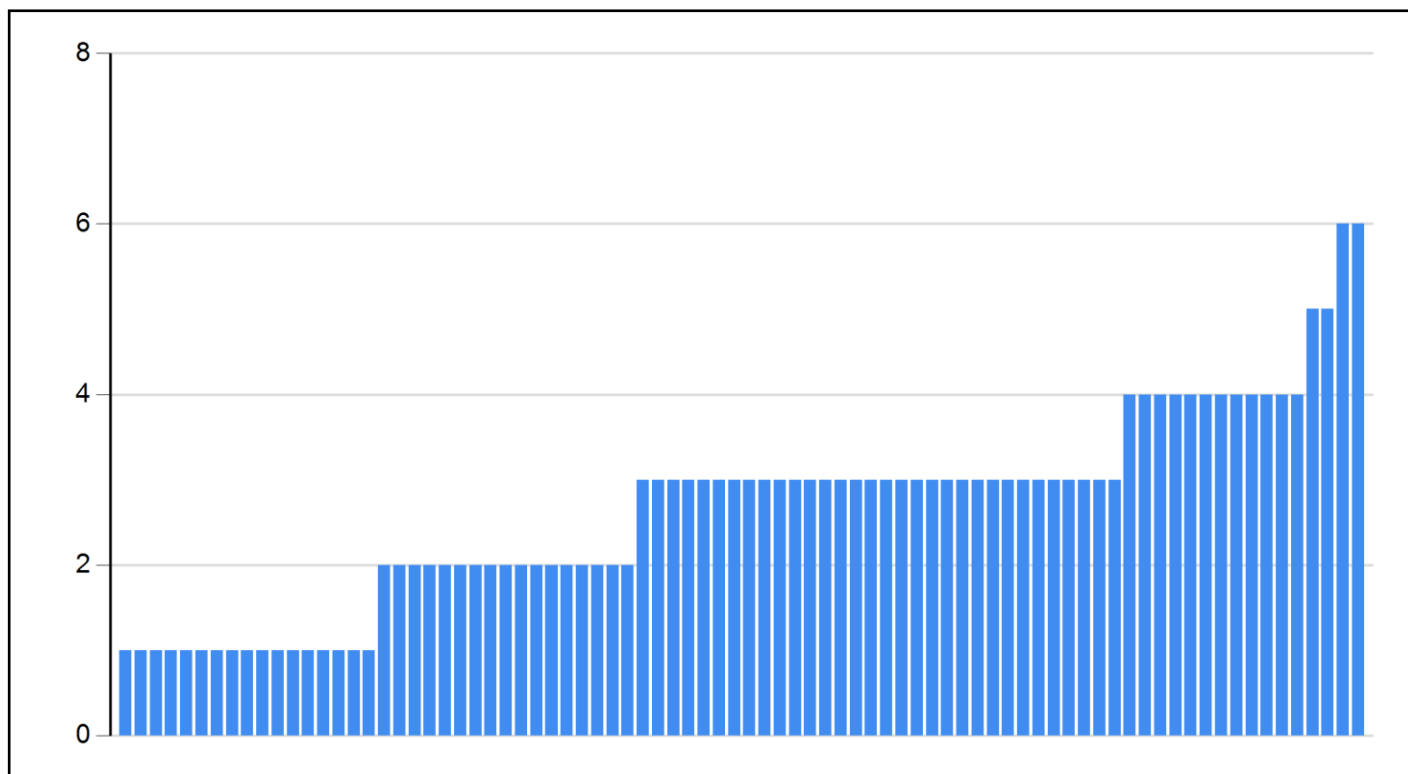
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
3212.00	8330	2.59

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3071
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－前立腺がん



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、82/333病院を表示

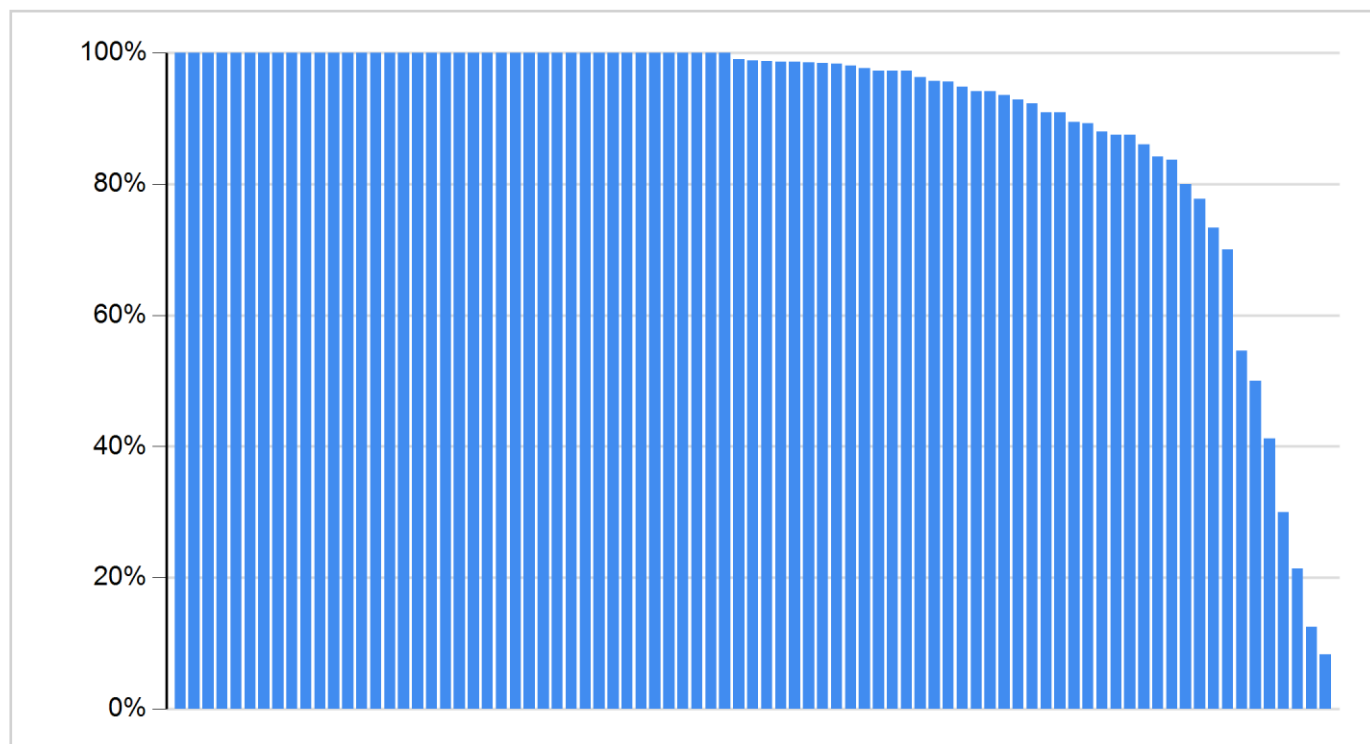
分母全病院合計	中央値の中央値
3212	3

医療の質の指標

指標番号	3072
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率ー前立腺がん

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：前立腺がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、83/333病院を表示

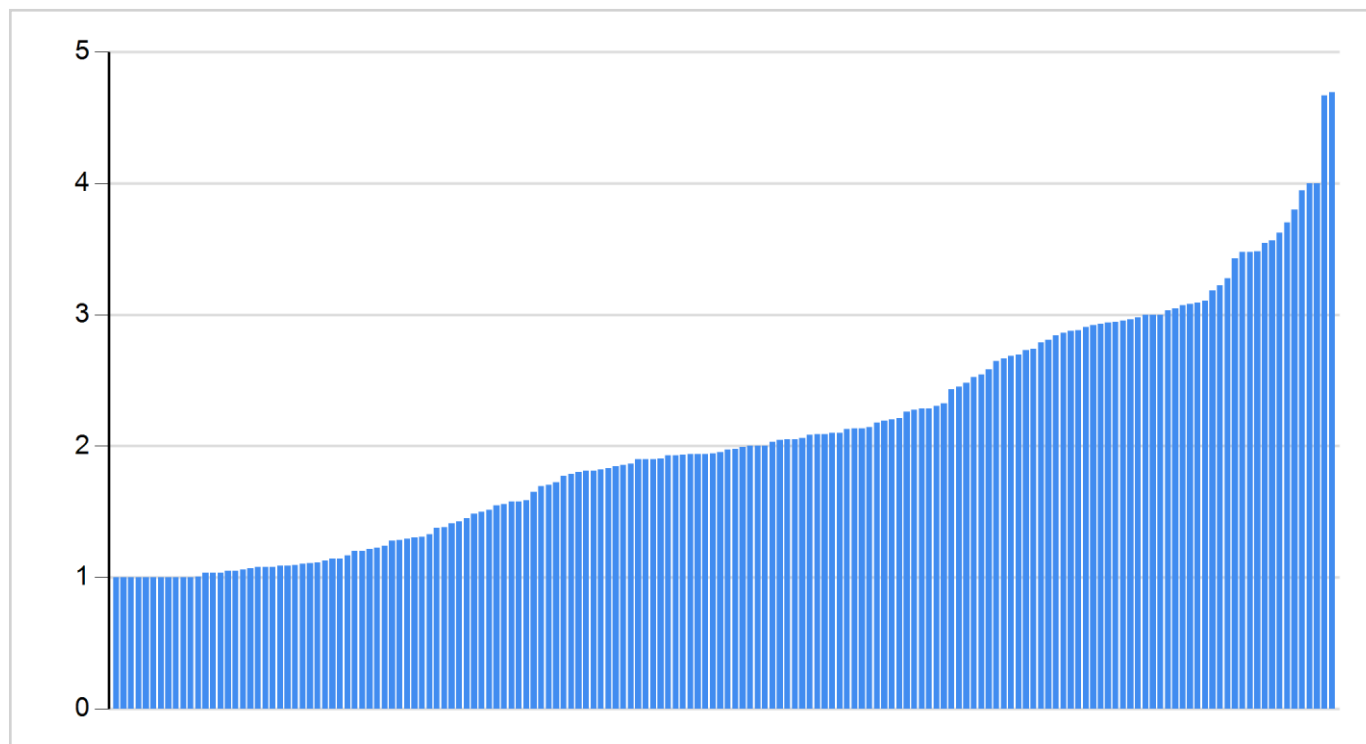
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
3252	3031	93.2%

医療の質の指標

指標番号	3080
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値—子宮筋腫

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 子宮筋腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、164/333病院を表示

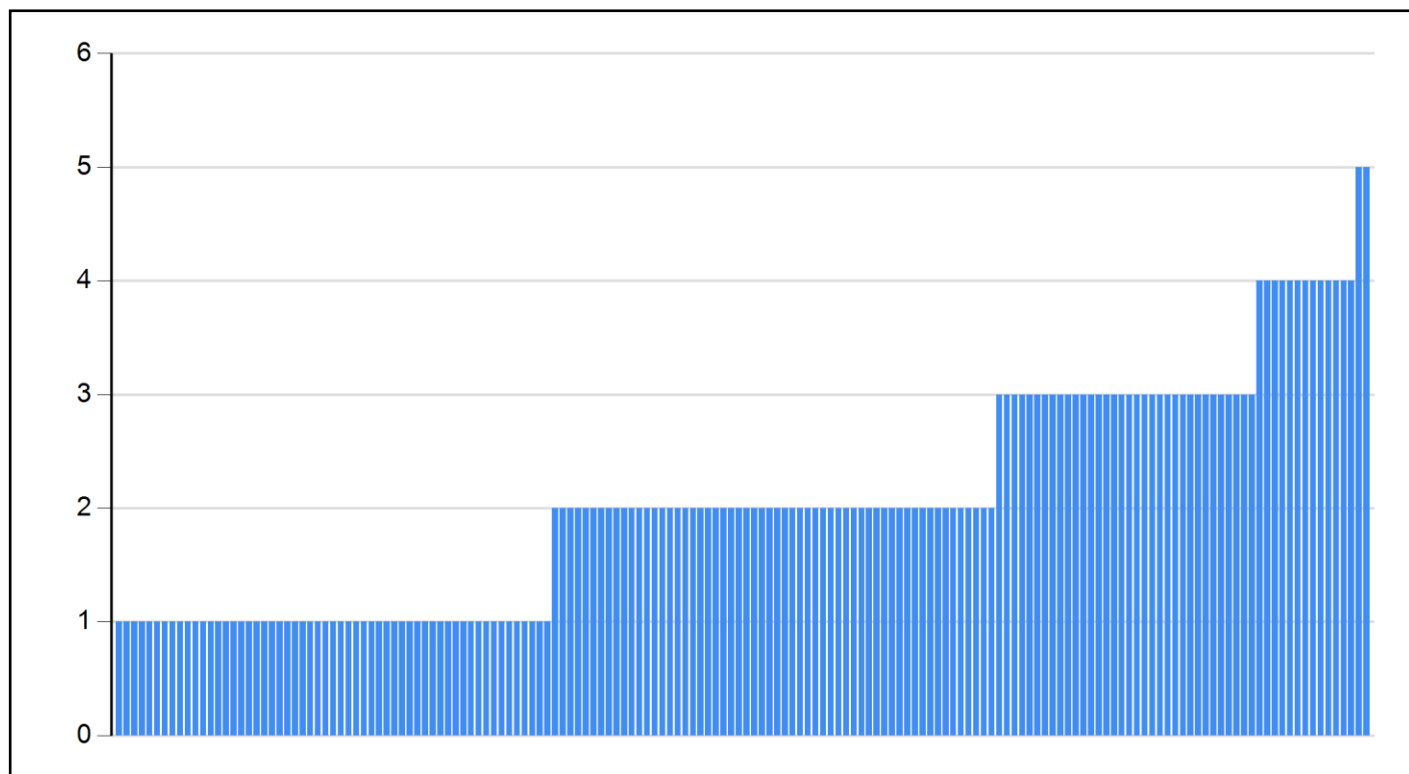
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
14839.00	29712	2.00

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3081
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値—子宮筋腫



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、164/333病院を表示

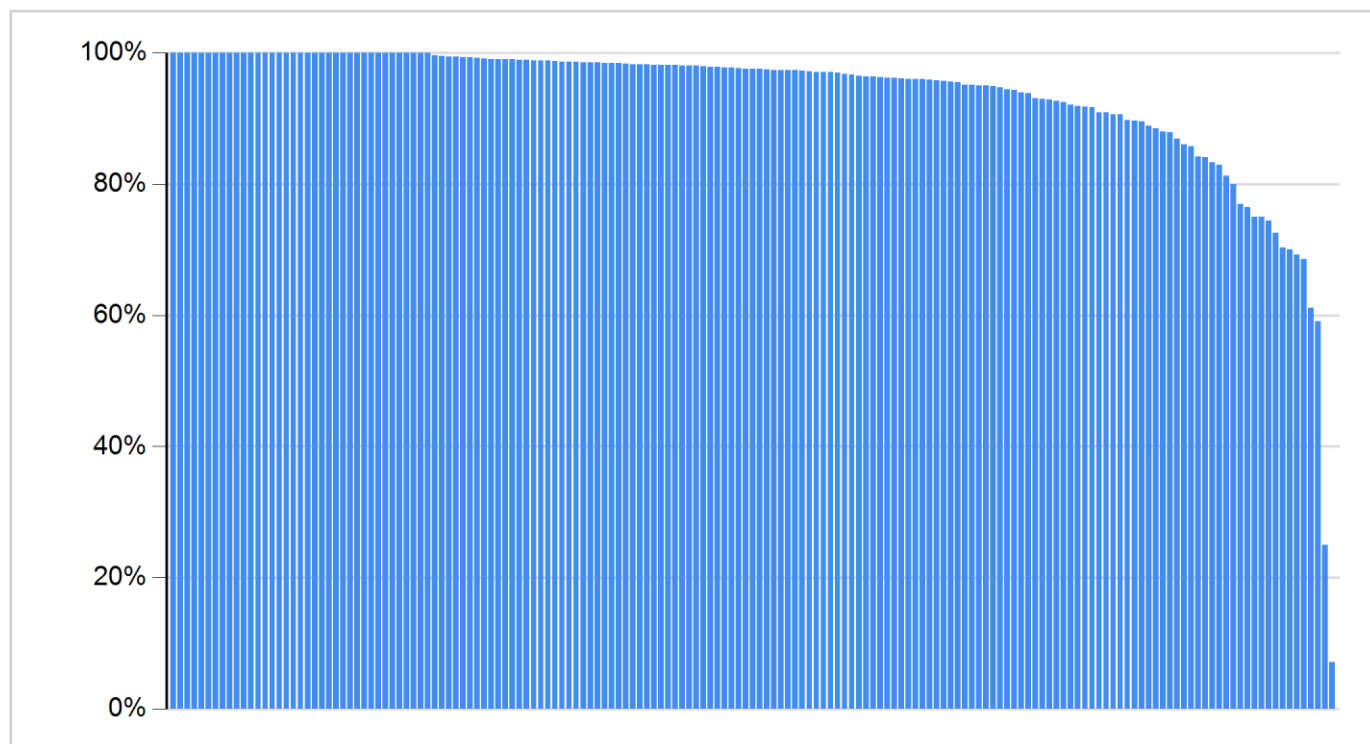
分母全病院合計	中央値の中央値
14839	2

医療の質の指標

指標番号	3082
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率ー子宮筋腫

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：子宮筋腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**
期間症例10例未満の病院を除外し、165/333病院を表示

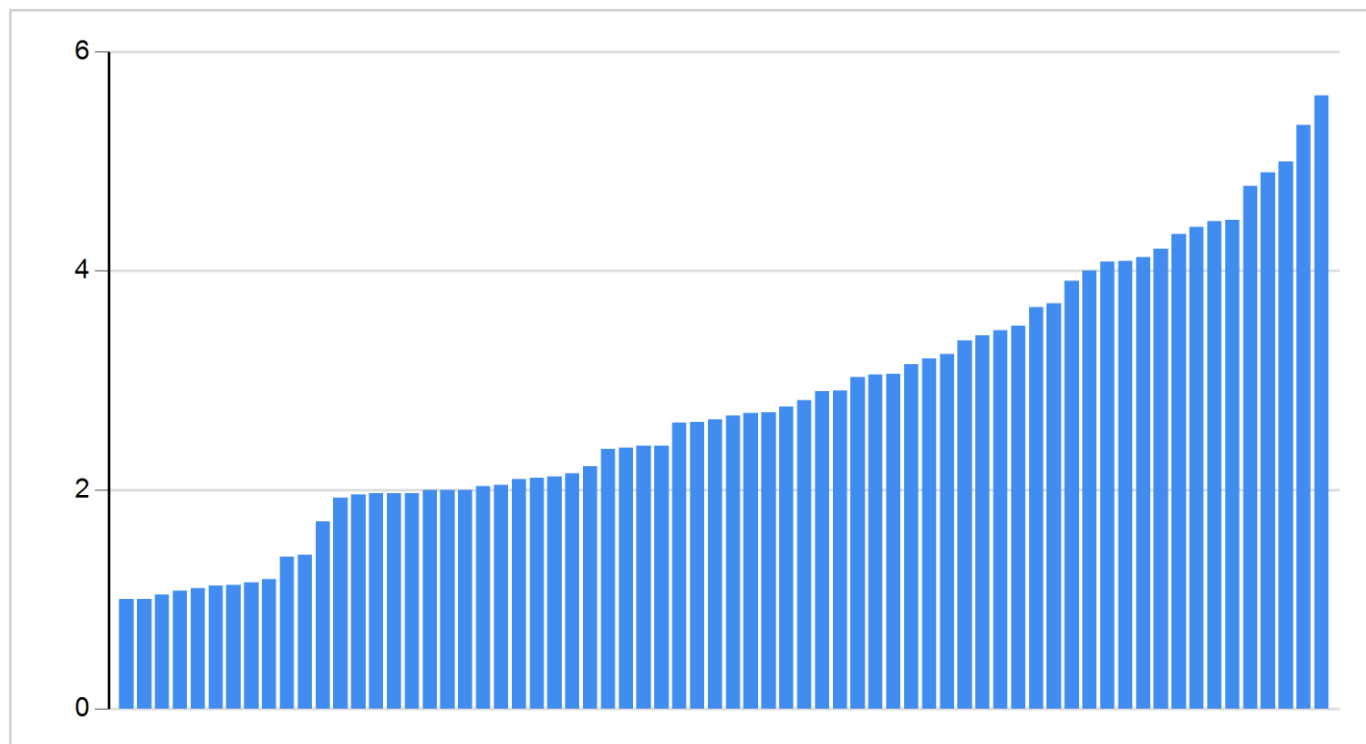
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
15364	14556	94.7%

医療の質の指標

指標番号	3090
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値—子宮がん

分子：抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母：子宮がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,..2016年3月退院分
期間症例10例未満の病院を除外し、68/333病院を表示

2015年度(平成27年度)

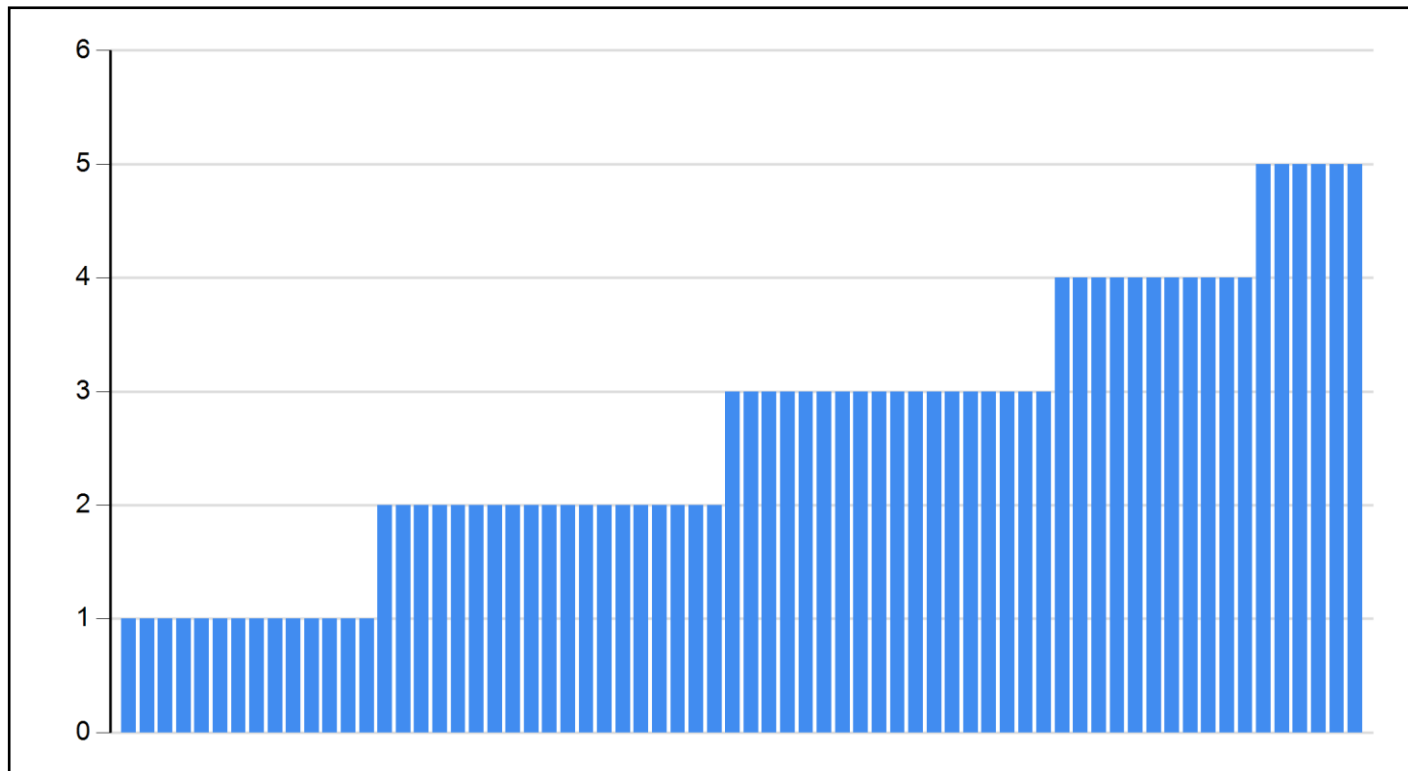
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
1887.00	5110	2.71

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3091
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－子宮がん



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、68/333病院を表示

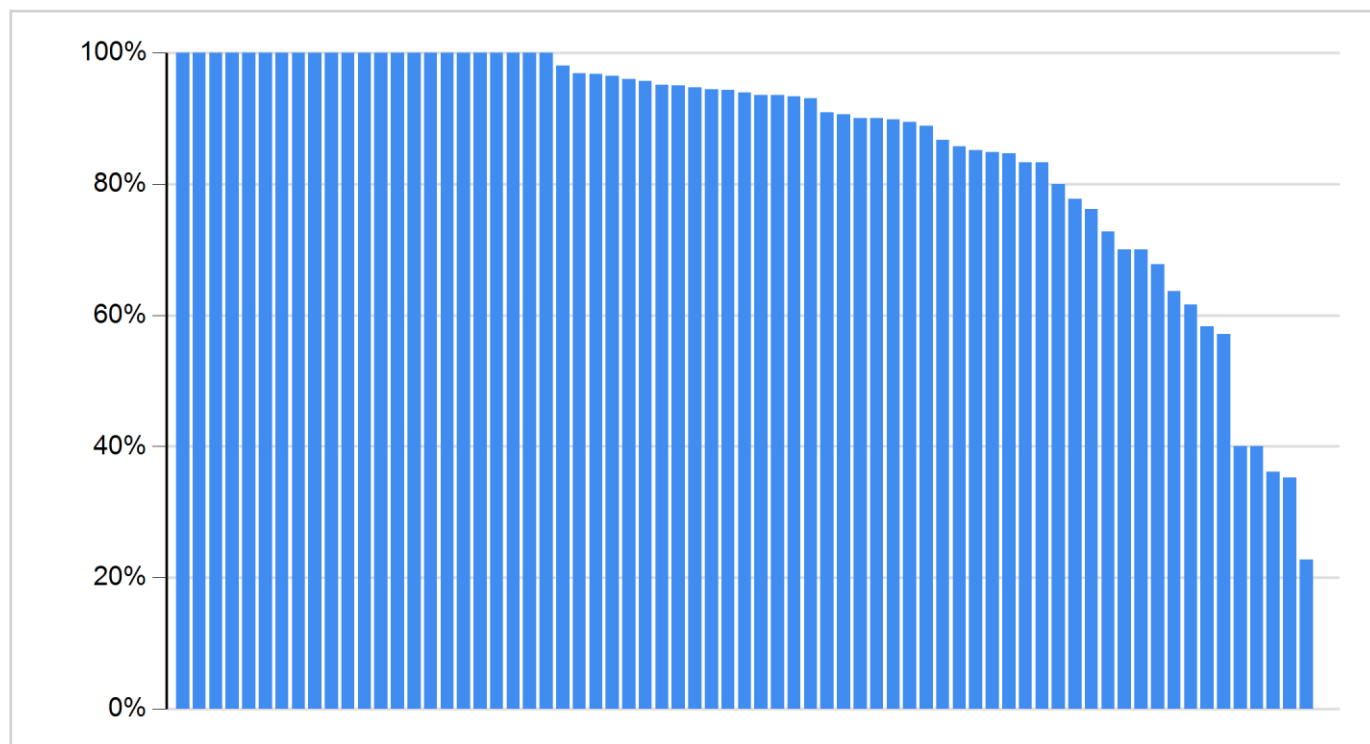
分母全病院合計	中央値の中央値
1887	3

医療の質の指標

指標番号	3092
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率ー子宮がん

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：子宮がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、70/333病院を表示

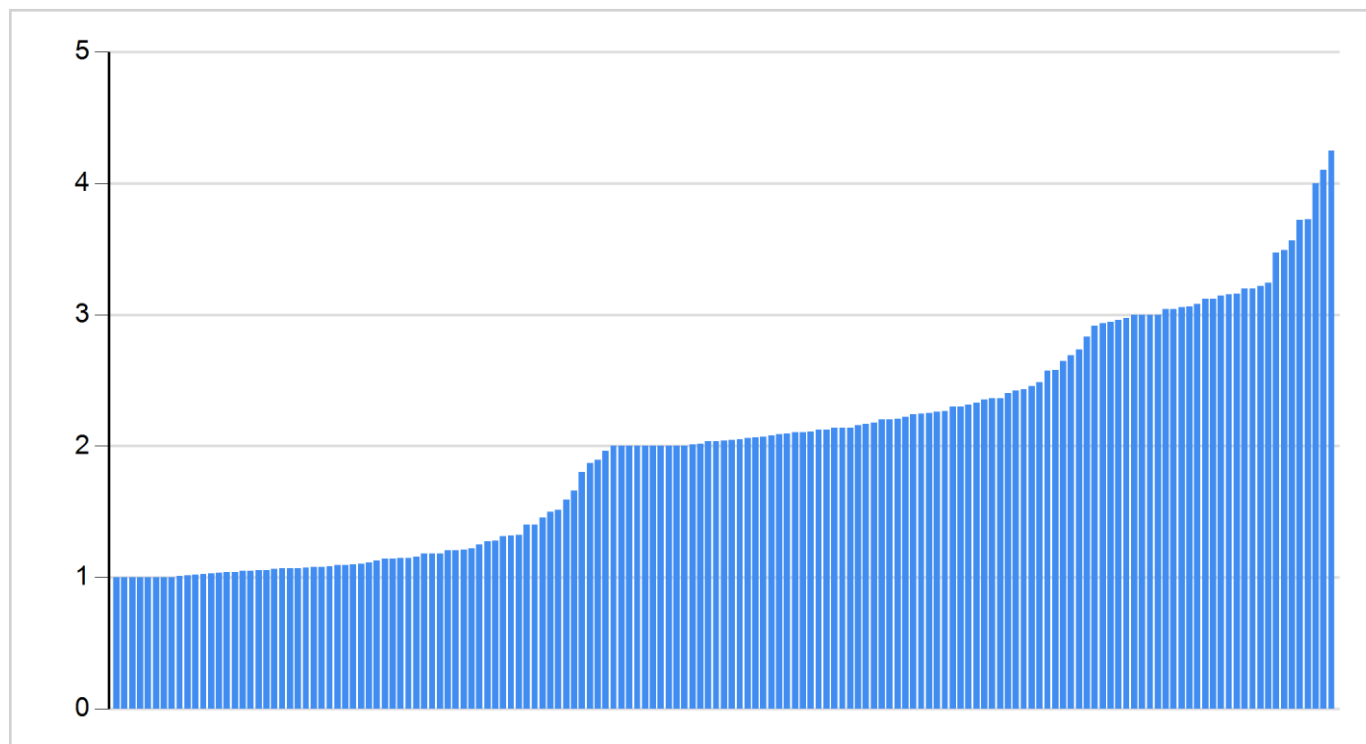
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
1965	1684	85.7%

医療の質の指標

指標番号	3100
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣嚢腫

分子： 抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母： 卵巣嚢腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,...2016年3月退院分

2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、155/333病院を表示

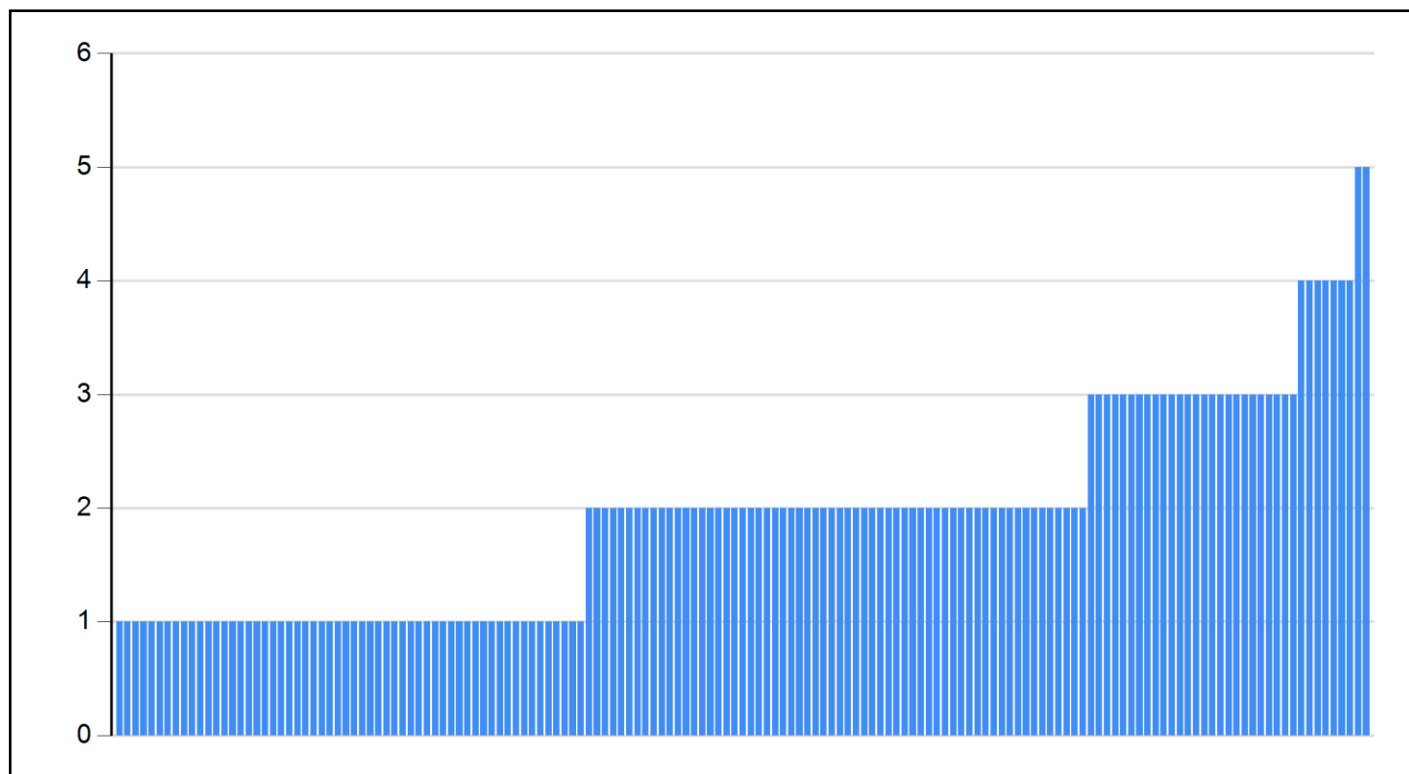
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
9412.00	17858	1.90

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3101
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－卵巣嚢腫



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、155/333病院を表示

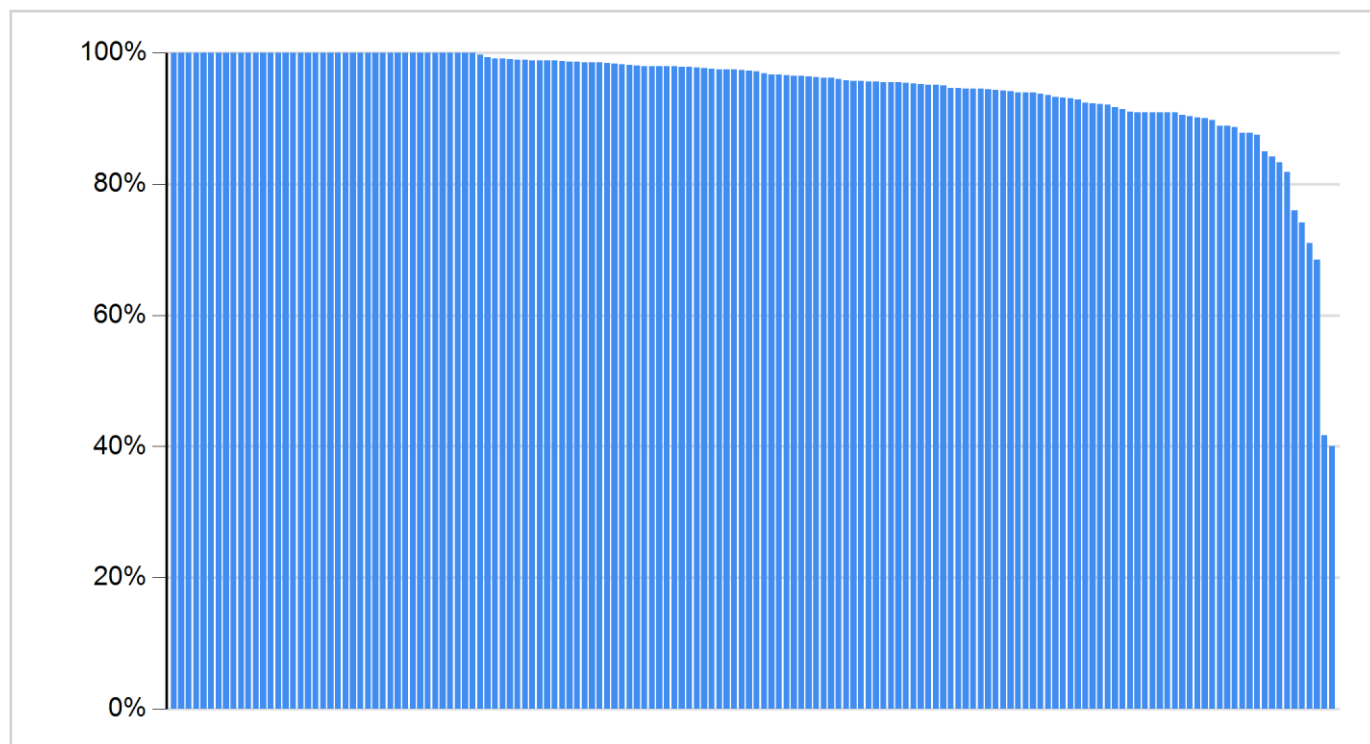
分母全病院合計	中央値の中央値
9412	2

医療の質の指標

指標番号	3102
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣嚢腫

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：卵巣嚢腫で手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、156/333病院を表示

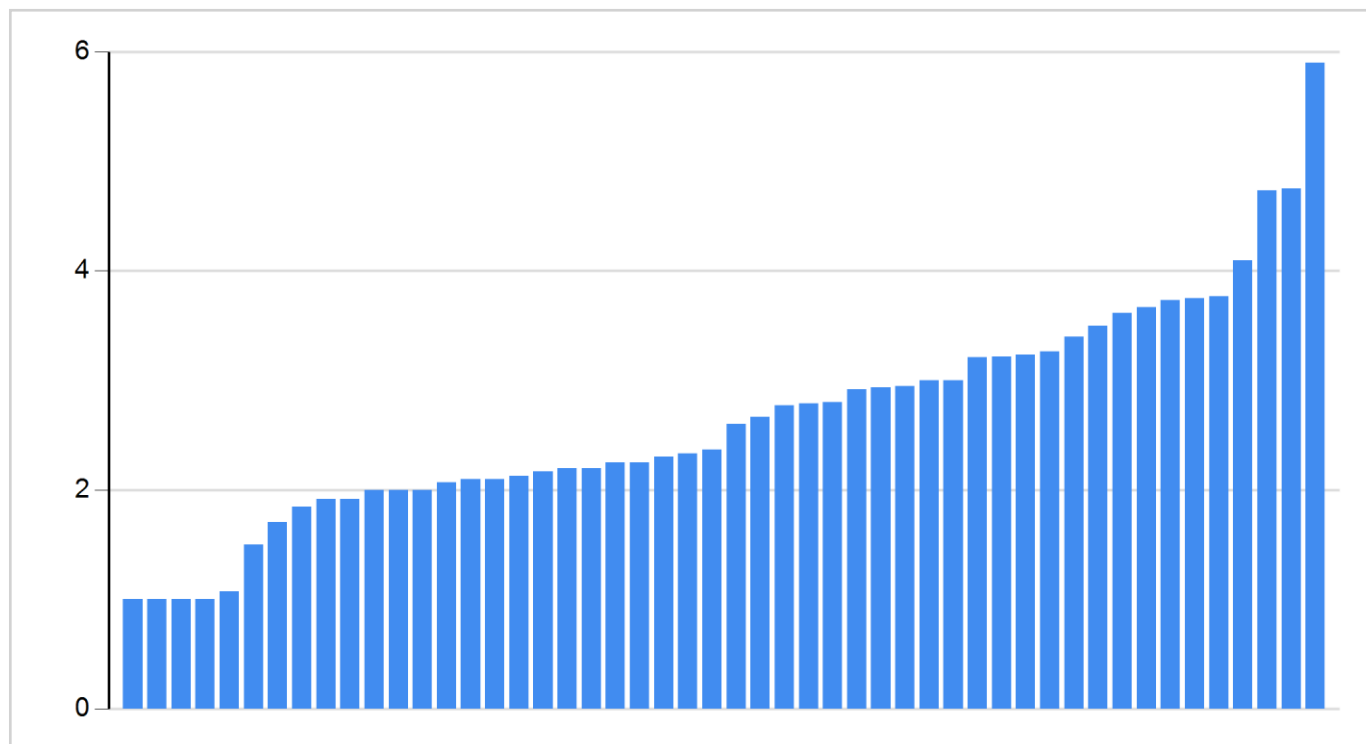
分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
9685	9306	96.1%

医療の質の指標

指標番号	3110
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値－卵巣がん

分子：抗菌薬の平均投与日数

単位：日 分母：卵巣がんで手術を受けた患者数



データ参照期間 2015年4月,..2016年3月退院分
期間症例10例未満の病院を除外し、50/333病院を表示

2015年度(平成27年度)

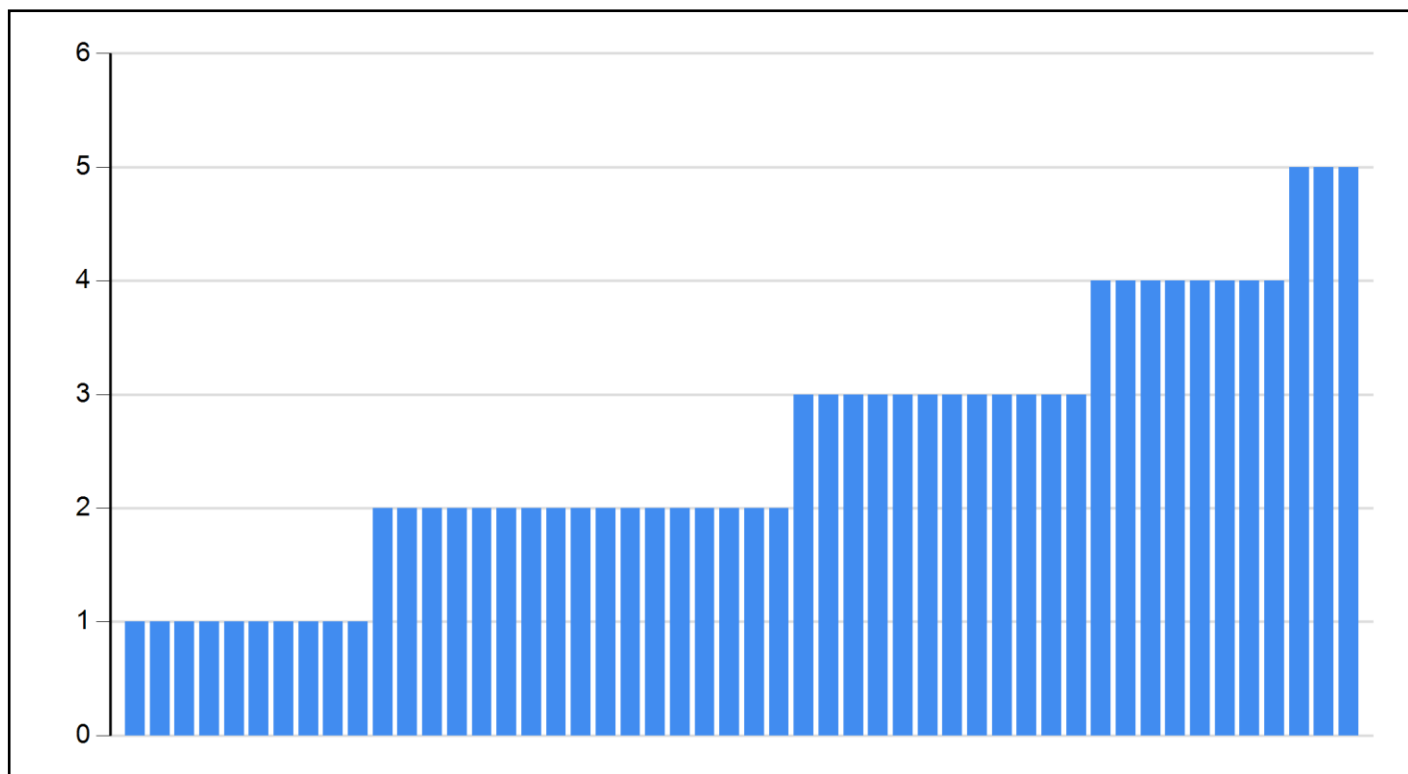
分母全病院合計	分子全病院合計	平均日数 [日/人]
1180.00	3264	2.77

2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

医療の質の指標

指標番号	3111
指標名	周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値－卵巣がん



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、50/333病院を表示

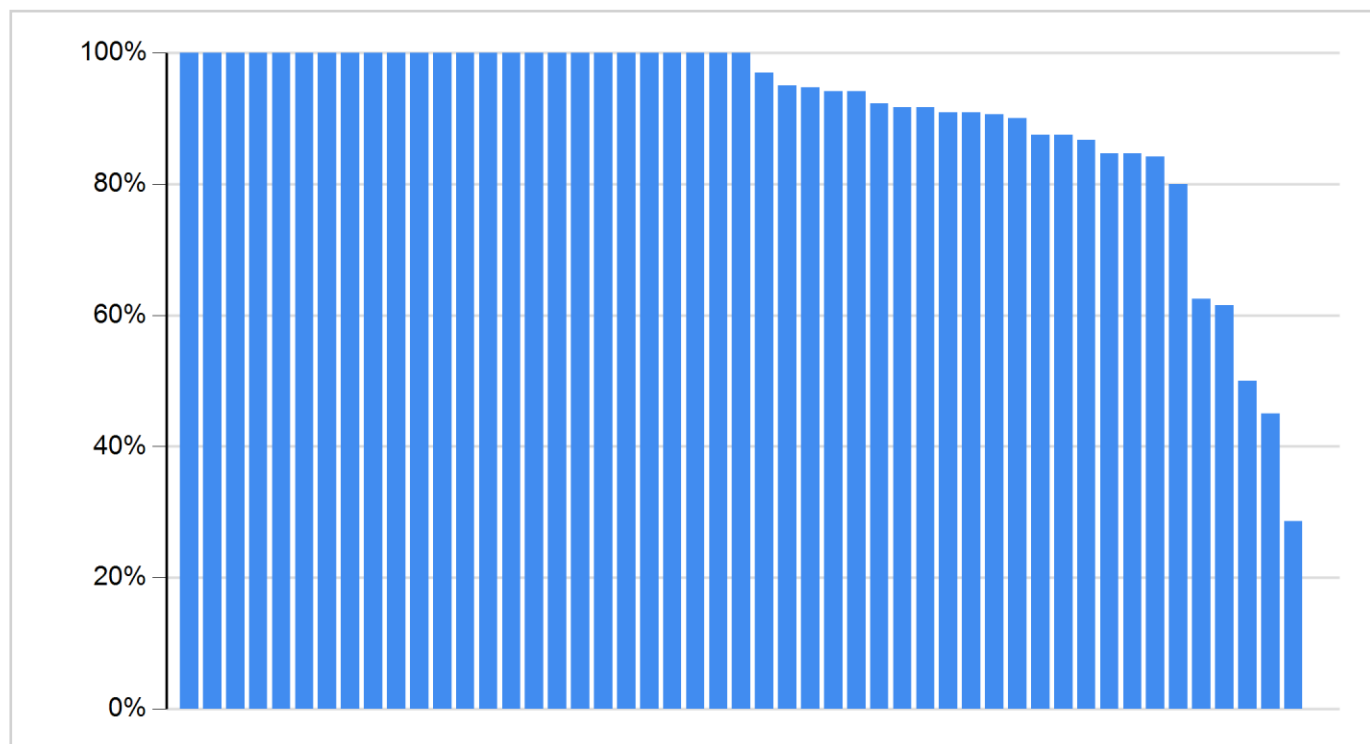
分母全病院合計	中央値の中央値
1180	3

医療の質の指標

指標番号	3112
指標名	周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率－卵巣がん

分子：抗菌薬の投与日数が4日以内の症例数

分母：卵巣がんで手術を受けた患者数



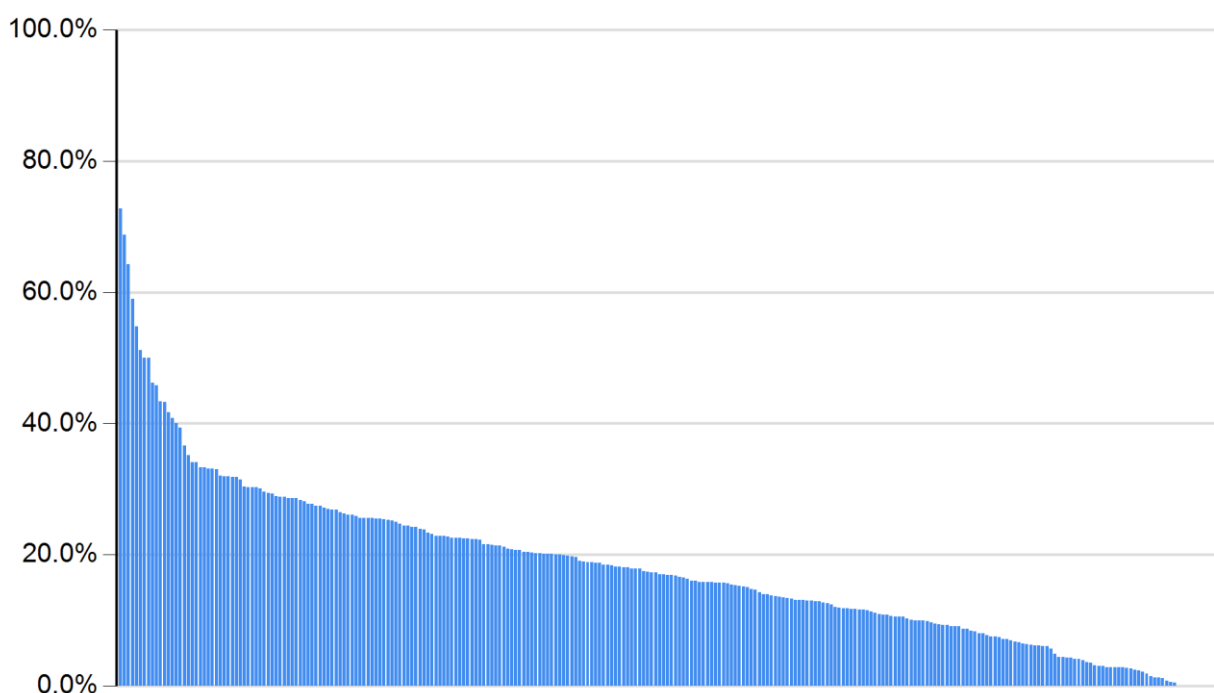
データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)
期間症例10例未満の病院を除外し、50/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均 [%]
1208	1051	87.0%

指標番号	2042
指標名	小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合

分子：分母のうち、時間外または深夜に緊急入院した症例(分子の数値も指標) 分

母：15歳以下の退院症例、院内出生症例を除く



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、277/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
152179	30105	19.8%

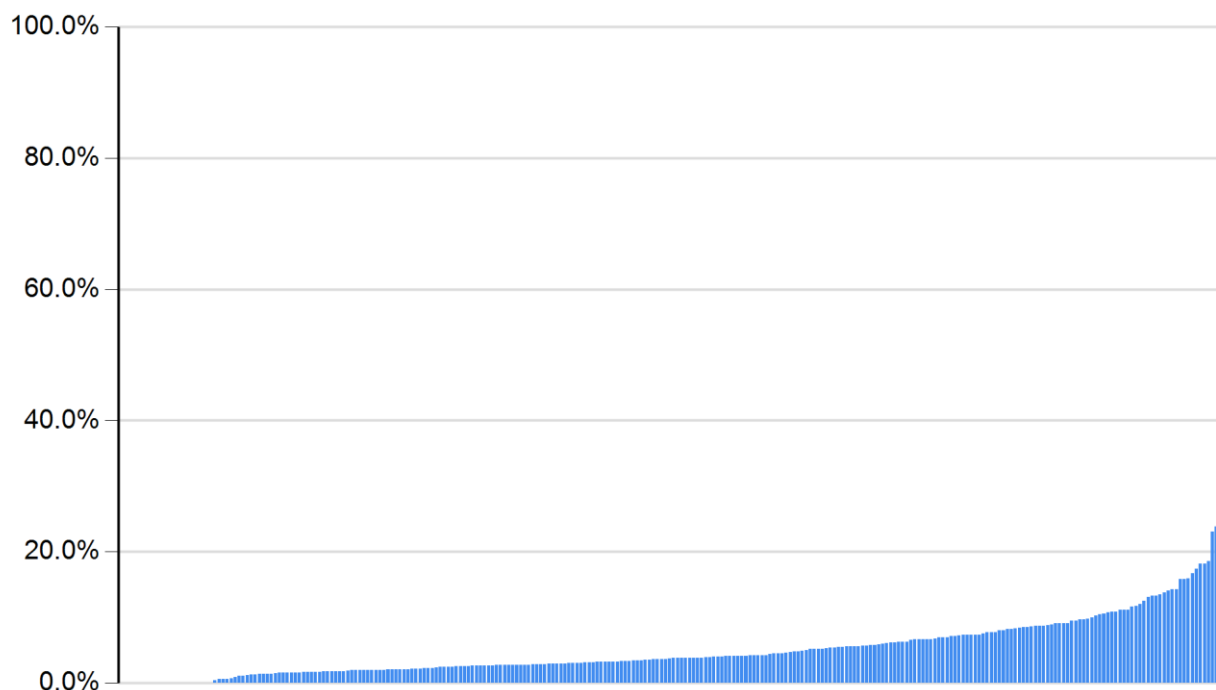
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2060
指標名	4大癌・悪性腫瘍手術症例における大量輸血の割合(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん)

分子： 分母のうち、大量に輸血の実施された症例

分母： 4大癌・悪性腫瘍に対する手術症例(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、275/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
35083	1335	3.8%

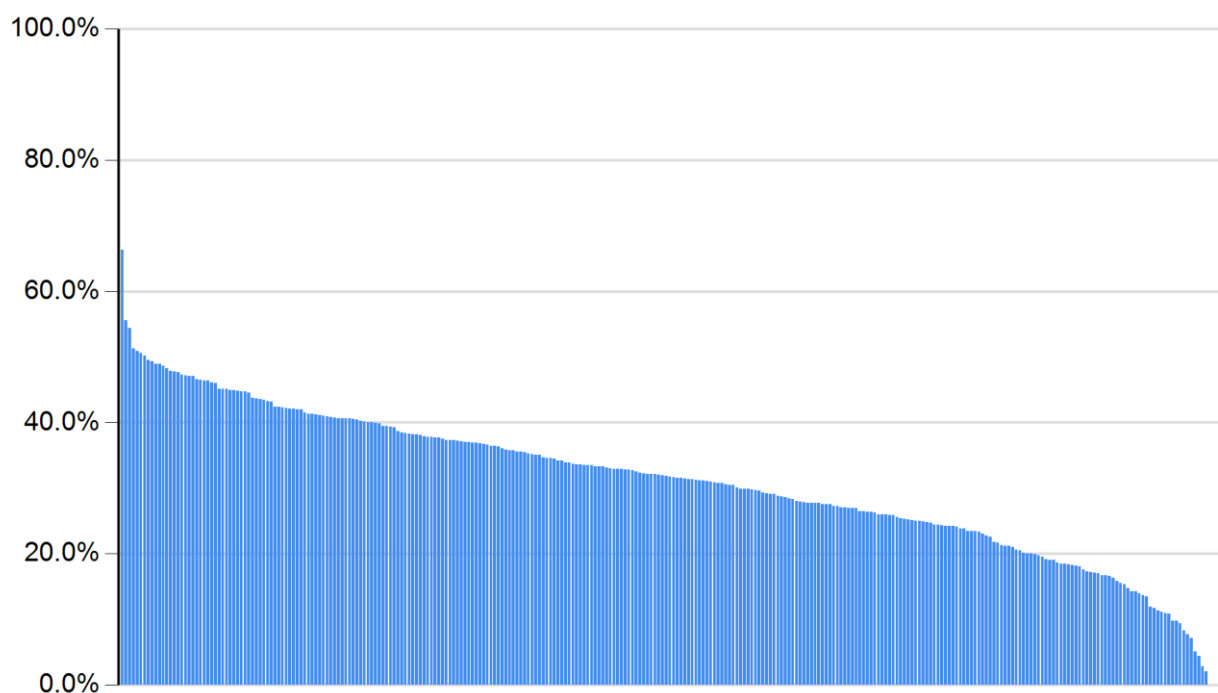
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2064
指標名	5大癌初発に対する入院のうちStageIまでの割合

分子：分母のうち、StageI までの割合

分母：5大癌初発に対する初回入院(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、297/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
70295	24659	35.1%

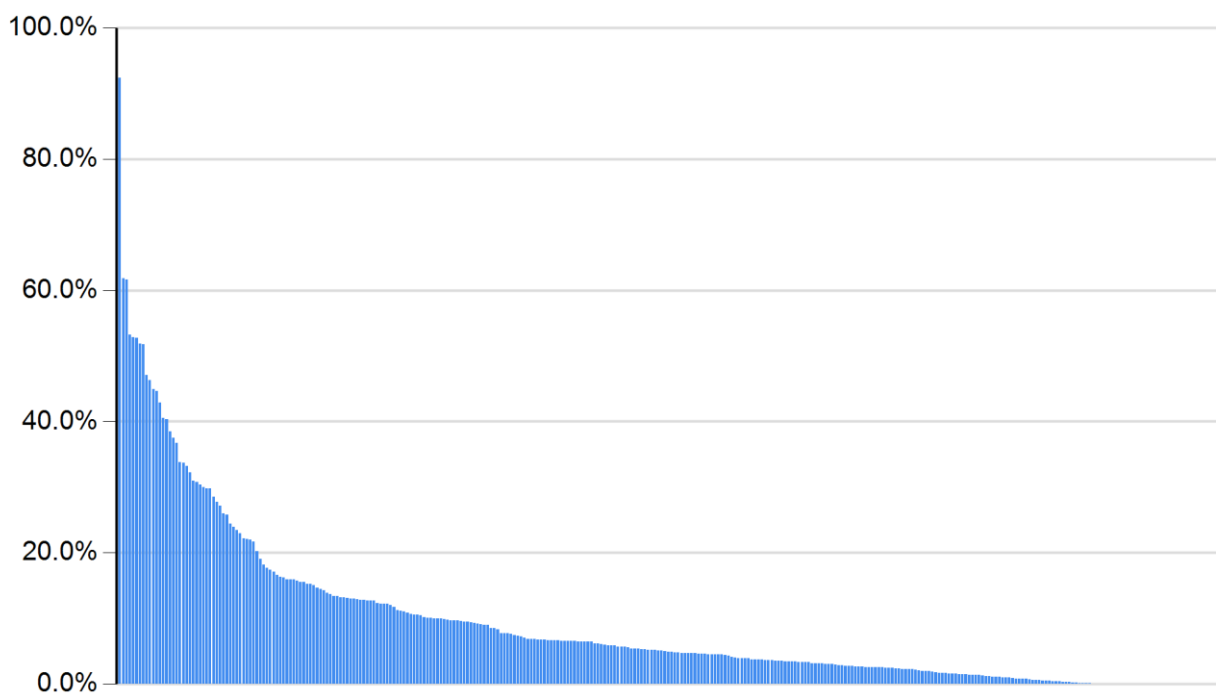
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2071
指標名	悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 悪性腫瘍入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、331/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
445423	46855	10.5%

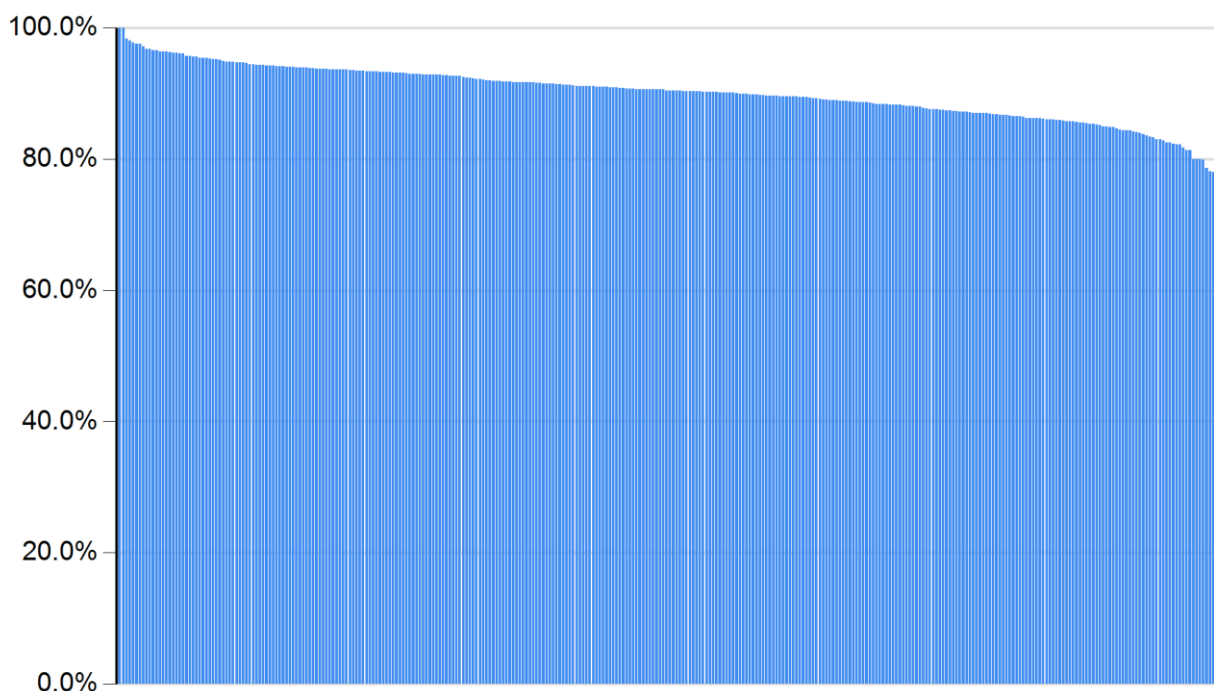
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2028
指標名	救急搬送により入院した症例の救命率(31日後生存／救急搬送入院)

分子： 分母のうち、生存退院もしくは入院日数が31日以上であった症例数

分母： 救急搬送により入院した症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、332/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
376967	337918	89.6%

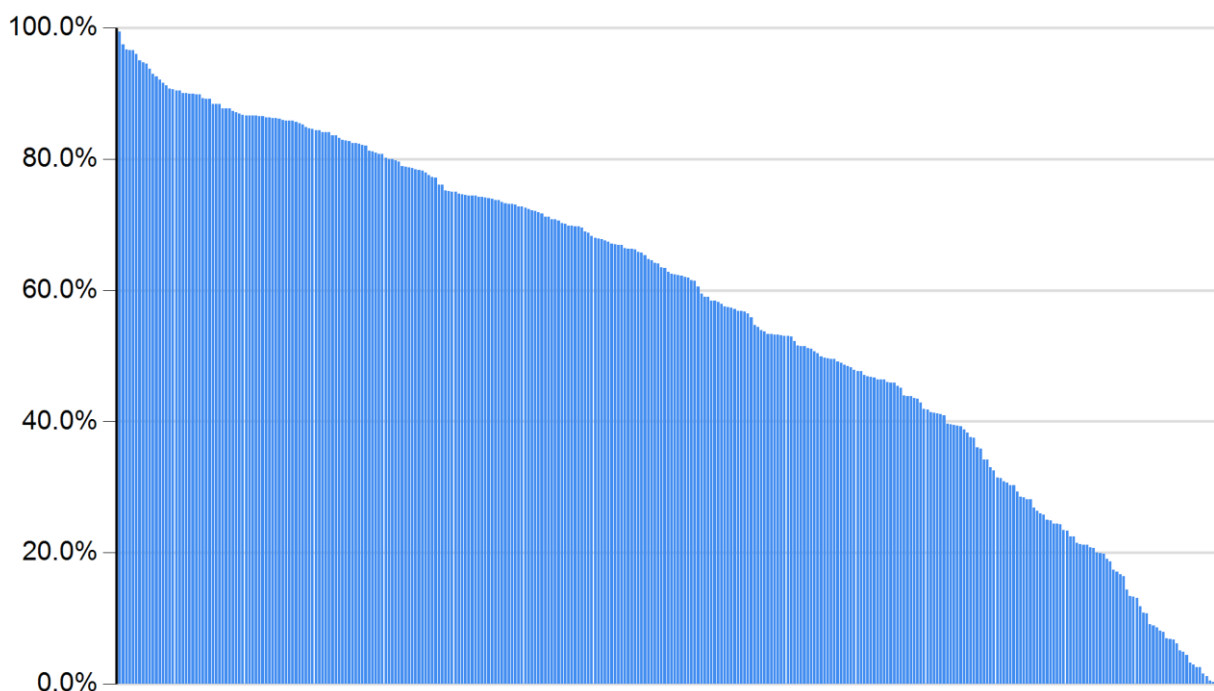
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2048
指標名	薬剤管理指導実施割合(実施患者数ベース)

分子：分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

分母：入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2086601	1251622	60.0%

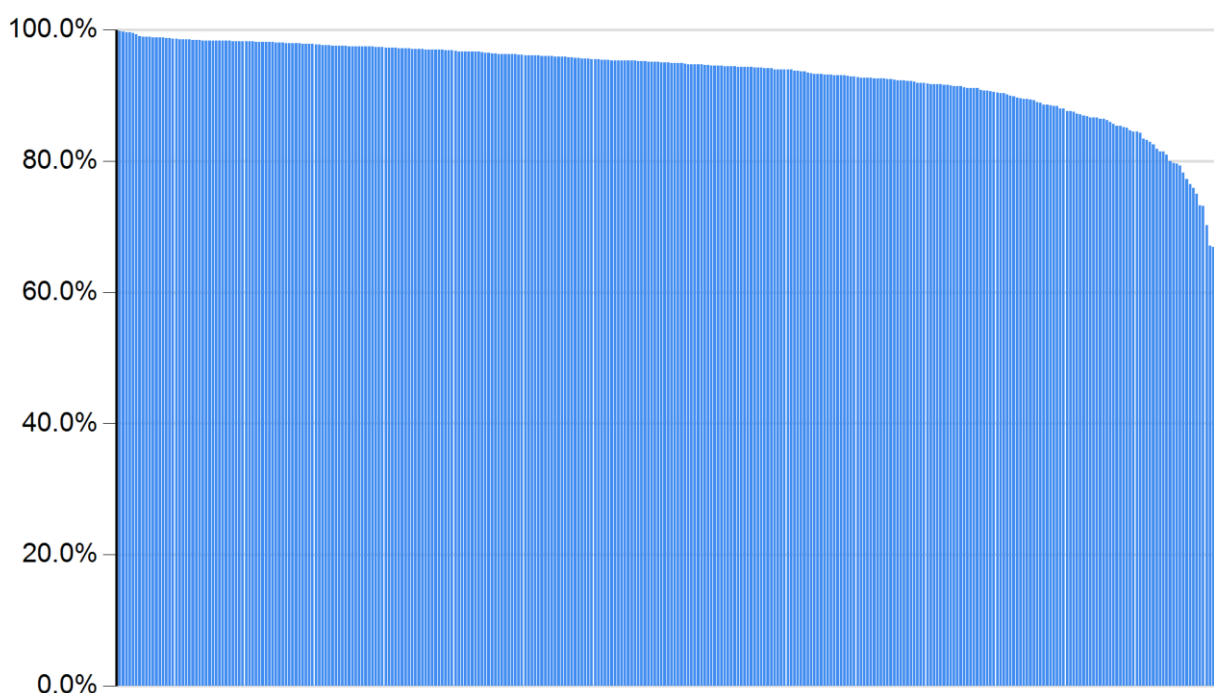
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2054
指標名	退院前30日間に、何らかの検査は行われている割合

分子： 分母のうち、退院前30日間に検査実施がない症例数

分母： 退院患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2086601	1969461	94.4%

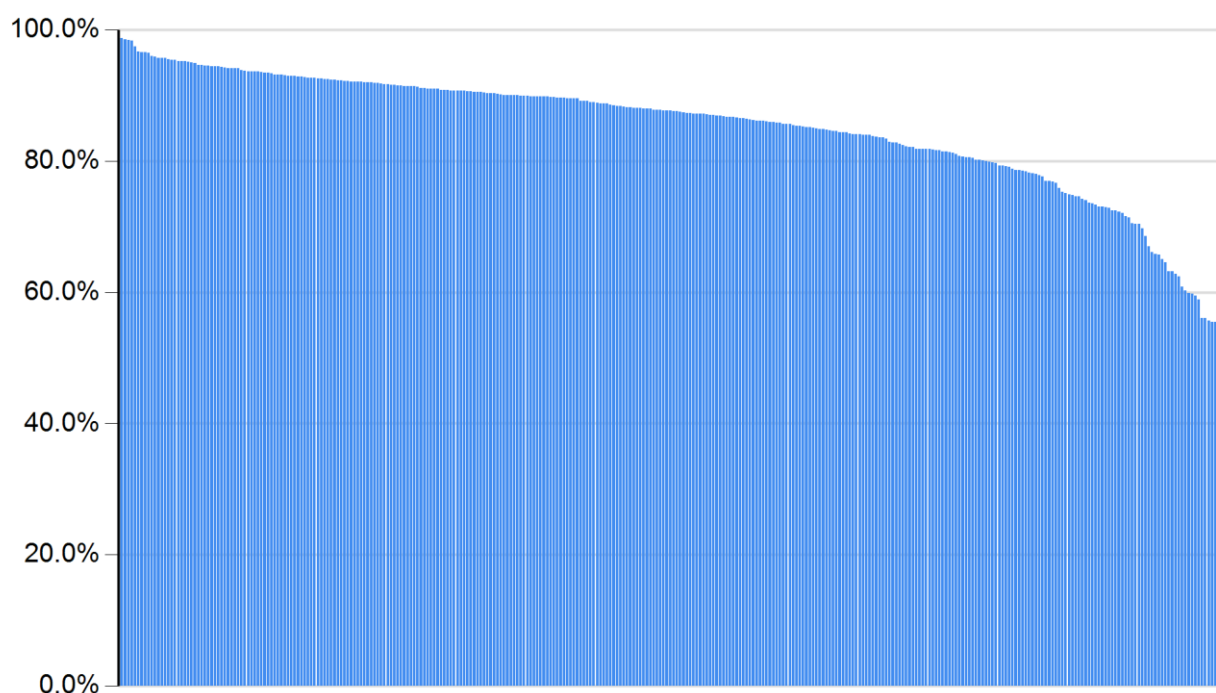
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2055
指標名	退院前 1週間に、何らかの検査は行われている割合

分子： 分母のうち、退院前7日間に、検査実施が1以上はある症例数

分母： 退院患者数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2086602	1846342	88.5%

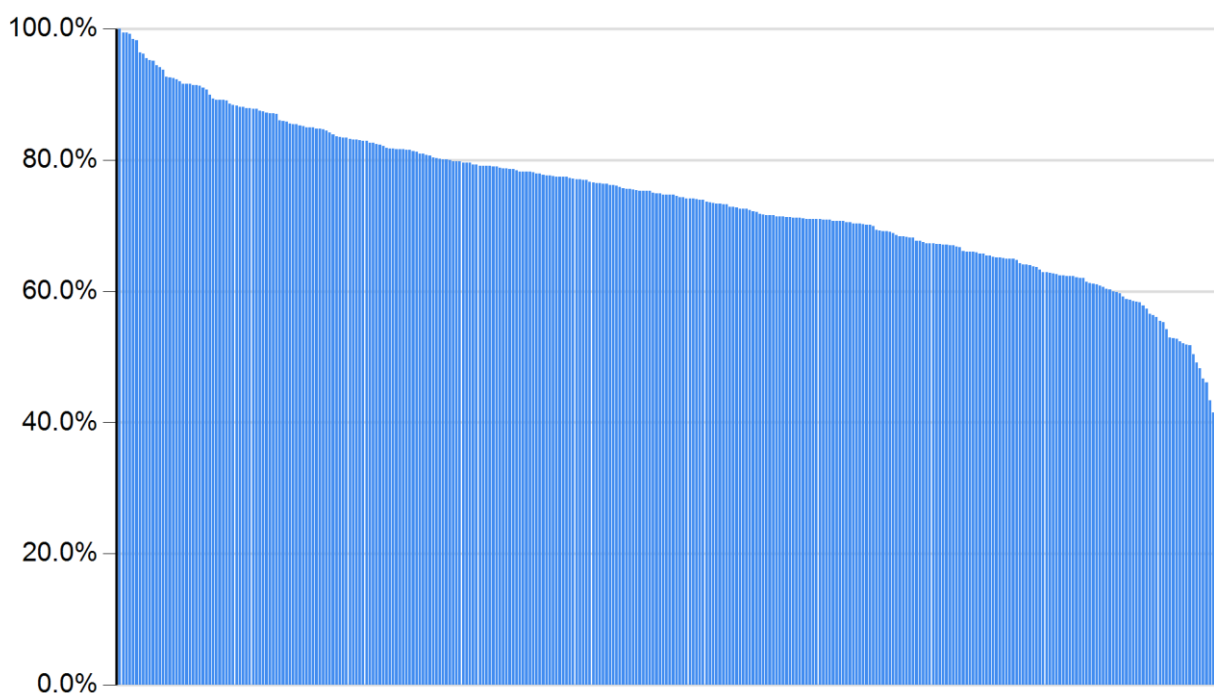
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2079
指標名	糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

分子：分母のうち、特別食加算の算定

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の食事



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、332/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
5480662	4049217	73.9%

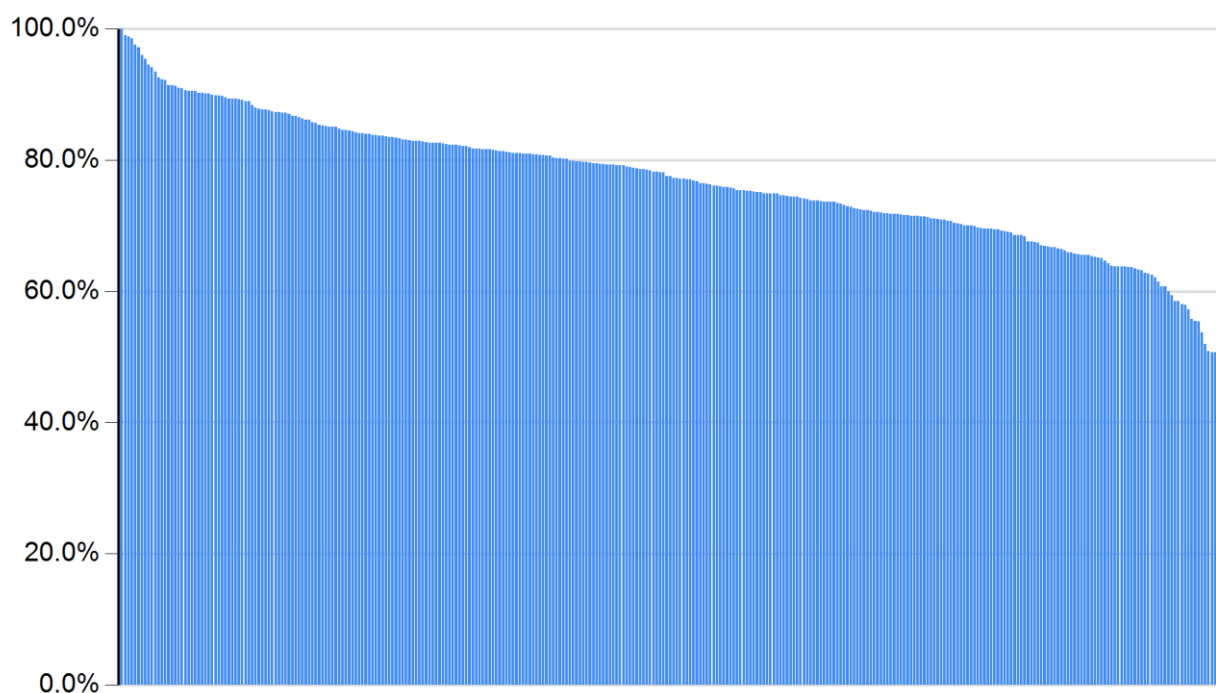
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2080
指標名	糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合

分子：分母のうち、特別食加算の算定

分母：18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の入院翌日までの食事



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、331/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
511318	390180	76.3%

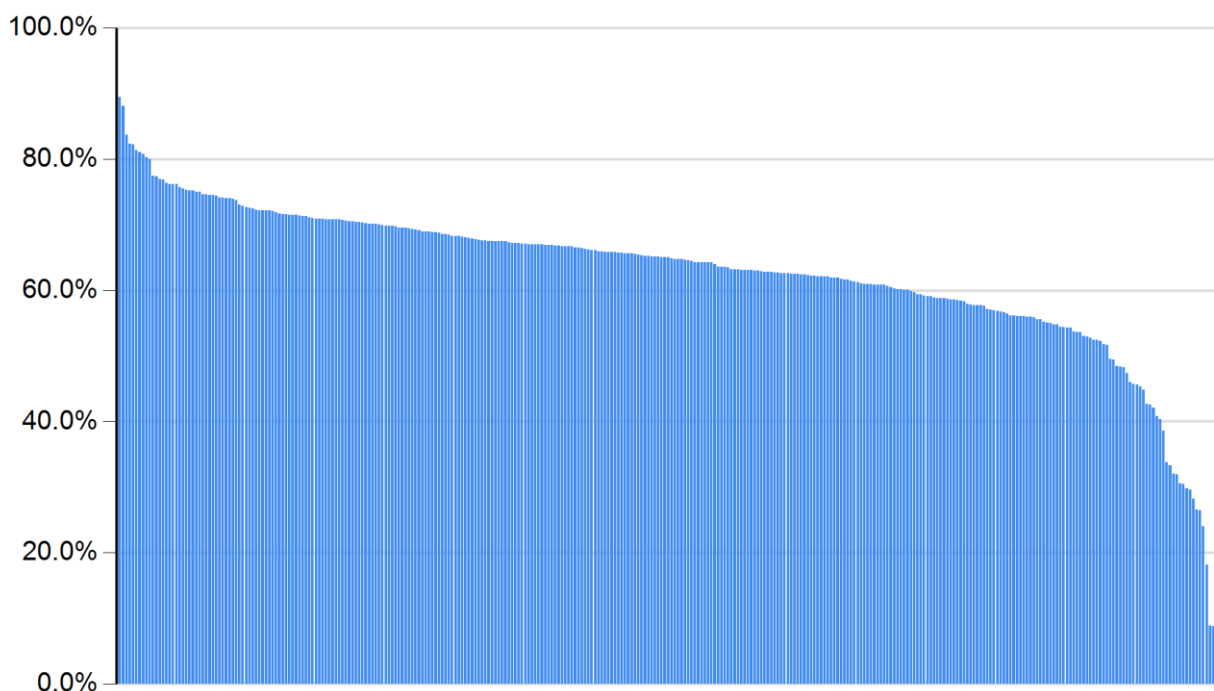
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2027
指標名	高難易度(外保連試案技術度D - E)手術実施割合

分子：高難易度(外保連試案技術度D - E)手術実施数分

母：手術実施件数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
820635	539773	65.8%

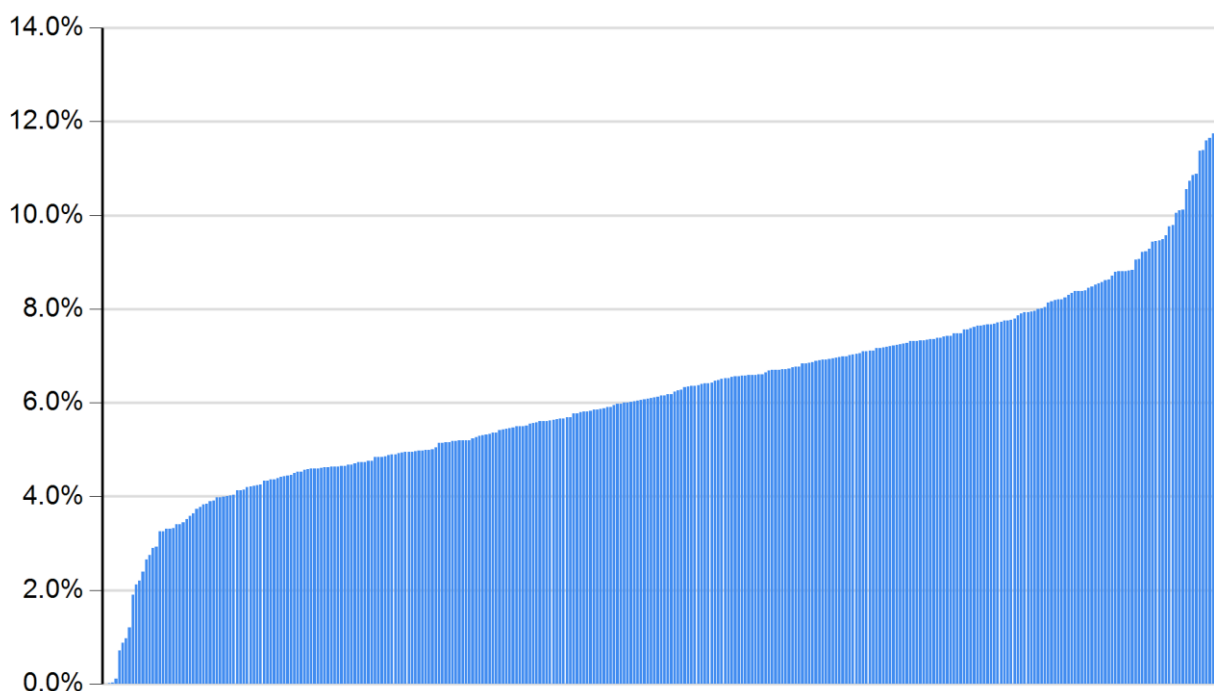
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2083
指標名	退院後6週間以内の再入院率

分子：退院日を1として、42日以内の再入院を行った退院症例数(予定再入院を除く) 分

母：退院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2086614	130689	6.3%

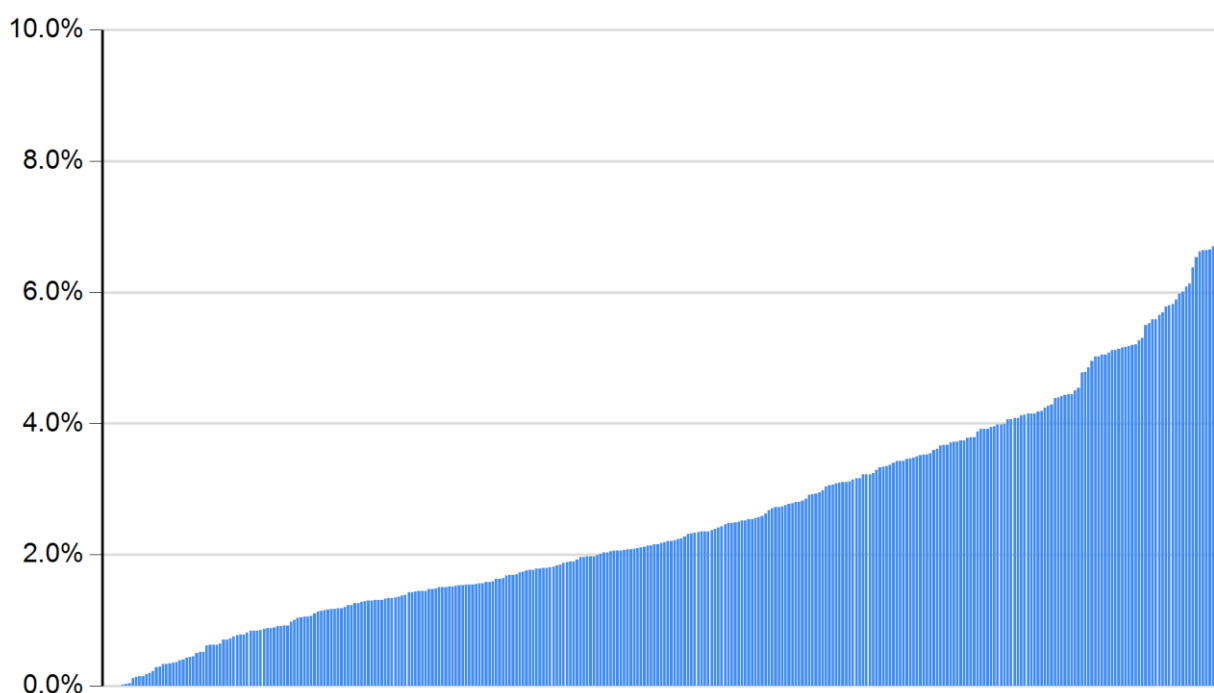
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2084
指標名	退院後6週間以内の救急医療入院率

分子：退院日を1として、42日以内の救急医療入院を行った退院症例数

分母：退院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2053574	54918	2.7%

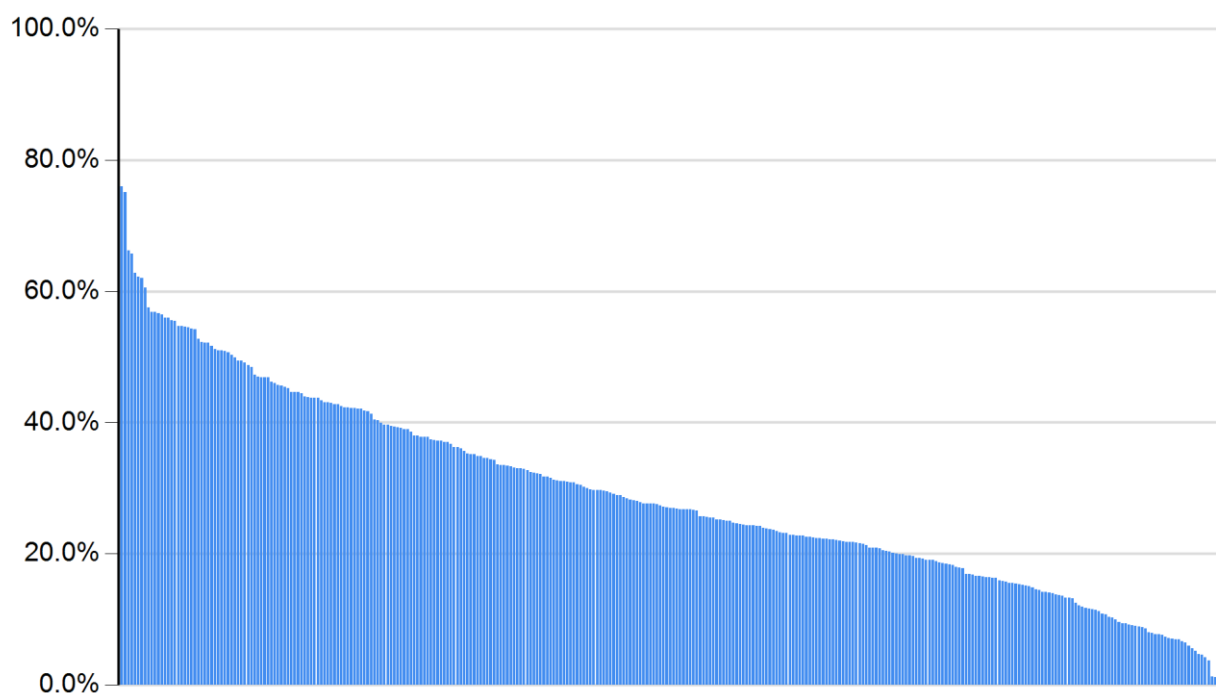
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2088
指標名	緊急入院の割合

分子：緊急入院

分母：入院経路が一般入院「2」の症例の退院月で集計



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
2053589	601084	29.3%

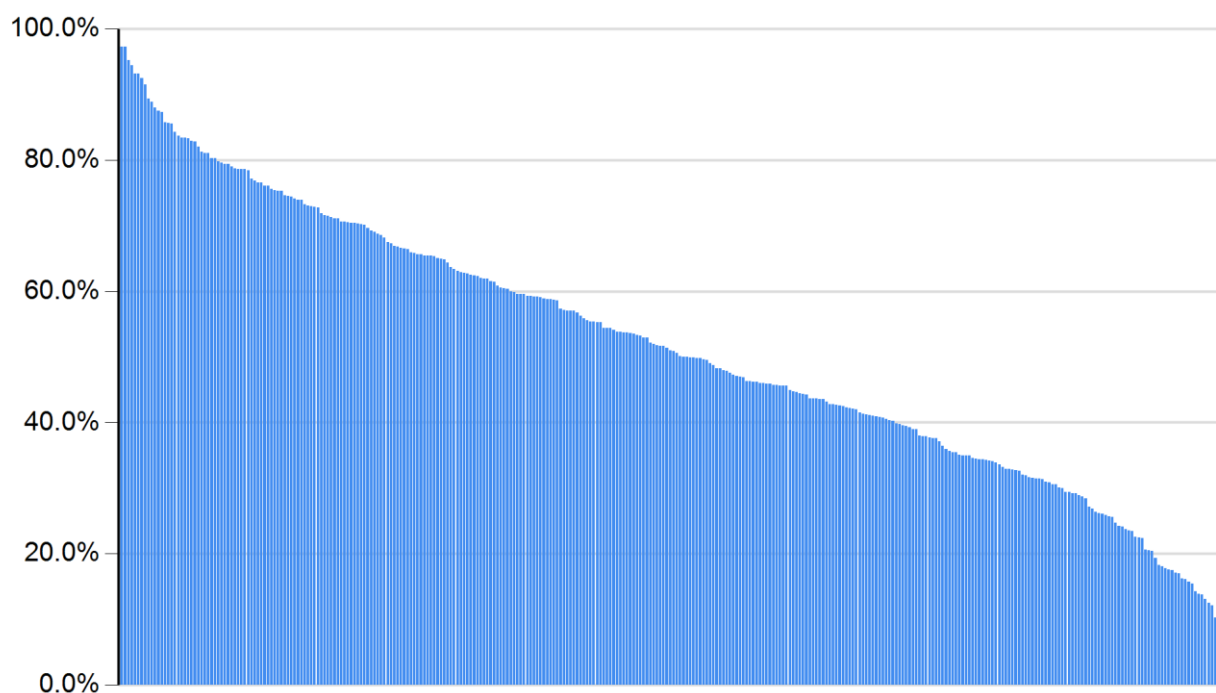
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2089
指標名	他院よりの紹介の有る入院の割合

分子： 他院よりの紹介有「1」

分母： 入院経路が一般入院「2」かつ、救急車による搬送がなし「0」の症例



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

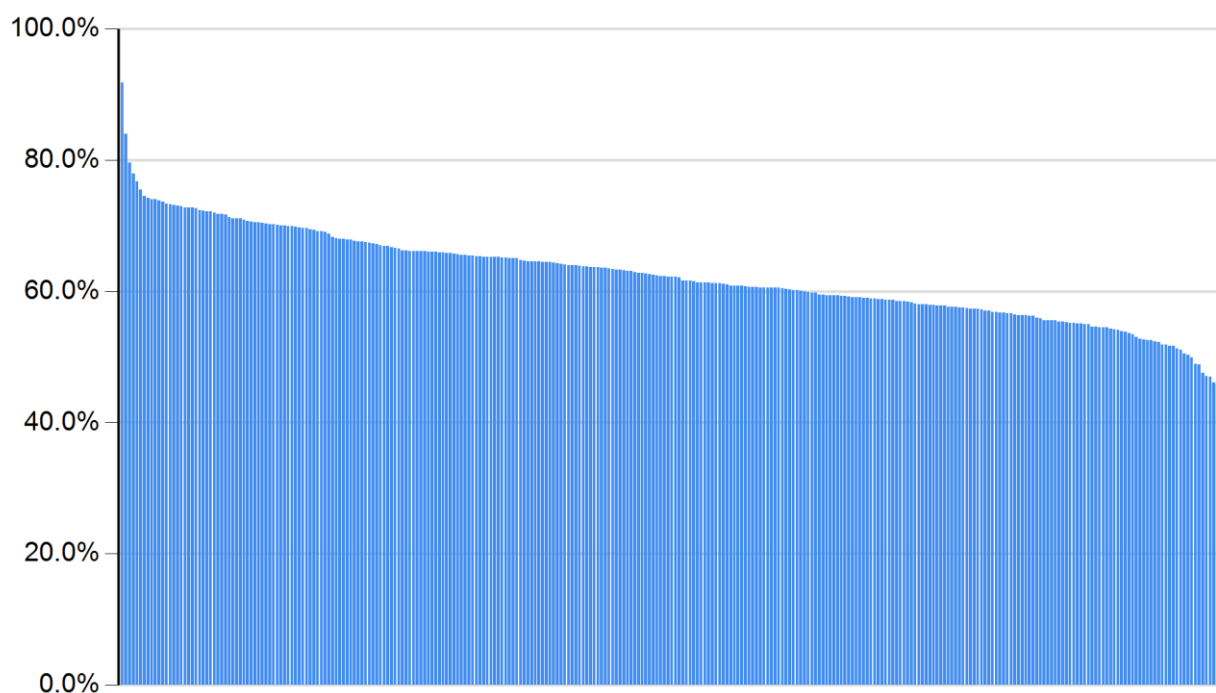
期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1679280	966206	57.5%

指標番号	2090
指標名	DPC入院期間II以内の割合

分子：入院期間II以内の退院数

分母：退院症例数（DPC分析対象）



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、300/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1640722	1047506	63.8%

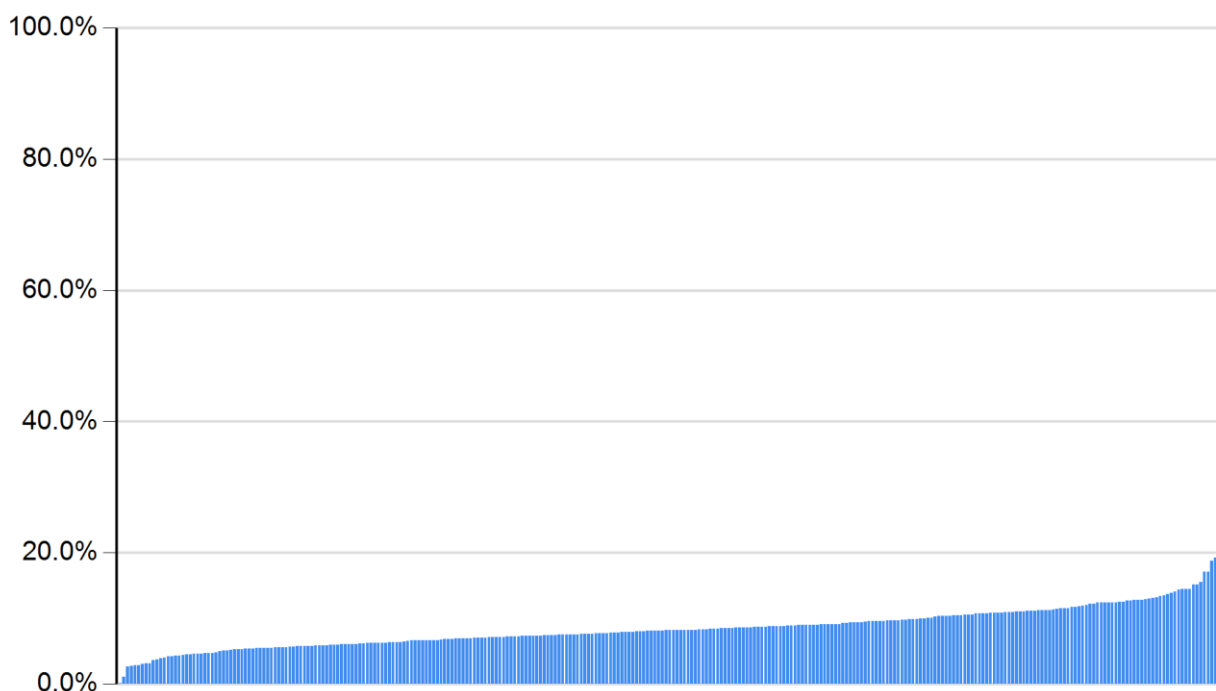
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2091
指標名	DPC入院期間III超えの割合

分子：入院期間IIIより長い退院数

分母：退院症例数（DPC分析対象）



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、300/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
1640722	127704	7.8%

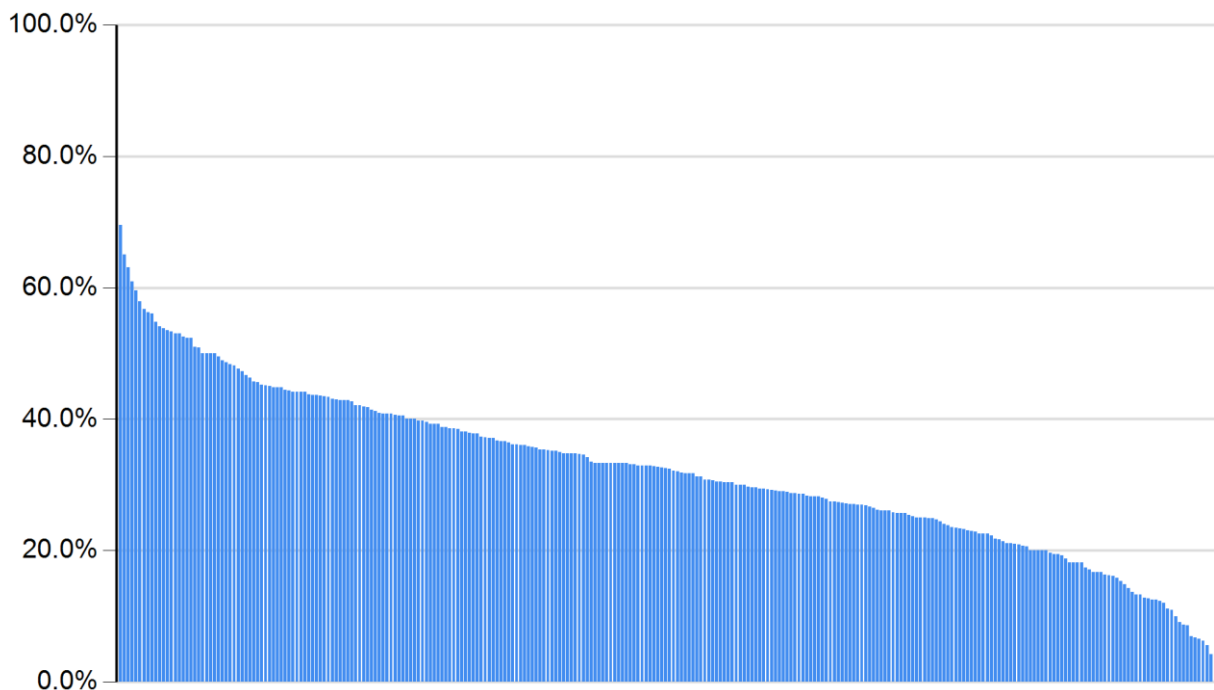
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2096
指標名	5大癌初発に対する他院よりの紹介のない入院のうちStageIまでの割合(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

分子： 分母のうち、StageI までの割合

分母： 5大癌初発に対する他院よりの紹介のない初回入院(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、282/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
25696	8683	33.8%

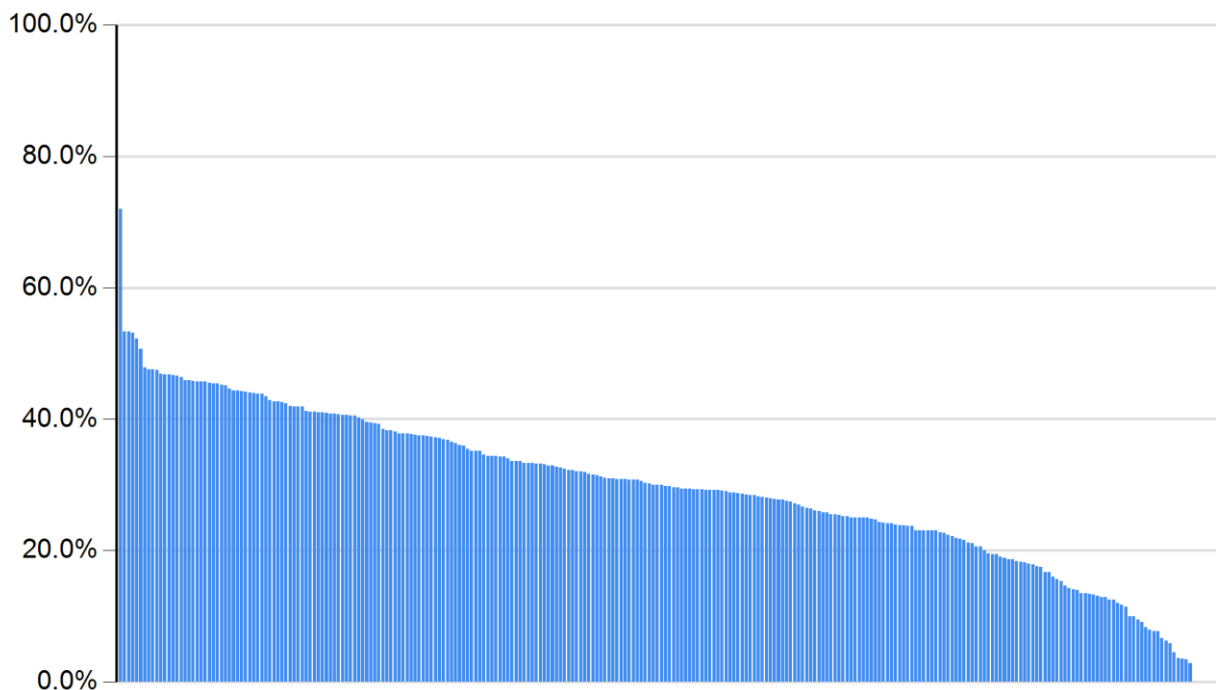
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2097
指標名	5大癌初発に対する他院よりの紹介のある入院のうちStageIまでの割合(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

分子：分母のうち、StageI までの割合

分母：5大癌初発に対する他院よりの紹介のある初回入院(胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、274/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
48046	16795	35.0%

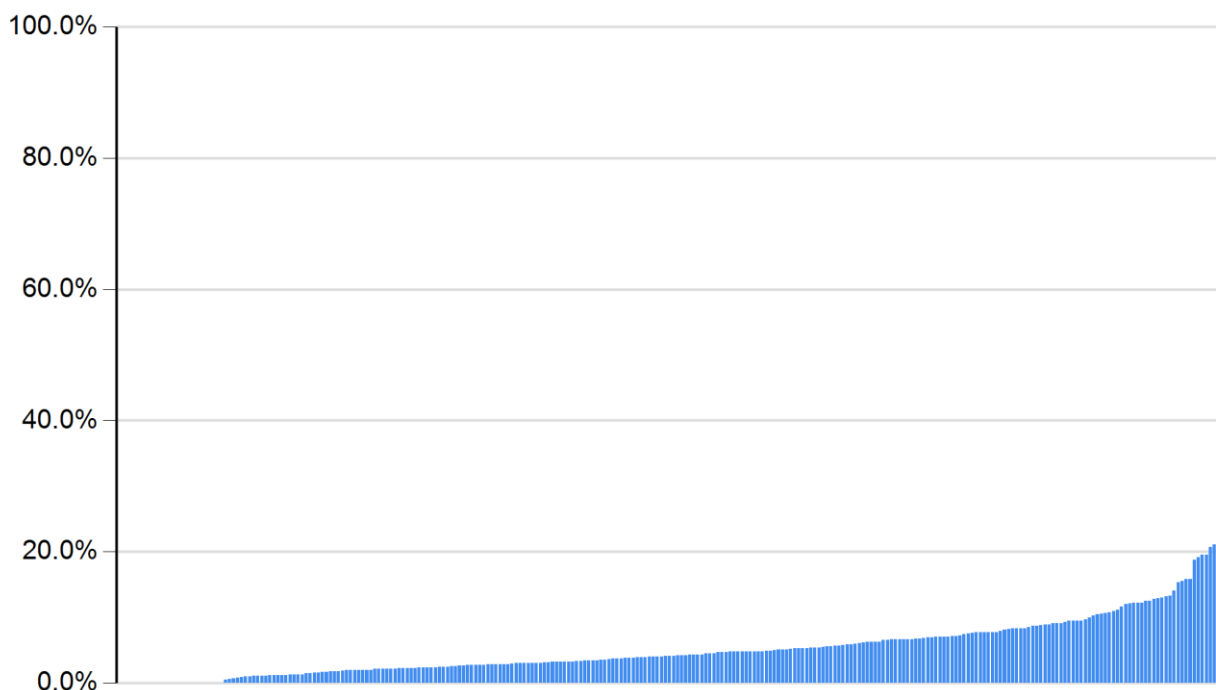
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2101
指標名	悪性腫瘍(4種) 手術症例における大量輸血の割合2(食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん)

分子： 分母のうち、大量に輸血の実施された症例

分母： 悪性腫瘍に対する手術症例(食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん)



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 2015年度(平成27年度)

期間症例10例未満の病院を除外し、274/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
28857	1254	4.3%

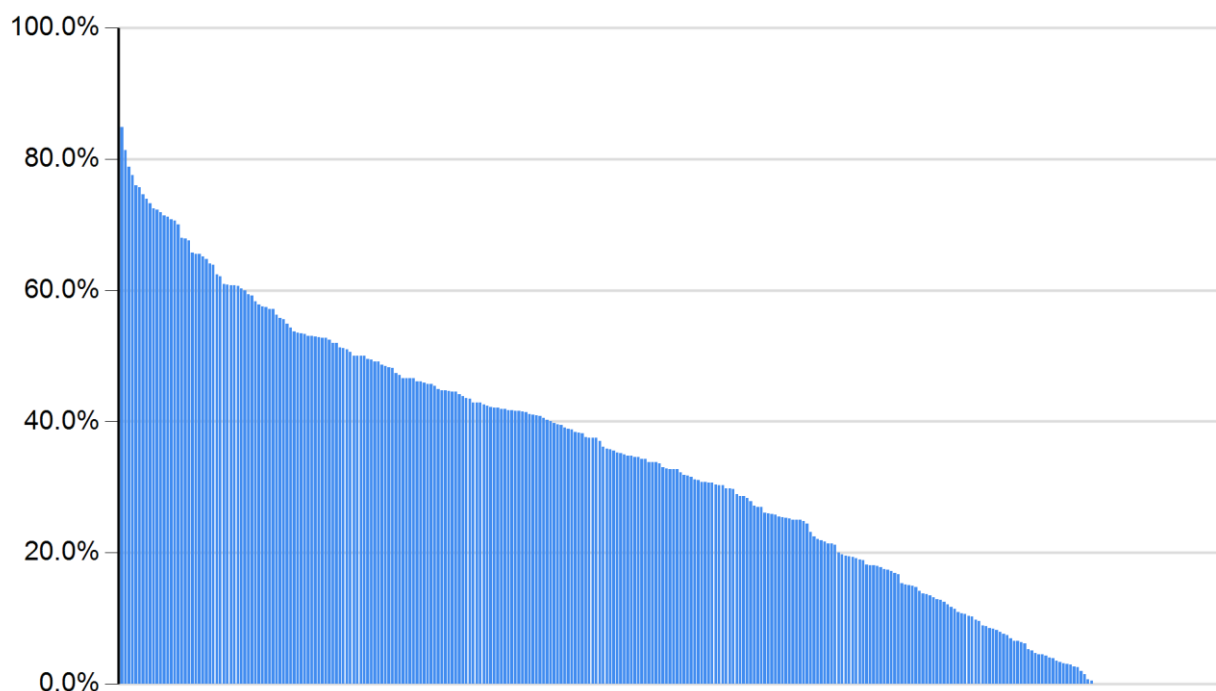
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2102
指標名	誤燕性肺炎症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 誤燕性肺炎入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、315/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
37987	13048	34.3%

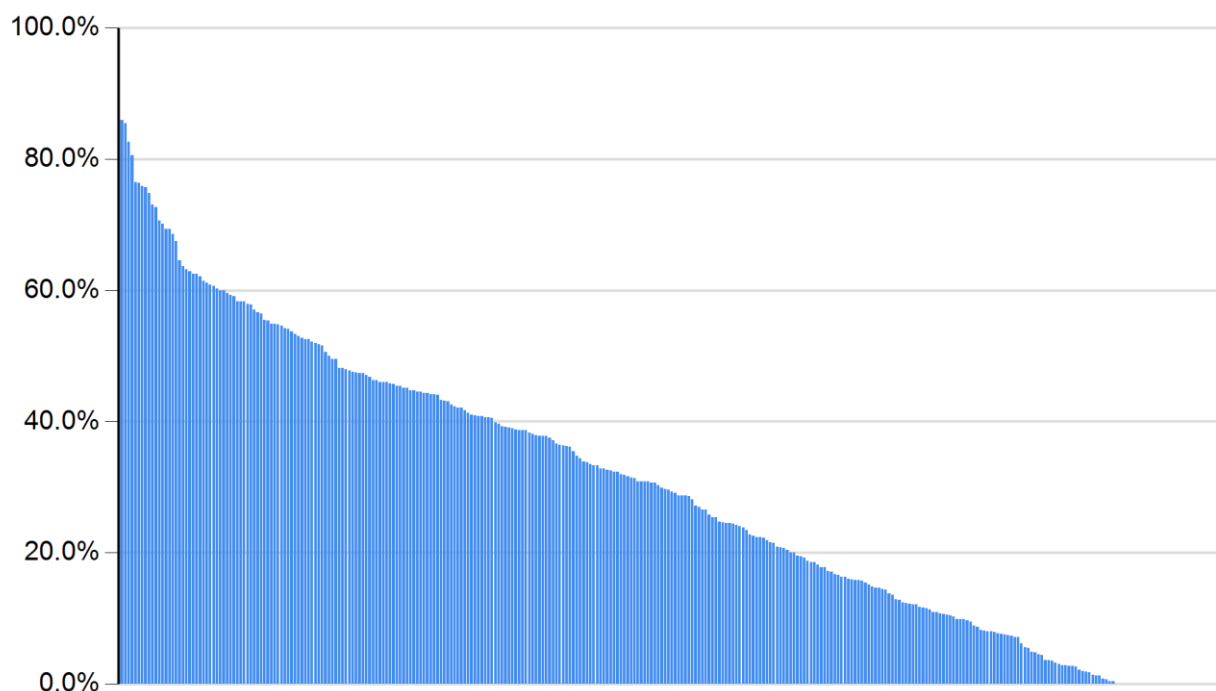
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2103
指標名	認知症を伴う症例に対する退院支援の割合

分子： 分母のうち、退院調整を行った症例

分母： 認知症を伴う入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、326/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
76920	23279	30.3%

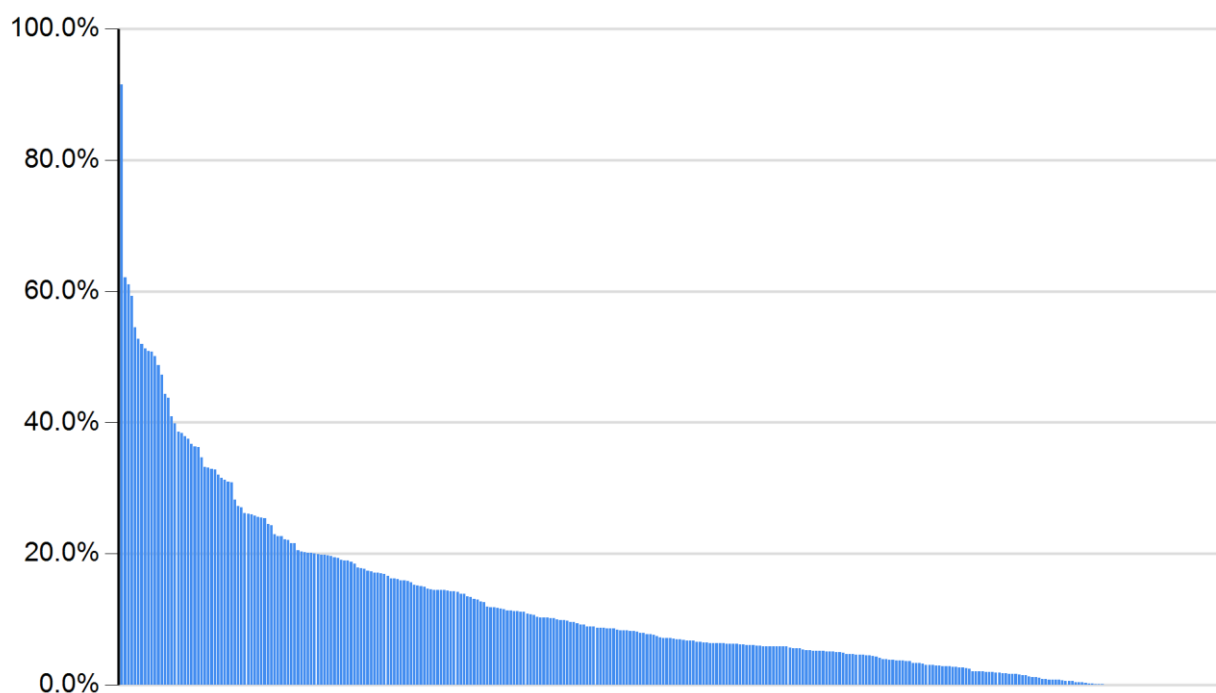
2017/02/07 出力

京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野

指標番号	2105
指標名	悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合

分子：分母のうち、退院調整を行った症例

分母：悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症いずれかの入院症例数



データ参照期間 2015年4月～2016年3月退院分 **2015年度(平成27年度)**

期間症例10例未満の病院を除外し、333/333病院を表示

分母全病院合計	分子全病院合計	平均
484823	60186	12.4%